

平成 27 年度  
県政アンケート調査  
報 告 書  
( 抜 粋 )

平成 2 7 年 1 1 月

山 形 県



## 目 次

### I. 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の項目	1
3. 調査の設計	1
4. 回収結果	2
5. 調査結果の集計表示法	2
6. 標本抽出法	2
7. 報告書の見方	4
8. 調査対象の属性	5

### II. 調査結果

1. 「県の広報活動」について	9
(1) 県の取組み情報の入手先	9
(2) 充実してほしいと思う広報活動	12
(3) 県政テレビ広報番組の視聴経験	15
(4) 県政テレビ広報で得たい情報	18
2. 「高速鉄道」について	21
(1) 首都圏へ移動する際に利用する交通手段	21
(2) 首都圏へ移動する際の鉄道の改善点	26
(3) フル規格新幹線構想の認知状況	29

3. 「環境」について	32
3-1. 「地球温暖化」と「エネルギー」について	32
(1) 地球温暖化問題の認知状況	32
(2) 地球温暖化を防止するための取組み	35
(3) エネルギー利用に関しての意見	38
(4) 省エネの取組み状況	42
(5) 省エネの取組み内容	45
(6) 省エネに取り組んでいない理由	48
(7) 国、県、市町村等を実施して欲しいこと	51
3-2. 「生活環境」について	54
(1) 困っていること、関心が高いもの	54

4. 「循環型社会形成の推進」について	57
(1) ゴミの減量やリユースなどの取組み状況	57
(2) ゴミの減量やリユースなどの取組み内容	60
(3) ゴミの減量やリユースなどに取り組んでいない理由	63
(4) ゴミの減量やリユースなどに必要なこと	66
5. 「やまがた緑環境税」について	69
(1) 「やまがた緑環境税」の認知状況	69
(2) 県民みんなで支える森づくりのために参加したいこと	72
(3) 森づくりに重要な取組み	75
6. 「総合的な少子化対策」について	78
6-1. 「結婚支援」について	78
(1) 結婚支援に重要なこと	78
(2) 独身でいる理由	81
(3) 結婚に対する考え	88
6-2. 「妊娠・出産支援」について	91
(1) 理想の子どもの数	91
(2) 持つつもりの子どもの数	94
(3) 持つつもりの子どもの数が理想よりも少ない理由	97
(4) 相談相手・話し相手	102
(5) 妊娠・出産の情報の入手場所	107
(6) 利用してみたいサービス	113
6-3. 「子育て支援（家族の支え合い）」について	116
(1) 理想の家族の住まい方	116
(2) 三世代同居又は近居状況	119
(3) 三世代同居又は近居意向	122
(4) 三世代同居又は近居のメリット	125
(5) 三世代同居のデメリット	128
(6) 三世代同居しやすい環境整備の必要性	131
6-4. 「子育て支援（地域の支え）」について	134
(1) 地域の支えの重要性	134
(2) 地域で子育てを支えるうえで重要なこと	137

6-5. 「子育て環境づくり」について	140
(1) 子育て環境が整っているか	140
(2) 子育て環境づくりに必要な取組み	143
6-6. 「幸福実感度」について	146
(1) 幸福実感度	146
7. 「Uターン就職」について	149
(1) Uターン・Iターン就職との関わり	149
(2) U・Iターン就職を決めた理由	152
(3) U・Iターン就職を決めた時期	155
(4) U・Iターン就職の際に重視したこと	158
(5) Uターン就職の希望	161
(6) U・Iターン就職に必要な条件	164
(7) U・Iターン者が増える条件	167
8. 「地域資源」について	170
8-1. 「県内の家族旅行」について	170
(1) 県内の宿泊を伴う家族旅行の回数	170
(2) 県内の日帰り家族旅行の回数	181
(3) 家族旅行の目的	192
(4) 目的地決定のきっかけ	195
(5) 家族旅行を増やすために必要なこと	198
8-2. 「美術館や博物館」について	201
(1) 美術館や博物館へ行った回数	201
(2) 美術館や博物館を選んだきっかけ	212
(3) 訪問回数を増やすために必要なこと	215
8-3. 「観光の果たす役割」について	218
(1) 「おもてなし山形県観光条例」「おもてなし山形県観光計画」の認知状況	218
(2) 「県民の総参加」による「観光立県山形」を実現するためにできること	221
9. 「子どもや地域との関わり」について	224
(1) 「地域の教育力」の推移状況	224
(2) 子どもが健やかに育まれるよう力を入れるべきこと	227
(3) 取り組んでいる活動、協力してもよいと思う活動	230

### Ⅲ. 参考資料

調査票（単純集計つき）	233
-------------	-----



## I 調査の概要

---





# I 調査の概要

---

## 1. 調査の目的

県民の生活と県政に対する県民ニーズ、意識などを把握し、今後の県施策の企画立案並びに執行上の基礎資料とすることを目的とする。

## 2. 調査の項目

- (1) 「県の広報活動」について
- (2) 「高速鉄道」について
- (3) 「環境」について
- (4) 「循環型社会形成の推進」について
- (5) 「やまがた緑環境税」について
- (6) 「総合的な少子化対策」について
- (7) 「Uターン就職」について
- (8) 「地域資源」について
- (9) 「子どもや地域との関わり」について

## 3. 調査の設計

- (1) 調査地域 : 山形県全域
- (2) 調査対象 : 県内在住の満20歳以上の男女個人
- (3) 標本数 : 3,000
- (4) 抽出方法 : 層化二段階無作為抽出法
- (5) 調査方法 : 郵送によるアンケート調査
- (6) 調査期間 : 平成27年5月29日(金)～6月15日(月)  
＜調査開始日～調査票上の締切日＞
- (7) 調査実施機関 : 株式会社ITスクエア

#### 4. 回収結果

- (1) 回収数（率）：1,794件（59.8%）  
 (2) 無効数：21件  
 (3) 有効数（率）：1,773件（59.1%）

#### 5. 調査結果の集計表示法

(1) 地域別に統計的信頼度が確保される標本数となるよう、次のとおりの標本数と抽出ウェイト、集計ウェイトとしている。

地域	抽出ウェイト	標本数	回収数	集計ウェイト	規正標本数
村山地域	1/2	1,344	778	2	1,556
最上地域	1	405	218	1	218
置賜地域	1/2	544	316	2	632
庄内地域	1/2	707	396	2	792
不明	—	—	65	1	65
計		3,000	1,773		3,263

(2) 地域別の抽出率が異なるため、回収数に集計ウェイトを加重し規正した。調査結果はこの規正標本数を100.0%として算出した。ただし、端数処理の関係で各項目の合計が必ずしも100.0%とならないことがある。

#### 6. 標本抽出法

母集団：県内在住の満20歳以上の男女個人  
 標本数：3,000  
 地点数：160地点  
 抽出法：層化二段階無作為抽出法

##### 〔層化〕

県内の各市町村を以下の4地域に区分した。

村山地域	山形市	山形市
	その他の市	寒河江市、上山市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市
	町村部	山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最上地域	市部	新庄市
	町村部	金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置賜地域	市部	米沢市、長井市、南陽市
	町村部	高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内地域	市部	鶴岡市、酒田市
	町村部	三川町、庄内町、遊佐町

※ 今年度調査については、平成22年国勢調査のデータを利用するものとする。

〔標本数の配分〕

各地域及び市・町村部別の層における20歳以上の人口（平成22年10月1日現在）に対しウェイトをつけ、3,000の標本数を比例配分した。（最上地域の抽出率を他地域の2倍とし、集計の際に他地域のウェイトを2倍とした。）

〔抽 出〕

- (1) 平成22年国勢調査時に指定された調査区を、第一次抽出単位となる調査地点として使用した。
- (2) 調査地点の抽出数については、1調査地点当たりの標本数が18～20程度となるように、各層に割り当てられた標本数より算出し、調査地点を決定した。
- (3) 調査地点の抽出は、調査地点数が2点以上割り当てられた層については、「抽出間隔」（層における調査区数の合計÷層で算出された調査地点数）を算出し、等間隔抽出法によって抽出した。  
また、層内での調査地点数が1点の場合には、乱数表により無作為に抽出した。
- (4) 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、平成22年国勢調査時における「市区町村コード一覧」に従った。
- (5) 調査時点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内（町・丁目・番地・字等を指定）で、選挙人名簿から等間隔抽出法によって抽出した。

各地域及び市・町村部別の母集団数及び標本数・調査地点数は次の通りである。

地域名	山形市	その他の市部	町村部	計
村山地域	207,822	189,733	65,639	463,194
	603(32)	551(29)	190(10)	1,344(71)
最上地域		31,608	38,284	69,892
		183(10)	222(12)	405(22)
置賜地域		125,562	61,954	187,516
		364(19)	180(10)	544(29)
庄内地域		204,879	38,786	243,665
		594(32)	113(6)	707(38)
計	207,822	551,782	204,633	964,267
	603(32)	1,692(90)	705(38)	3,000(160)

(注) 上段：平成22年10月1日現在の母集団数

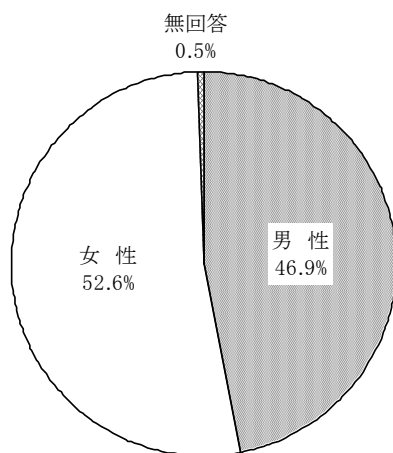
下段：調査標本数、( )内は地点数

## 7. 報告書の見方

- (1) 図表の中の全体とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- (2) 百分比は回答者総数全体（該当質問においては該当者数）に占める質問の選択者数の比率として算出している。なお、図表では小数点第2位をそれぞれ四捨五入しているため、百分比の合計が100%にならない場合がある。
- (3) 1つの質問において2つ以上の回答を求めたものもあり、従ってその場合の百分比の合計は100%を超える。
- (4) 各層別の分析において、回答者総数が僅少なものについては誤差が大きくなるため、本文での分析からはずすなど、参考として傾向をみるにとどめている。
- (5) 『 』は、2つ以上の選択肢を合わせて分析する場合に用いる。（例：「地域福祉の現状」についてでは、「行われている」、「ある程度は行われている」を合わせて、『行われている』と表現している。）
- (6) 図表で、「無回答」を一部省略して表しているために、合計が合致しない場合がある。
- (7) 図表等で、選択肢等の語句を一部簡略化して表している。

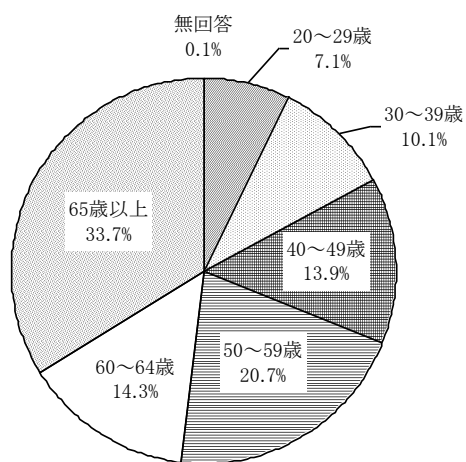
## 8. 調査対象の属性

### (1) 性別



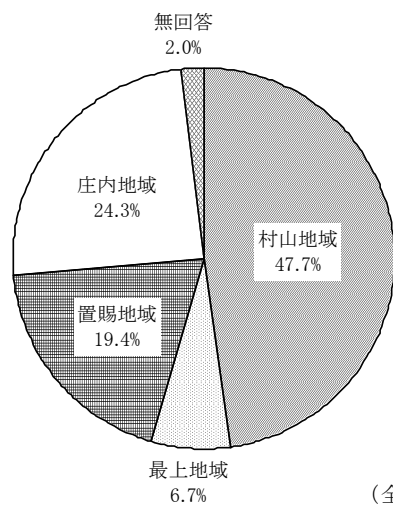
(全体 : 3,263)

### (2) 年齢



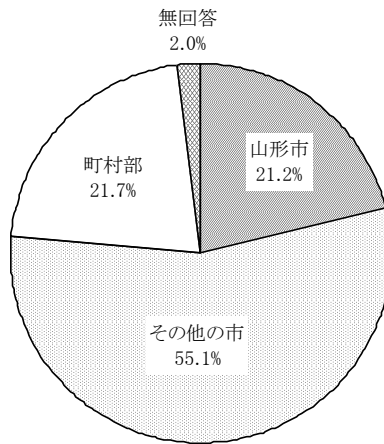
(全体 : 3,263)

### (3) 居住地区



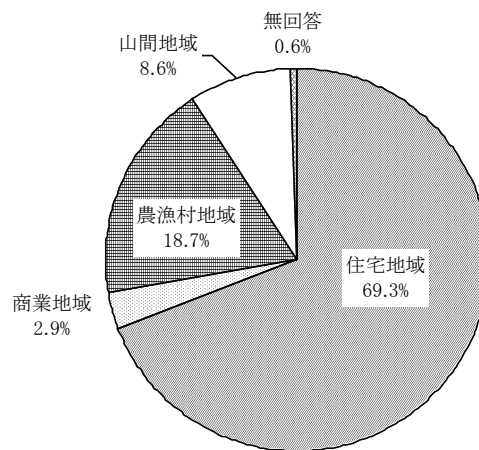
(全体 : 3,263)

(4) 市郡部



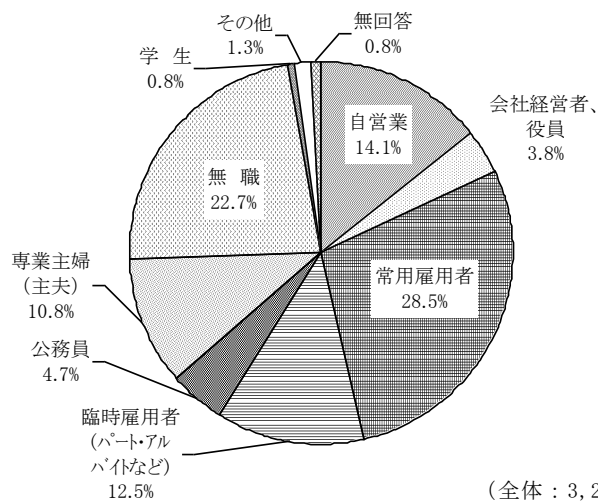
(全体 : 3,263)

(5) 居住地域



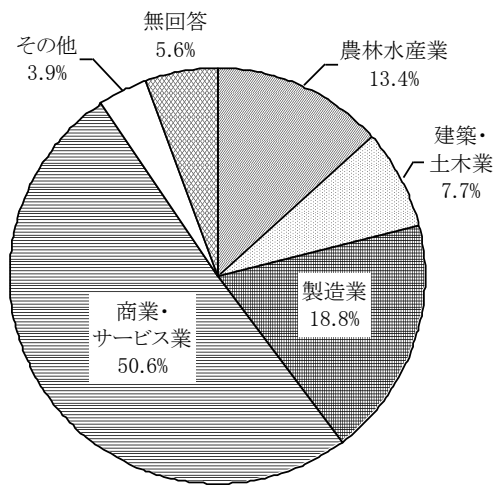
(全体 : 3,263)

(6) 職業



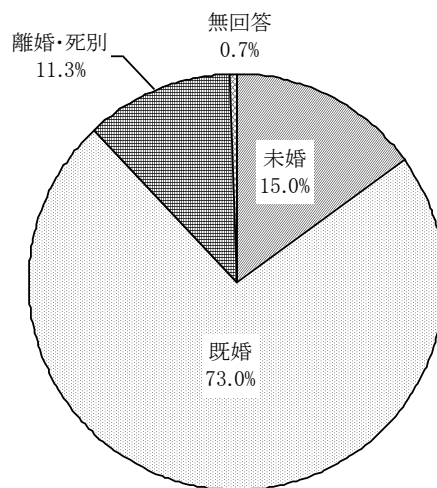
(全体 : 3,263)

(7) 職業の分野



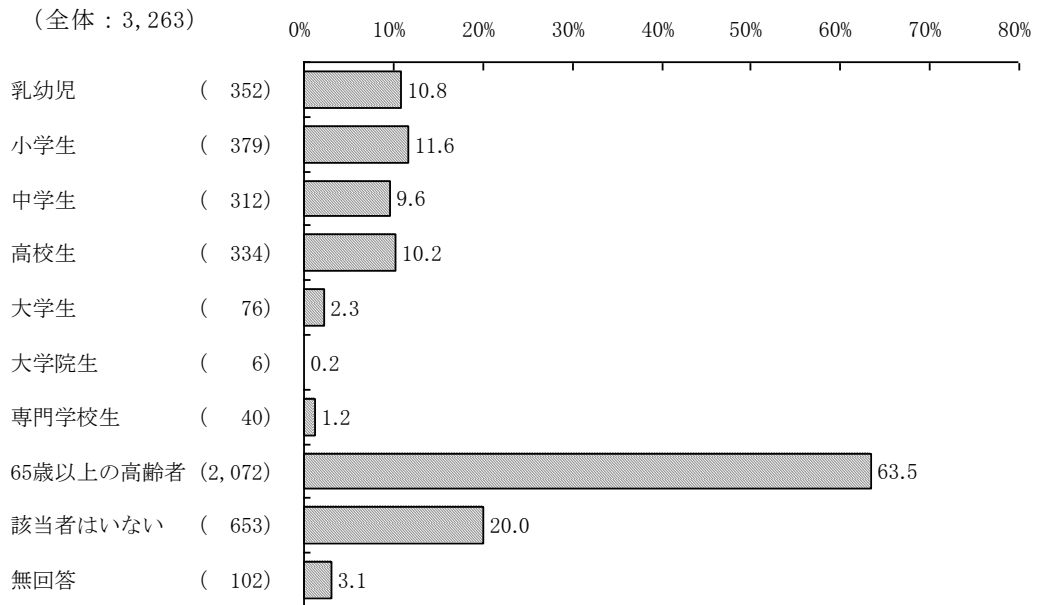
(全体 : 1,925)

(8) 未既婚

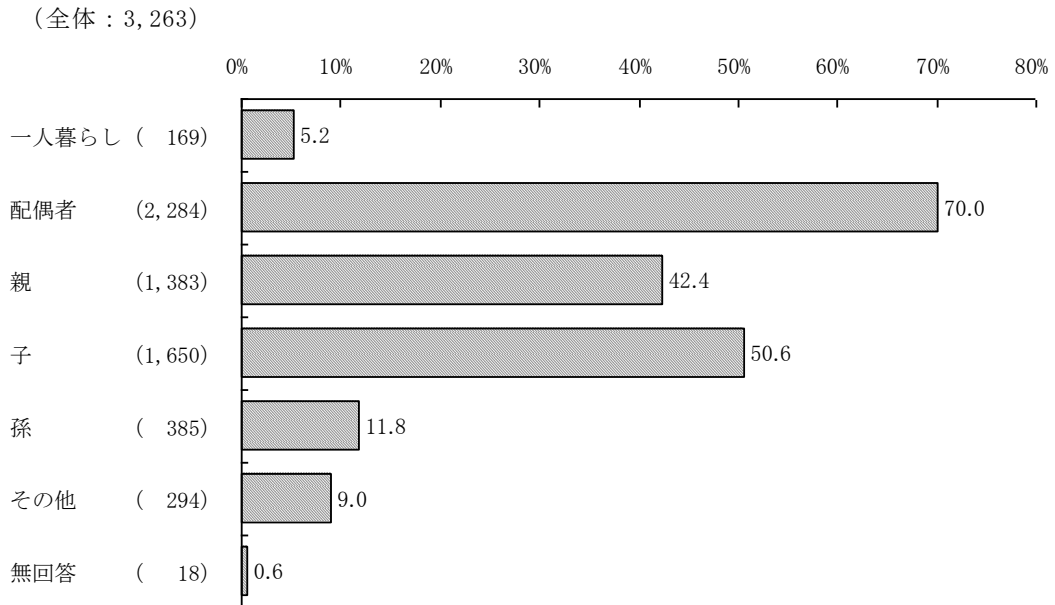


(全体 : 3,263)

### (9) 同居の家族



### (10) 同居の家族構成





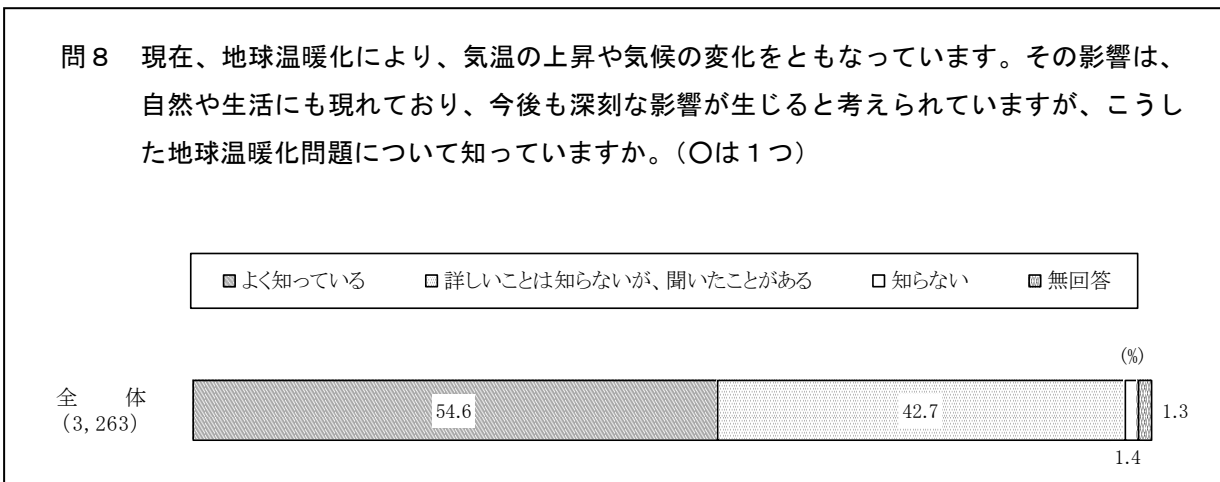
## II 調査結果

---

### 3. 「環境」について

#### 3-1. 「地球温暖化」と「エネルギー」について

##### (1) 地球温暖化問題の認知状況

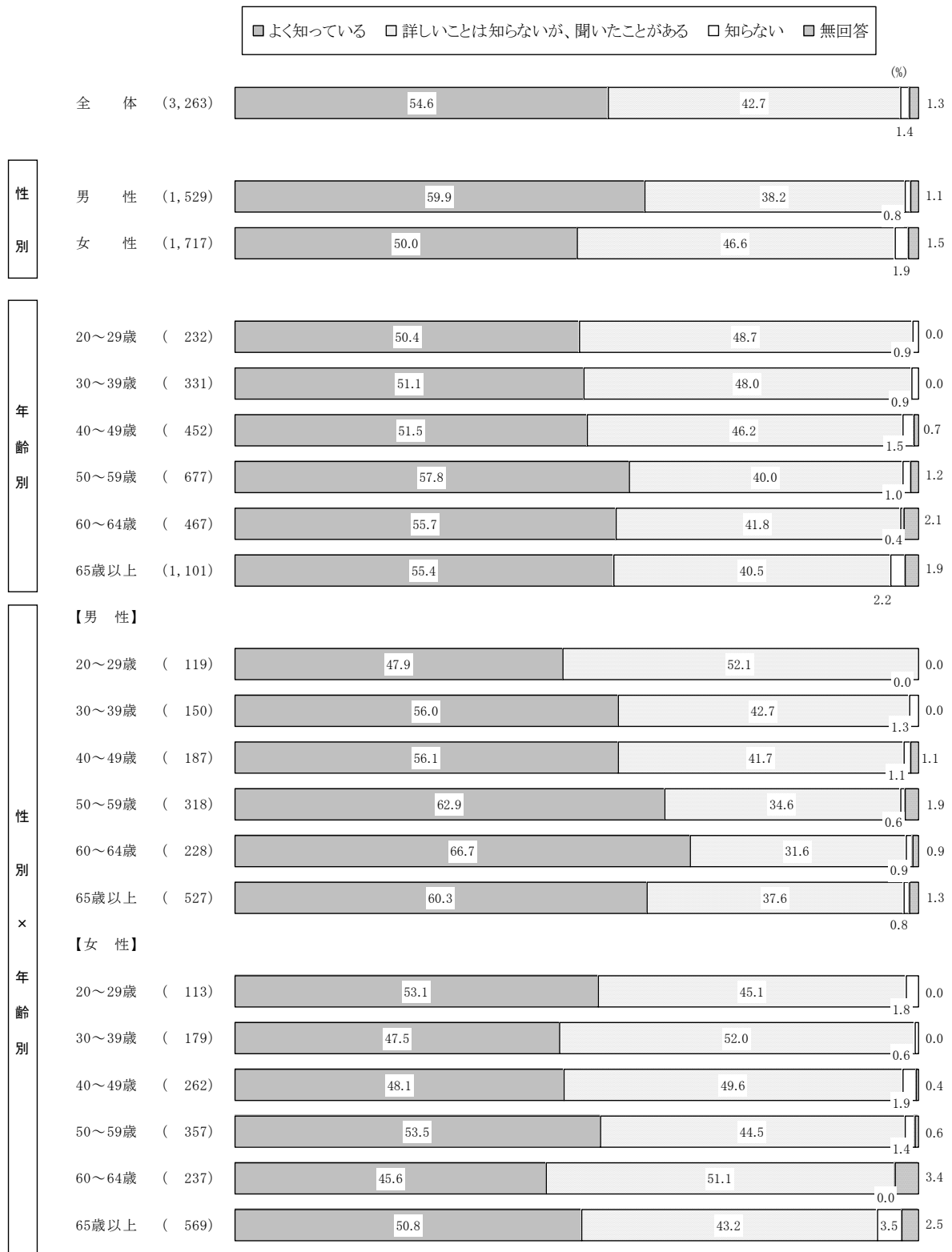


地球温暖化問題の認知状況をたずねたところ、「よく知っている」(54.6%)が最も多く、過半数を占めている。次いで、「詳しいことは知らないが、聞いたことがある」(42.7%)が4割強となっている。

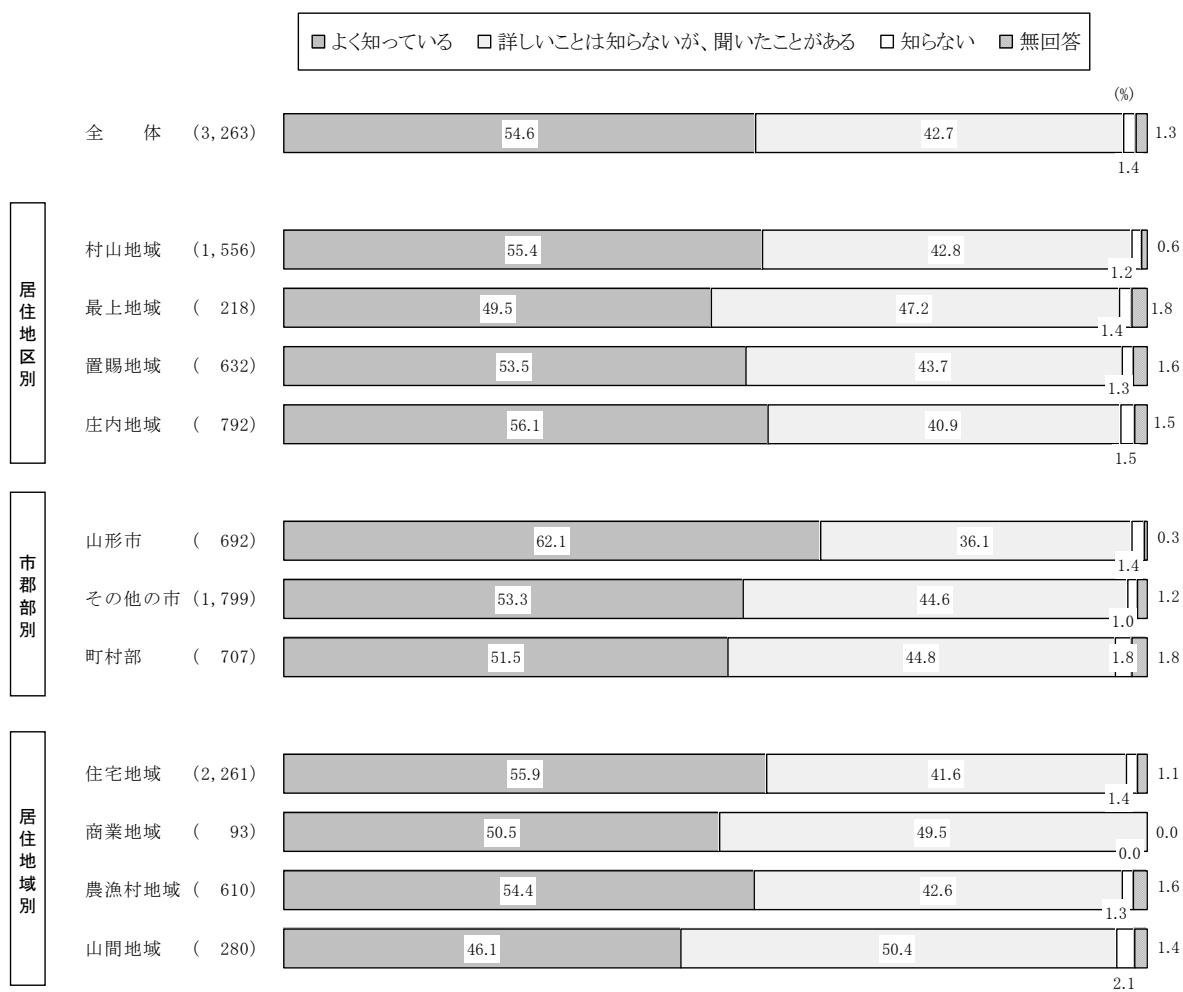
性別でみると、「よく知っている」の割合は男性の方が、「詳しいことは知らないが、聞いたことがある」の割合は女性の方が、それぞれ高くなっている。

年齢別でみると、「よく知っている」の割合は50～59歳で最も高くなっている。

図表 3-1 地球温暖化問題の認知状況（性別、年齢別、性・年齢別）



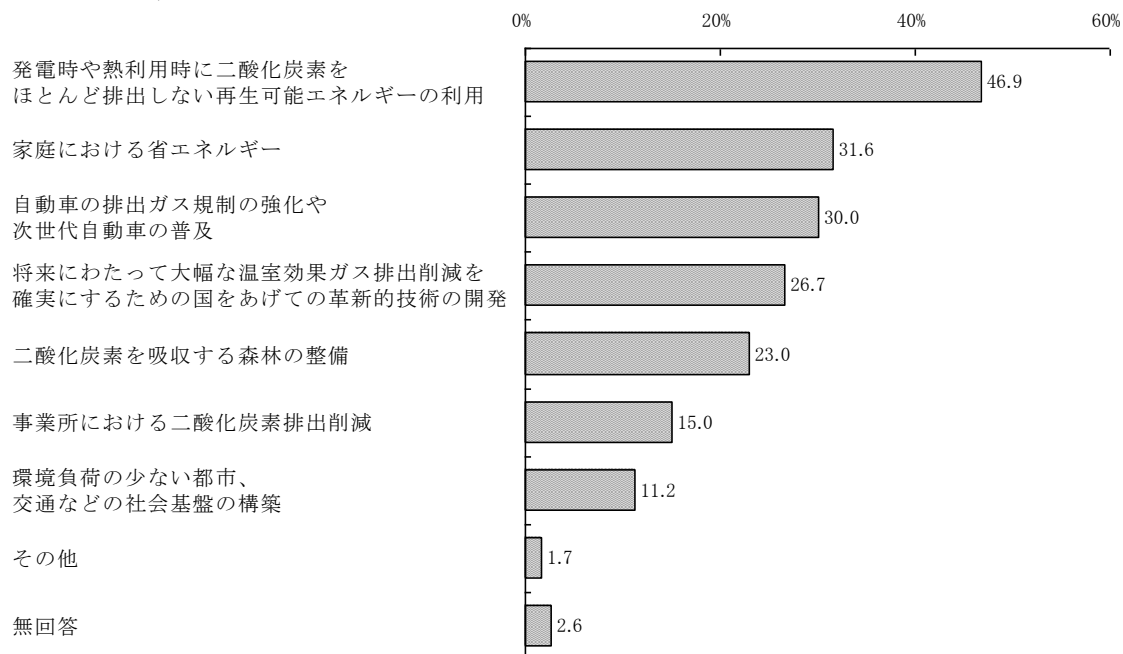
図表 3-2 地球温暖化問題の認知状況（居住地区別、市郡部別、居住地域別）



## (2) 地球温暖化を防止するための取組み

問9 地球温暖化を防止するために、あなたが特に力を入れて取り組むべきだと思うものをお答えください。(〇は2つまで)

(全体：3,263)



地球温暖化を防止するための取組みについてたずねたところ、「発電時や熱利用時に二酸化炭素をほとんど排出しない再生可能エネルギーの利用」(46.9%)が最も高い割合となっている。次いで、「家庭における省エネルギー」(31.6%)、「自動車の排出ガス規制の強化や次世代自動車の普及」(30.0%)、「将来にわたって大幅な温室効果ガス排出削減を確実にするための国をあげての革新的技術の開発」(26.7%)の順となっている。

性別では、「発電時や熱利用時に二酸化炭素をほとんど排出しない再生可能エネルギーの利用」では男性が女性よりも高く、「家庭における省エネルギー」では女性が男性よりも高くなっている。

年齢別でみると、20～29歳では「自動車の排出ガス規制の強化や次世代自動車の普及」(35.3%)、「事業所における二酸化炭素排出削減」(22.0%)、30～39歳では「環境負荷の少ない都市、交通などの社会基盤の構築」(22.1%)、40～49歳、50～59歳では「発電時や熱利用時に二酸化炭素をほとんど排出しない再生可能エネルギーの利用」(52.0%、51.8%)、60～64歳では「将来にわたって大幅な温室効果ガス排出削減を確実にするための国をあげての革新的技術の開発」(34.3%)、65歳以上では「家庭における省エネルギー」(35.4%)の割合がそれぞれ高く、他の年齢層を上回っている。

図表 3-3 地球温暖化を防止するための取組み（性別、年齢別、性・年齢別）

		上段：件数 下段：構成比																				
		調査数	家庭における省エネルギー	事業所における二酸化炭素排出削減	ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車等の普及	自動車の排出ガス規制の強化や次世代車の普及	林の整備	二酸化炭素を吸収する森	太陽光発電、省エネルギー機器の導入、LED照明の導入、断熱材の施工、エアコンの適切な使用、冷蔵庫の適切な使用、洗濯機の適切な使用、乾燥機の適切な使用、給湯機の適切な使用、節水器具の導入、節水意識の醸成	公共交通機関の少ない都市、環境負荷の少ない社会基盤の構築	国の排出削減を革新的技術の開発	将来にわたって大幅な温室効果ガスを削減する	その他	無回答								
全体		3,263	1,032	490	980	749	1,529	365	870	56	85	100.0%	31.6%	15.0%	30.0%	23.0%	46.9%	11.2%	26.7%	1.7%	2.6%	
性別	男性	1,529	396	241	505	344	786	174	412	42	31	100.0%	25.9%	15.8%	33.0%	22.5%	51.4%	11.4%	26.9%	2.7%	2.0%	
	女性	1,717	627	247	474	402	736	187	452	14	54	100.0%	36.5%	14.4%	27.6%	23.4%	42.9%	10.9%	26.3%	0.8%	3.1%	
	無回答	17	9	2	1	3	7	4	6	0	0	100.0%	52.9%	11.8%	5.9%	17.6%	41.2%	23.5%	35.3%	0.0%	0.0%	
年齢別	20～29歳	232	74	51	82	58	89	45	28	2	1	100.0%	31.9%	22.0%	35.3%	25.0%	38.4%	19.4%	12.1%	0.9%	0.4%	
	30～39歳	331	84	55	106	63	148	73	80	12	9	100.0%	25.4%	16.6%	32.0%	19.0%	44.7%	22.1%	24.2%	3.6%	2.7%	
	40～49歳	452	115	82	140	108	235	52	125	4	6	100.0%	25.4%	18.1%	31.0%	23.9%	52.0%	11.5%	27.7%	0.9%	1.3%	
	50～59歳	677	235	107	212	131	351	81	149	19	11	100.0%	34.7%	15.8%	31.3%	19.4%	51.8%	12.0%	22.0%	2.8%	1.6%	
	60～64歳	467	134	50	128	126	224	51	160	6	10	100.0%	28.7%	10.7%	27.4%	27.0%	48.0%	10.9%	34.3%	1.3%	2.1%	
	65歳以上	1,101	390	145	311	262	480	63	326	13	48	100.0%	35.4%	13.2%	28.2%	23.8%	43.6%	5.7%	29.6%	1.2%	4.4%	
	無回答	3	0	0	1	1	2	0	2	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	
性別×年齢別	男性	20～29歳	119	28	26	45	36	42	33	8	2	1	100.0%	23.5%	21.8%	37.8%	30.3%	35.3%	27.7%	6.7%	1.7%	0.8%
		30～39歳	150	31	16	49	27	71	30	38	12	9	100.0%	20.7%	10.7%	32.7%	18.0%	47.3%	20.0%	25.3%	8.0%	6.0%
		40～49歳	187	46	38	63	34	98	16	53	2	4	100.0%	24.6%	20.3%	33.7%	18.2%	52.4%	8.6%	28.3%	1.1%	2.1%
		50～59歳	318	83	53	118	59	171	39	77	11	7	100.0%	26.1%	16.7%	37.1%	18.6%	53.8%	12.3%	24.2%	3.5%	2.2%
		60～64歳	228	44	27	75	58	129	25	82	2	4	100.0%	19.3%	11.8%	32.9%	25.4%	56.6%	11.0%	36.0%	0.9%	1.8%
		65歳以上	527	164	81	155	130	275	31	154	13	6	100.0%	31.1%	15.4%	29.4%	24.7%	52.2%	5.9%	29.2%	2.5%	1.1%
		無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性	20～29歳	113	46	25	37	22	47	12	20	0	0	100.0%	40.7%	22.1%	32.7%	19.5%	41.6%	10.6%	17.7%	0.0%	0.0%
		30～39歳	179	51	37	57	36	77	43	42	0	0	100.0%	28.5%	20.7%	31.8%	20.1%	43.0%	24.0%	23.5%	0.0%	0.0%
		40～49歳	262	68	44	77	74	135	34	71	2	2	100.0%	26.0%	16.8%	29.4%	28.2%	51.5%	13.0%	27.1%	0.8%	0.8%
		50～59歳	357	150	54	94	72	180	40	72	8	4	100.0%	42.0%	15.1%	26.3%	20.2%	50.4%	11.2%	20.2%	2.2%	1.1%
		60～64歳	237	88	23	53	68	95	26	76	4	6	100.0%	37.1%	9.7%	22.4%	28.7%	40.1%	11.0%	32.1%	1.7%	2.5%
		65歳以上	569	224	64	156	130	202	32	171	0	42	100.0%	39.4%	11.2%	27.4%	22.8%	35.5%	5.6%	30.1%	0.0%	7.4%
		無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

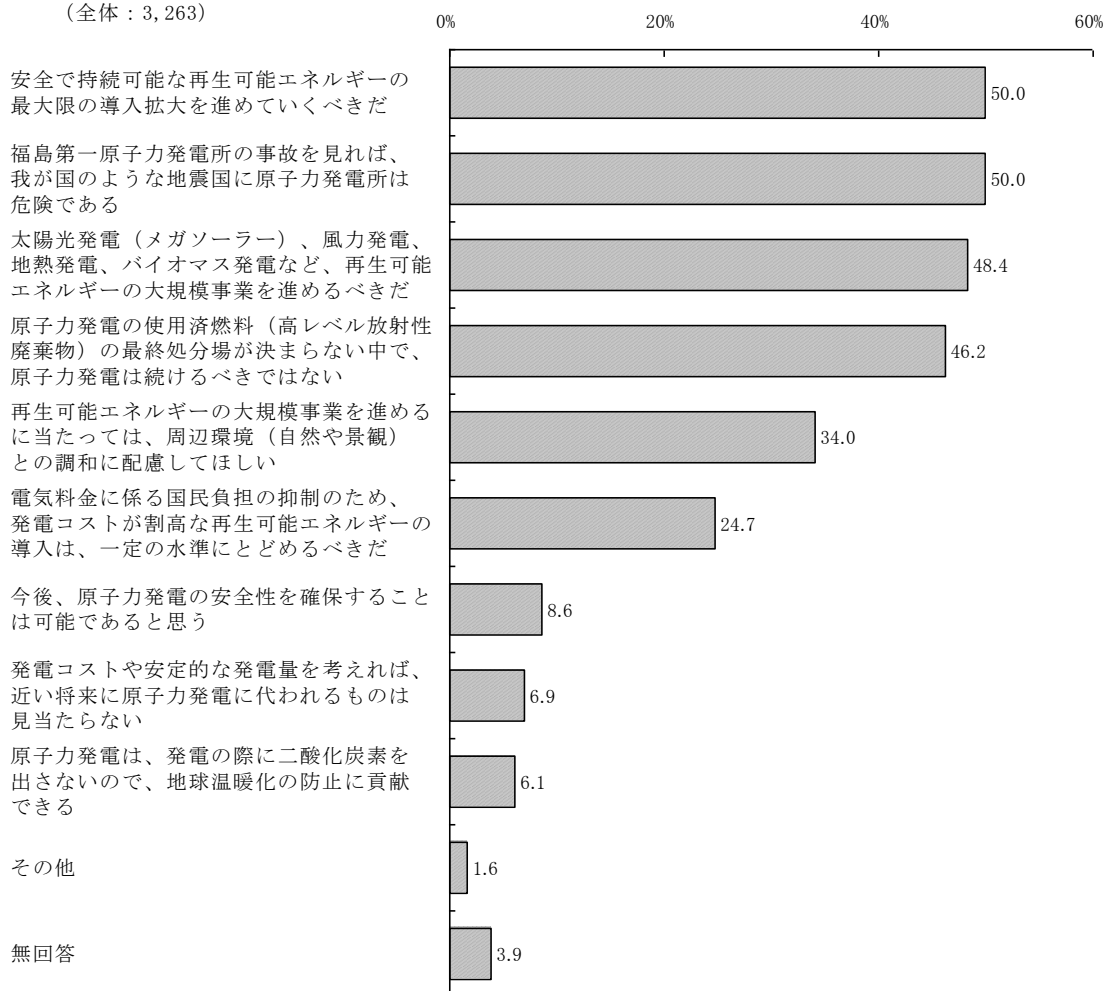
図表 3-4 地球温暖化を防止するための取組み（居住地区別、市郡部別、居住地域別）

		上段：件数 下段：構成比											
		調査数	家庭における省エネルギー	事業所における二酸化炭素排出削減	ハイブリッド自動車、電気自動車、燃料電池自動車等の普及	自動車の排出ガス規制の強化や次世代自動車の導入	二酸化炭素を吸収する森林の整備	発電時や熱利用時に二酸化炭素をほとんど排出しない再生可能エネルギー（太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス）の導入、蓄電など、一度利用した後も比較的短い期間に再生が可能で、資源が枯渇しないエネルギーの活用	築交通などの社会基盤の構築	環境負荷の少ない都市、環境負荷の少ない都市、環境負荷の少ない都市	将来にわたって大幅な温室効果ガス削減を確実にする技術の開発	その他	無回答
全 体		3,263 100.0%	1,032 31.6%	490 15.0%	980 30.0%	749 23.0%	1,529 46.9%	365 11.2%	870 26.7%	56 1.7%	85 2.6%		
居住地区別	村山地域	1,556 100.0%	500 32.1%	234 15.0%	486 31.2%	372 23.9%	714 45.9%	182 11.7%	416 26.7%	34 2.2%	24 1.5%		
	最上地域	218 100.0%	74 33.9%	37 17.0%	56 25.7%	49 22.5%	107 49.1%	13 6.0%	59 27.1%	2 0.9%	6 2.8%		
	置賜地域	632 100.0%	166 26.3%	80 12.7%	206 32.6%	138 21.8%	310 49.1%	80 12.7%	178 28.2%	10 1.6%	20 3.2%		
	庄内地域	792 100.0%	272 34.3%	128 16.2%	214 27.0%	180 22.7%	368 46.5%	88 11.1%	202 25.5%	10 1.3%	24 3.0%		
	無回答(県外・不明含む)	65 100.0%	20 30.8%	11 16.9%	18 27.7%	10 15.4%	30 46.2%	2 3.1%	15 23.1%	0 0.0%	11 16.9%		
市郡部別	山形市	692 100.0%	220 31.8%	118 17.1%	212 30.6%	154 22.3%	322 46.5%	102 14.7%	180 26.0%	24 3.5%	6 0.9%		
	その他の市	1,799 100.0%	571 31.7%	244 13.6%	519 28.8%	438 24.3%	864 48.0%	190 10.6%	471 26.2%	25 1.4%	44 2.4%		
	町村部	707 100.0%	221 31.3%	117 16.5%	231 32.7%	147 20.8%	313 44.3%	71 10.0%	204 28.9%	7 1.0%	24 3.4%		
	無回答(県外・不明含む)	65 100.0%	20 30.8%	11 16.9%	18 27.7%	10 15.4%	30 46.2%	2 3.1%	15 23.1%	0 0.0%	11 16.9%		
居住地域別	住宅地域	2,261 100.0%	731 32.3%	350 15.5%	665 29.4%	492 21.8%	1,061 46.9%	283 12.5%	599 26.5%	40 1.8%	57 2.5%		
	商業地域	93 100.0%	39 41.9%	18 19.4%	27 29.0%	22 23.7%	54 58.1%	6 6.5%	29 31.2%	0 0.0%	0 0.0%		
	農漁村地域	610 100.0%	163 26.7%	90 14.8%	191 31.3%	146 23.9%	291 47.7%	54 8.9%	164 26.9%	15 2.5%	14 2.3%		
	山間地域	280 100.0%	92 32.9%	28 10.0%	95 33.9%	86 30.7%	111 39.6%	22 7.9%	72 25.7%	1 0.4%	12 4.3%		
	無回答	19 100.0%	7 36.8%	4 21.1%	2 10.5%	3 15.8%	12 63.2%	0 0.0%	6 31.6%	0 0.0%	2 10.5%		

### (3) エネルギー利用に関する意見

問 10 県では、「山形県エネルギー戦略」を策定し、新たな再生可能エネルギー資源を開発することを目標に掲げ、生活や産業活動に必要な地域の中で生み出し、安定的に供給していく体制の整備に取り組んでいます。エネルギー利用に関しては、例えば、次のような意見がありますが、あなたの考えに近いものをお答えください。(〇はいくつでも)

(全体：3,263)



エネルギー利用に関する意見についてたずねたところ、「安全で持続可能な再生可能エネルギーの最大限の導入拡大を進めていくべきだ」「福島第一原子力発電所の事故を見れば、我が国のような地震国に原子力発電所は危険である」（各 50.0%）との回答が多くなっている。次いで、「太陽光発電（メガソーラー）、風力発電、地熱発電、バイオマス発電など、再生可能エネルギーの大規模事業を進めるべきだ」（48.4%）、「原子力発電の使用済燃料（高レベル放射性廃棄物）の最終処分場が決まらない中で、原子力発電は続けるべきではない」（46.2%）の順となっている。



性別でみると、「再生可能エネルギーの大規模事業を進めるに当たっては、周辺環境（自然や景観）との調和に配慮してほしい」（36.7%）、「今後、原子力発電の安全性を確保することは可能であると思う」（11.7%）で男性が女性よりも高くなっている。

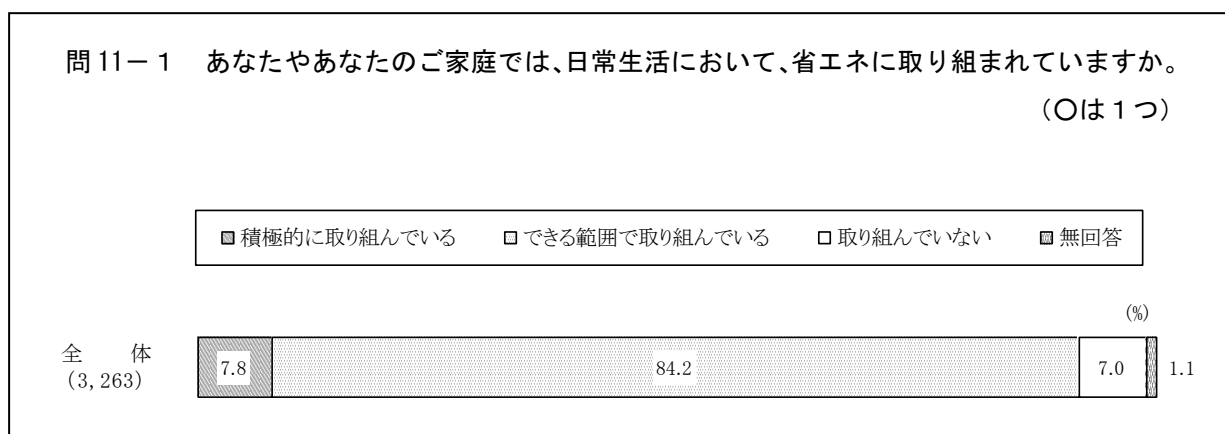
年齢別でみると、20～29歳では「発電コストや安定的な発電量を考えれば、近い将来に原子力発電に代わるものは見当たらない」（14.2%）、50～59歳では「太陽光発電（メガソーラー）、風力発電、地熱発電、バイオマス発電など、再生可能エネルギーの大規模事業を進めるべきだ」（55.4%）、65歳以上では「福島第一原子力発電所の事故を見れば、我が国のような地震国に原子力発電所は危険である」（57.9%）、「原子力発電の使用済燃料（高レベル放射性廃棄物）の最終処分場が決まらない中で、原子力発電は続けるべきではない」（53.7%）の割合がそれぞれ高く、他の年齢層を上回っている。

図表 3-5 エネルギー利用に関する意見（性別、年齢別、性・年齢別）

		上段：件数 下段：構成比												
		調査数	安全で持続可能な再生エネルギーの導入拡大を進めていくべきだ	安全で持続可能な再生エネルギーの導入拡大を進めていくべきだ	安全で持続可能な再生エネルギーの導入拡大を進めていくべきだ	安全で持続可能な再生エネルギーの導入拡大を進めていくべきだ	安全で持続可能な再生エネルギーの導入拡大を進めていくべきだ	安全で持続可能な再生エネルギーの導入拡大を進めていくべきだ	安全で持続可能な再生エネルギーの導入拡大を進めていくべきだ	安全で持続可能な再生エネルギーの導入拡大を進めていくべきだ	安全で持続可能な再生エネルギーの導入拡大を進めていくべきだ	安全で持続可能な再生エネルギーの導入拡大を進めていくべきだ	安全で持続可能な再生エネルギーの導入拡大を進めていくべきだ	
全 体		3,263	1,630	1,578	1,110	806	1,630	1,507	281	226	199	53	128	
		100.0%	50.0%	48.4%	34.0%	24.7%	50.0%	46.2%	8.6%	6.9%	6.1%	1.6%	3.9%	
性別	男 性	1,529	750	775	561	364	734	731	179	160	141	31	24	
	女 性	1,717	866	794	543	437	887	764	100	63	58	22	104	
	無 回 答	17	14	9	6	5	9	12	2	3	0	0	0	
		100.0%	82.4%	52.9%	35.3%	29.4%	52.9%	70.6%	11.8%	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%	
年齢別	20～29歳	232	105	96	70	72	68	62	29	33	14	4	1	
	30～39歳	331	179	159	110	72	126	110	27	29	14	10	3	
	40～49歳	452	188	194	137	104	211	195	36	39	35	4	18	
	50～59歳	677	362	375	275	142	331	321	46	45	27	16	20	
	60～64歳	467	237	201	178	113	254	225	55	31	32	8	16	
	65歳以上	1,101	556	551	339	302	638	591	88	48	77	11	70	
	無 回 答	3	3	2	1	1	2	3	0	1	0	0	0	
		100.0%	100.0%	66.7%	33.3%	33.3%	66.7%	100.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
性別×年齢別	男 性	20～29歳	119	47	49	33	38	25	30	23	23	12	2	1
		30～39歳	150	71	63	55	36	48	45	19	23	10	4	1
		40～49歳	187	74	83	53	39	84	92	15	29	29	4	4
		50～59歳	318	160	185	133	60	143	162	30	28	19	6	2
		60～64歳	228	120	101	94	51	111	107	42	24	24	4	5
		65歳以上	527	278	294	193	140	323	295	50	33	47	11	11
		無 回 答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女 性	20～29歳	113	58	47	37	34	43	32	6	10	2	2	0
		30～39歳	179	106	94	55	36	78	63	8	6	4	6	2
		40～49歳	262	111	109	82	65	125	101	21	10	6	0	14
		50～59歳	357	202	188	142	82	188	159	14	17	8	10	18
		60～64歳	237	115	100	82	60	141	116	13	5	8	4	11
65歳以上		569	274	256	145	160	312	293	38	15	30	0	59	
無 回 答		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	



#### (4) 省エネの取組み状況

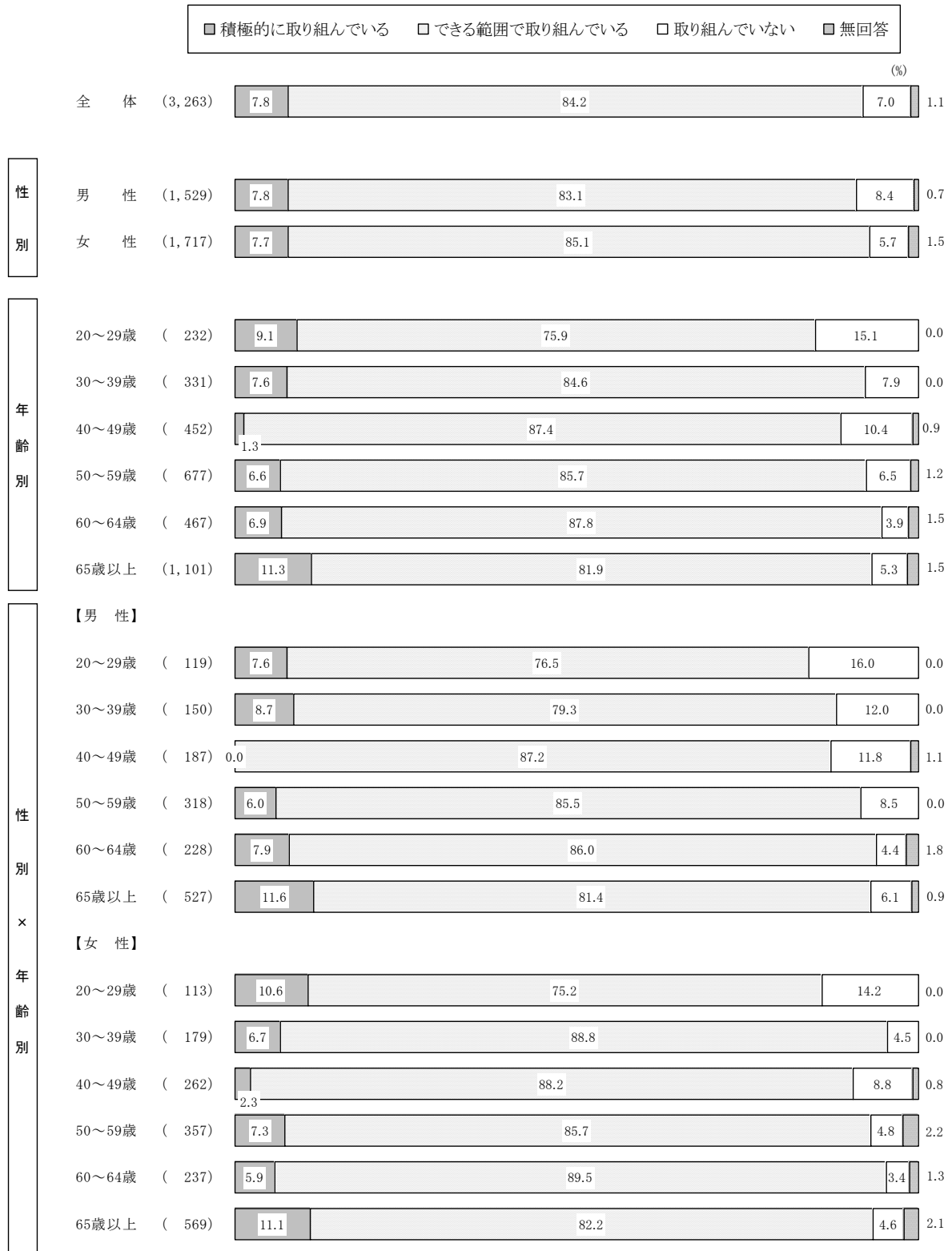


日常生活における省エネの取組み状況をたずねたところ、「できる範囲で取り組んでいる」(84.2%)が最も多く、「積極的に取り組んでいる」(7.8%)を合わせると、取り組んでいる人の割合は9割を超える。

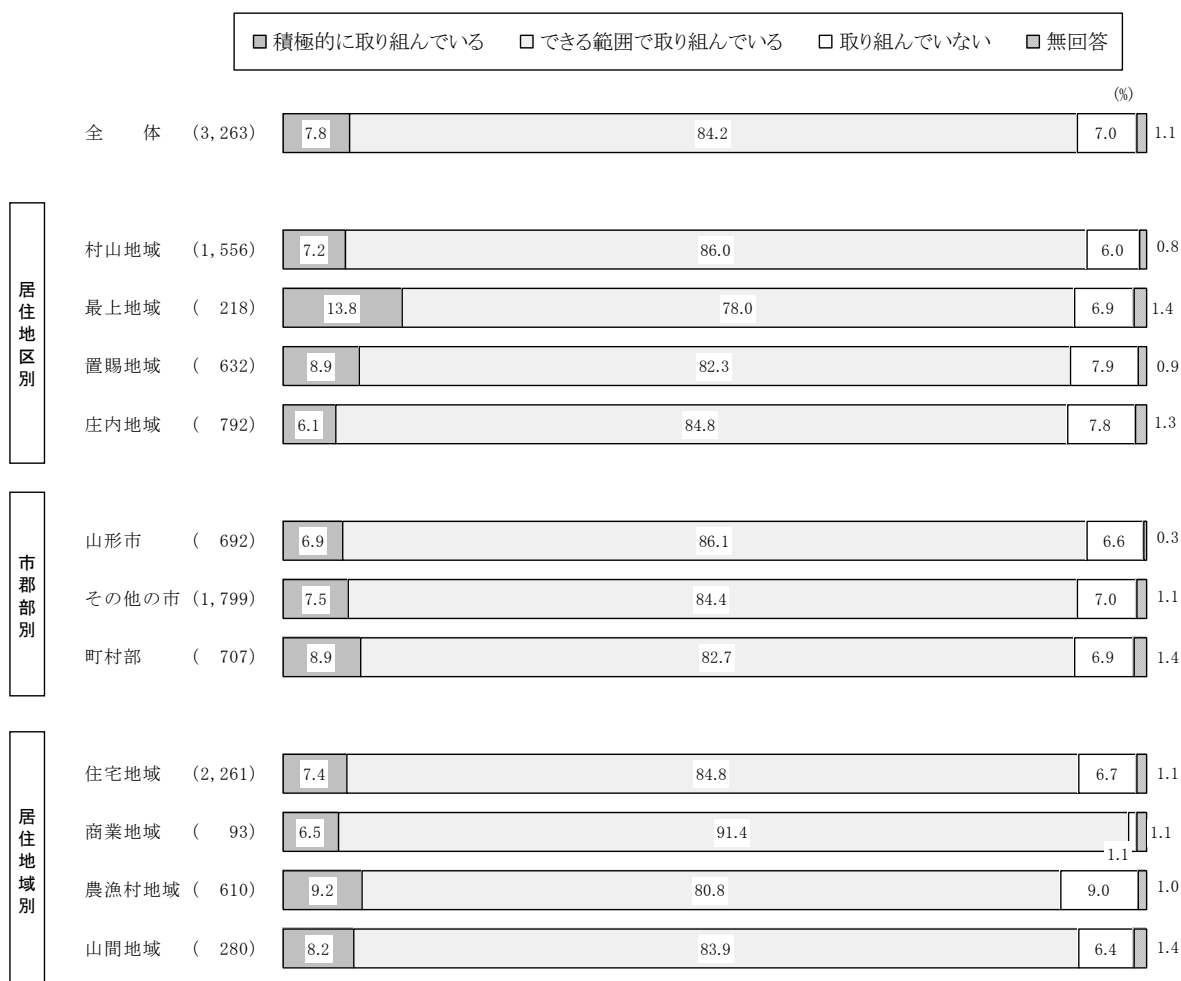
性別では、特に大きな差はみられない。

年齢別でみると、20～29歳で「取り組んでいない」(15.1%)の割合が高いのが目立つ。

図表 3-7 省エネの取組み状況（性別、年齢別、性・年齢別）



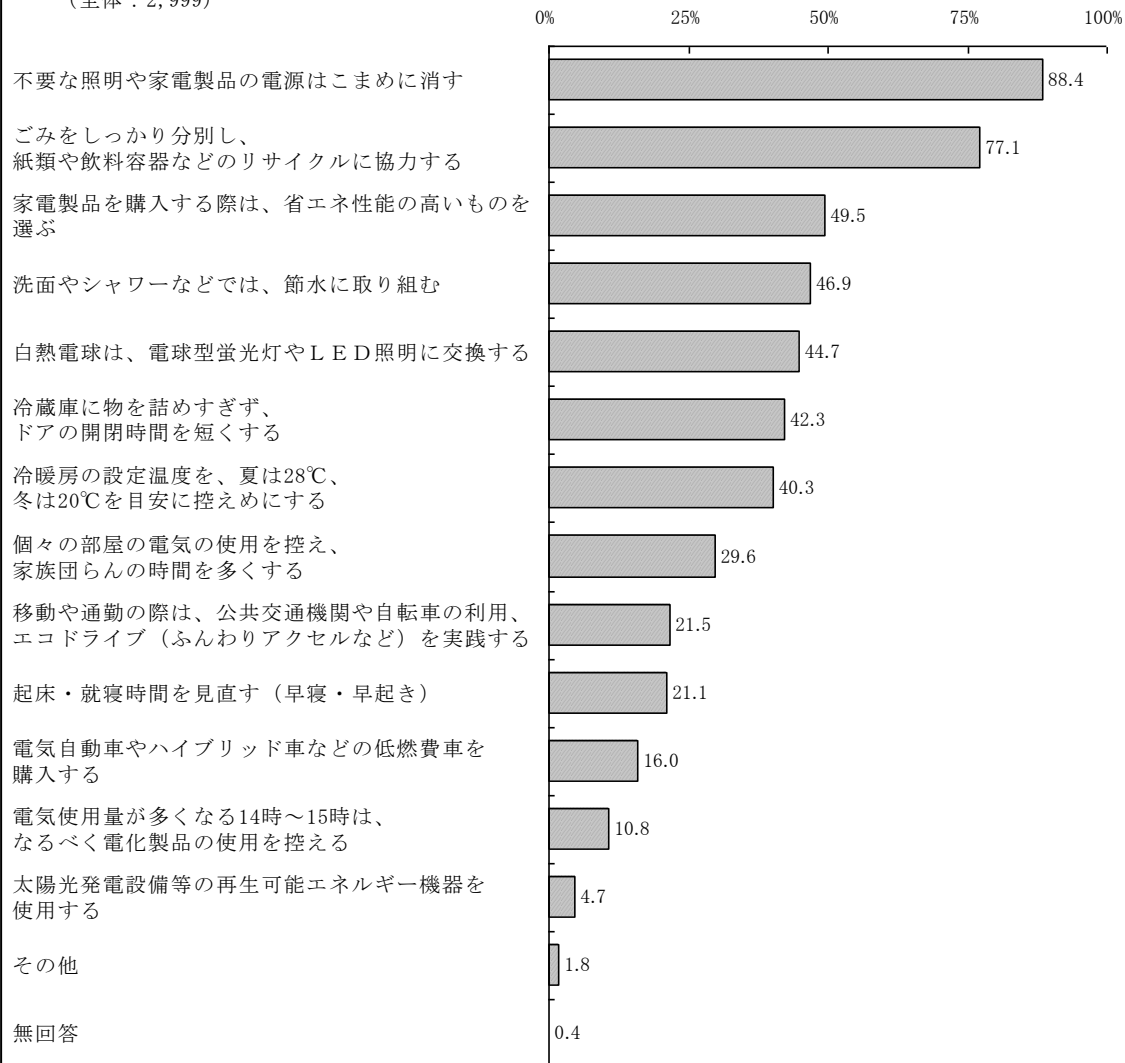
図表 3-8 省エネの取組み状況（居住地区別、市郡部別、居住地域別）



## (5) 省エネの取組み内容

問 11-2 「1. 積極的に取り組んでいる」「2. できる範囲で取り組んでいる」と答えた方にお聞きします。省エネの取組み内容をお答えください。(〇はいくつでも)

(全体：2,999)



省エネに取り組んでいる人に、取組み内容についてたずねたところ、「不要な照明や家電製品の電源はこまめに消す」(88.4%)との回答が最も多くなっている。次いで、「ごみをしっかり分別し、紙類や飲料容器などのリサイクルに協力する」(77.1%)、「家電製品を購入する際は、省エネ性能の高いものを選ぶ」(49.5%)、「洗面やシャワーなどでは、節水に取り組む」(46.9%)の順となっている。

性別で見ると、13項目中10項目において女性が男性よりも高くなっており、中でも「冷蔵庫に物を詰めすぎず、ドアの開閉時間を短くする」(49.7%)、「個々の部屋の電気の使用を控え、家族団らんの時間を多くする」(34.5%)では男性を10ポイント以上上回っている。

年齢別で見ると、40～49歳では「個々の部屋の電気の使用を控え、家族団らんの時間を多くする」(35.7%)、50～59歳では「電気自動車やハイブリッド車などの低燃費車を購入する」(22.1%)、60～64歳では「ごみをしっかり分別し、紙類や飲料容器などのリサイクルに協力する」(81.9%)、65歳以上では「起床・就寝時間を見直す(早寝・早起き)」(26.3%)の割合がそれぞれ高く、他の年齢層を上回っている。

図表 3-9 省エネの取組み内容(性別、年齢別、性・年齢別)

		上段：件数 下段：構成比																		
		調査数	電源は不要な照明や家電製品の消費を減らす	冷房の設定温度を夏は20℃、冬は18℃に設定し、室温を一定に保つ	冷蔵庫の扉を開閉時間を短くする	洗濯機、乾燥機、電子レンジなどの家電製品の電源を切る	個々の部屋の電気の使用を多くする	家族団らんの時間を多くする	電気使用量がなくなる14時間以上の使用を控える	白熱電球やLED電球に交換する	省エネ性能の高い家電製品を購入する	家庭用太陽光発電設備の導入	電気自動車やハイブリッド車などの低燃費車を購入	移動や通勤の際は、公共交通機関や自転車、徒歩を利用(エコドライブ)する	洗面やシャワーなどで節水に取り組む	紙類や飲料容器などのリサイクルに協力する	ごみをしっかり分別し、紙類や飲料容器などのリサイクルに協力する	(起床・就寝時間を見直す(早寝・早起き))	その他	無回答
全体		2,999	2,650	1,209	1,268	889	323	1,341	1,486	140	481	646	1,407	2,312	633	53	11			
性別	男性	1,390	1,220	542	471	337	121	613	644	72	250	319	587	1,014	275	26	2			
	女性	1,594	1,415	662	793	550	200	723	838	67	229	324	811	1,287	356	27	9			
	無回答	15	15	5	4	2	2	5	4	1	2	3	9	11	2	0	0			
年齢別	20～29歳	197	177	66	69	61	17	57	73	13	26	49	83	112	33	4	0			
	30～39歳	305	255	134	112	101	33	132	130	6	41	66	133	221	59	4	0			
	40～49歳	401	368	146	145	143	38	171	203	14	64	82	199	301	62	2	0			
	50～59歳	625	555	249	264	174	58	282	329	34	138	176	299	494	101	18	0			
	60～64歳	442	402	171	201	119	35	211	238	25	74	97	209	362	108	8	2			
	65歳以上	1,026	890	442	477	290	141	488	513	47	138	175	483	819	270	17	9			
	無回答	3	3	1	0	1	1	0	0	1	0	1	1	3	0	0	0			
	性×年齢別	20～29歳	100	85	32	31	20	5	23	43	9	7	23	45	51	11	2	0		
性別×年齢別	30～39歳	132	106	58	40	36	17	53	52	4	22	38	52	94	24	2	0			
	40～49歳	163	146	55	46	47	8	65	70	8	31	35	71	117	18	0	0			
	50～59歳	291	250	104	98	71	26	121	135	16	74	83	115	217	51	8	0			
	60～64歳	214	200	82	74	47	15	105	107	13	32	48	86	169	50	4	0			
	65歳以上	490	433	211	182	116	50	246	237	22	84	92	218	366	121	10	2			
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	女性×年齢別	20～29歳	97	92	34	38	41	12	34	30	4	19	26	38	61	22	2	0		
		30～39歳	171	147	76	72	65	16	77	78	2	19	28	81	127	35	2	0		
40～49歳		237	221	91	98	96	30	106	133	6	33	47	128	183	44	2	0			
50～59歳		332	303	145	166	103	32	161	194	18	64	93	182	277	48	10	0			
60～64歳		226	200	89	127	72	20	104	129	12	40	47	121	191	58	4	2			
65歳以上		531	452	227	292	173	90	241	274	25	54	83	261	448	149	7	7			
無回答		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
無回答		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

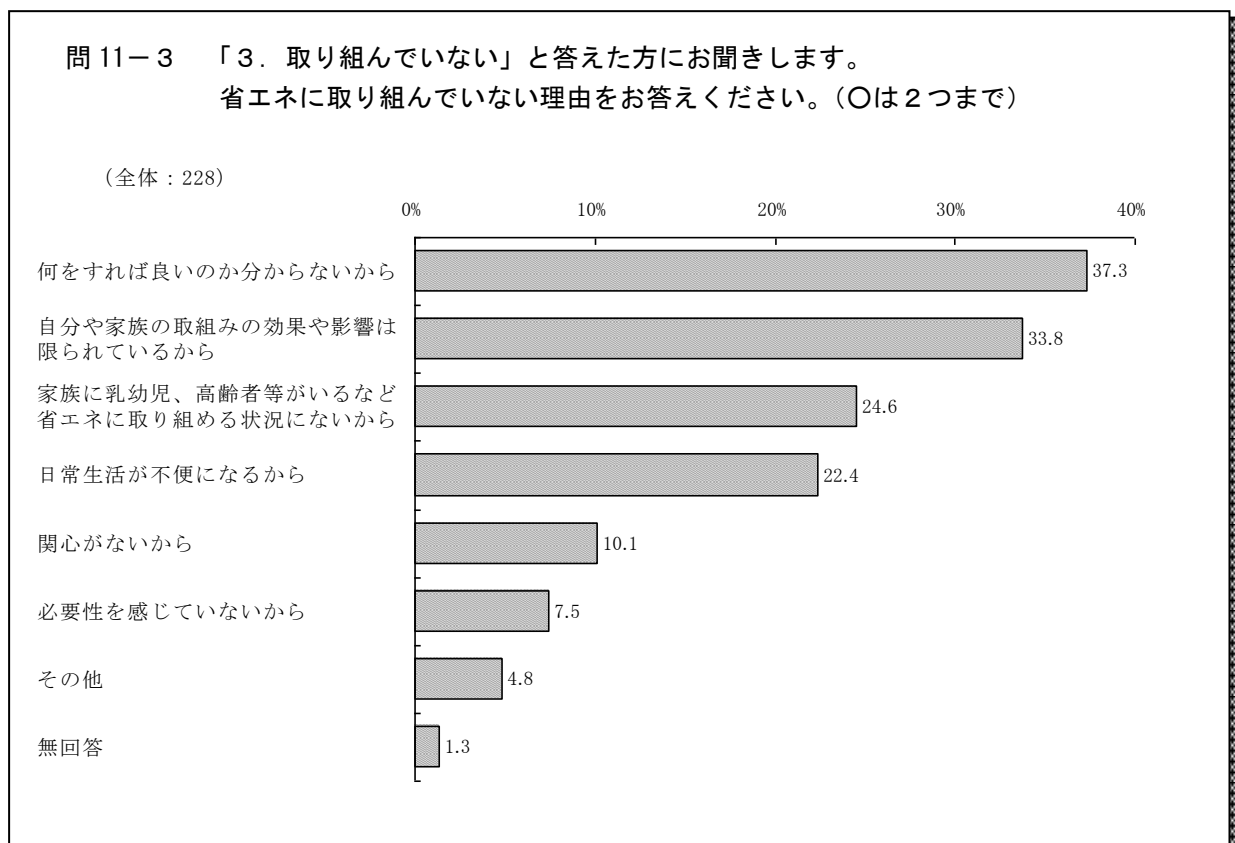


図表 3-10 省エネの取組み内容（居住地区別、市郡部別、居住地域別）

上段：件数 下段：構成比

	調査数	電源はこまめに消費 不要な照明や家電製品の電源はこまめに消費	冷房の設定温度を夏は28℃、冬は20℃を目安に控える	冷房庫に物を詰めすぎず、ドアの開閉時間を短くする	冷房庫に物を詰めすぎず、ドアの開閉時間を短くする	個々の部屋の電気の使用を控える、家族団らんの使用を多くする	電気の使用を控える 電気が多くなる14時～15時は、なるべく電化製品の使用を控える	白熱電球は、電球型蛍光灯やLED照明に交換する	家電製品を省エネ性能の高いものを選ぶ	家電製品を購入する際は、省エネ性能の高いものを選ぶ	太陽光発電設備等の再生可能エネルギー機器を使用する	電気自動車やハイブリッド車などの低燃費車を購入する	移動や通勤の際は、公共交通機関や自転車の利用、エコドライブを実践する	洗面やシャワーなどは、節水に取り組む	紙類や飲料容器などのリサイクルに協力する	ごみをしっかり分別し、紙類や飲料容器などのリサイクルに協力する	起床・就寝時間を見直す（早寝・早起き）	その他	無回答
全 体	2,999 100.0%	2,650 88.4%	1,209 40.3%	1,268 42.3%	889 29.6%	323 10.8%	1,341 44.7%	1,486 49.5%	140 4.7%	481 16.0%	646 21.5%	1,407 46.9%	2,312 77.1%	633 21.1%	53 1.8%	11 0.4%			
居住地区別	村山地域	1,450 100.0%	1,272 87.7%	598 41.2%	626 43.2%	432 29.8%	174 12.0%	666 45.9%	738 50.9%	74 5.1%	252 17.4%	334 23.0%	702 48.4%	1,124 77.5%	320 22.1%	24 1.7%	4 0.3%		
	最上地域	200 100.0%	181 90.5%	69 34.5%	77 38.5%	55 27.5%	19 9.5%	86 43.0%	91 45.5%	7 3.5%	31 15.5%	35 17.5%	78 39.0%	135 67.5%	39 19.5%	1 0.5%	1 0.5%		
	置賜地域	576 100.0%	510 88.5%	208 36.1%	228 39.6%	182 31.6%	56 9.7%	256 44.4%	292 50.7%	30 5.2%	94 16.3%	126 21.9%	272 47.2%	452 78.5%	126 21.9%	12 2.1%	4 0.7%		
	庄内地域	720 100.0%	642 89.2%	306 42.5%	322 44.7%	208 28.9%	70 9.7%	316 43.9%	344 47.8%	26 3.6%	102 14.2%	146 20.3%	338 46.9%	560 77.8%	138 19.2%	16 2.2%	0 0.0%		
	無回答(県外・不明含む)	53 100.0%	45 84.9%	28 52.8%	15 28.3%	12 22.6%	4 7.5%	17 32.1%	21 39.6%	3 5.7%	2 3.8%	5 9.4%	17 32.1%	41 77.4%	10 18.9%	0 0.0%	2 3.8%		
	市郡部別	山形市	644 100.0%	558 86.6%	298 46.3%	294 45.7%	190 29.5%	84 13.0%	298 46.3%	338 52.5%	32 5.0%	114 17.7%	164 25.5%	316 49.1%	532 82.6%	130 20.2%	10 1.6%	2 0.3%	
その他の市	1,654 100.0%	1,473 89.1%	659 39.8%	720 43.5%	503 30.4%	170 10.3%	734 44.4%	833 50.4%	66 4.0%	263 15.9%	369 22.3%	771 46.6%	1,268 76.7%	338 20.4%	32 1.9%	7 0.4%			
町村部	648 100.0%	574 88.6%	224 34.6%	239 36.9%	184 28.4%	65 10.0%	292 45.1%	294 45.4%	39 6.0%	102 15.7%	108 16.7%	303 46.8%	471 72.7%	155 23.9%	11 1.7%	0 0.0%			
無回答(県外・不明含む)	53 100.0%	45 84.9%	28 52.8%	15 28.3%	12 22.6%	4 7.5%	17 32.1%	21 39.6%	3 5.7%	2 3.8%	5 9.4%	17 32.1%	41 77.4%	10 18.9%	0 0.0%	2 3.8%			
居住地域別	住宅地域	2,085 100.0%	1,831 87.8%	872 41.8%	887 42.5%	628 30.1%	221 10.6%	931 44.7%	1,059 50.8%	88 4.2%	322 15.4%	473 22.7%	982 47.1%	1,639 78.6%	412 19.8%	34 1.6%	8 0.4%		
	商業地域	91 100.0%	87 95.6%	41 45.1%	47 51.6%	33 36.3%	19 20.9%	54 59.3%	50 54.9%	4 4.4%	15 16.5%	22 24.2%	40 44.0%	74 81.3%	23 25.3%	4 4.4%	0 0.0%		
	農漁村地域	549 100.0%	486 88.5%	196 35.7%	235 42.8%	145 26.4%	54 9.8%	250 45.5%	275 50.1%	33 6.0%	98 17.9%	103 18.8%	260 47.4%	403 73.4%	131 23.9%	10 1.8%	0 0.0%		
	山間地域	258 100.0%	230 89.1%	97 37.6%	91 35.3%	78 30.2%	28 10.9%	104 40.3%	101 39.1%	14 5.4%	45 17.4%	47 18.2%	120 46.5%	183 70.9%	64 24.8%	5 1.9%	3 1.2%		
	無回答	16 100.0%	16 100.0%	3 18.8%	8 50.0%	5 31.3%	1 6.3%	2 12.5%	1 6.3%	1 6.3%	1 6.3%	1 6.3%	5 31.3%	13 81.3%	3 18.8%	0 0.0%	0 0.0%		

## (6) 省エネに取り組んでいない理由



省エネに取り組んでいない人にその理由をたずねたところ、「何をすれば良いのか分からないから」(37.3%)との回答が最も多くなっている。次いで、「自分や家族の取組みの効果や影響は限られているから」(33.8%)、「家族に乳幼児、高齢者等がいるなど省エネに取り組める状況にないから」(24.6%)、「日常生活が不便になるから」(22.4%)の順となっている。

性別でみると、「自分や家族の取組みの効果や影響は限られているから」(40.6%)、「日常生活が不便になるから」(25.8%)では男性が女性よりも、「何をすれば良いのか分からないから」(48.0%)、「家族に乳幼児、高齢者等がいるなど省エネに取り組める状況にないから」(28.6%)では女性が男性よりも高くなっている。

年齢別でみると、該当数はかなり少ないが、20～29歳では「何をすれば良いのか分からないから」(48.6%)、50～59歳では「家族に乳幼児、高齢者等がいるなど省エネに取り組める状況にないから」(40.9%)の割合がそれぞれ高くなっているのが特徴的である。

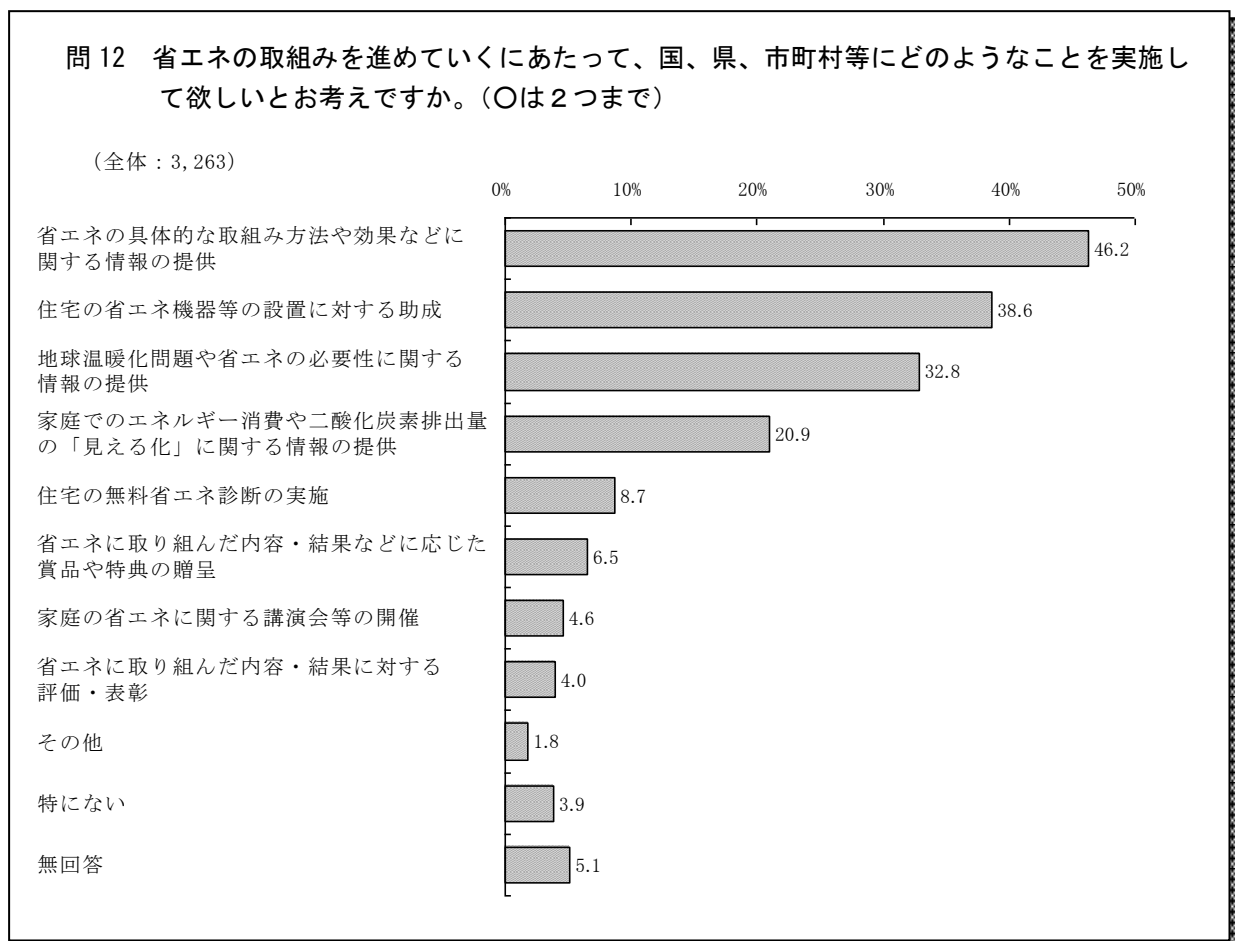
図表 3-11 省エネに取り組んでいない理由（性別、年齢別、性・年齢別）

		上段：件数 下段：構成比									
		調査数	関心がないから	ら必要性を感じていないか	か果自分や影響は限られ組みの効	ら何をすから良いのか分か	ら日常生活が不便になるか	組が族に乳幼児、高齢者等	その他	無回答	
全 体		228	23	17	77	85	51	56	11	3	
		100.0%	10.1%	7.5%	33.8%	37.3%	22.4%	24.6%	4.8%	1.3%	
性別	男 性	128	9	13	52	38	33	28	5	1	
		100.0%	7.0%	10.2%	40.6%	29.7%	25.8%	21.9%	3.9%	0.8%	
	女 性	98	14	4	23	47	16	28	6	2	
		100.0%	14.3%	4.1%	23.5%	48.0%	16.3%	28.6%	6.1%	2.0%	
	無 回 答	2	0	0	2	0	2	0	0	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
年 齢 別	20 ～ 29 歳	35	4	4	14	17	6	6	2	0	
		100.0%	11.4%	11.4%	40.0%	48.6%	17.1%	17.1%	5.7%	0.0%	
	30 ～ 39 歳	26	3	3	9	7	2	9	2	0	
		100.0%	11.5%	11.5%	34.6%	26.9%	7.7%	34.6%	7.7%	0.0%	
	40 ～ 49 歳	47	11	4	14	12	14	10	0	0	
		100.0%	23.4%	8.5%	29.8%	25.5%	29.8%	21.3%	0.0%	0.0%	
	50 ～ 59 歳	44	0	0	14	17	8	18	2	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	31.8%	38.6%	18.2%	40.9%	4.5%	0.0%		
60 ～ 64 歳	18	0	0	9	6	0	3	1	2		
	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	33.3%	0.0%	16.7%	5.6%	11.1%		
65 歳 以 上	58	5	6	17	26	21	10	4	1		
	100.0%	8.6%	10.3%	29.3%	44.8%	36.2%	17.2%	6.9%	1.7%		
	無 回 答	0	0	0	0	0	0	0	0		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
性 別 × 年 齢 別	男 性	20～29歳	19	2	2	10	9	4	2	0	0
			100.0%	10.5%	10.5%	52.6%	47.4%	21.1%	10.5%	0.0%	0.0%
		30～39歳	18	3	3	8	2	2	6	0	0
			100.0%	16.7%	16.7%	44.4%	11.1%	11.1%	33.3%	0.0%	0.0%
		40～49歳	22	2	4	8	4	8	4	0	0
			100.0%	9.1%	18.2%	36.4%	18.2%	36.4%	18.2%	0.0%	0.0%
		50～59歳	27	0	0	10	7	6	9	2	0
		100.0%	0.0%	0.0%	37.0%	25.9%	22.2%	33.3%	7.4%	0.0%	
	60～64歳	10	0	0	5	4	0	1	1	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	40.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	
	65歳以上	32	2	4	11	12	13	6	2	1	
		100.0%	6.3%	12.5%	34.4%	37.5%	40.6%	18.8%	6.3%	3.1%	
		無 回 答	0	0	0	0	0	0	0	0	
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
女 性	20～29歳	16	2	2	4	8	2	4	2	0	
		100.0%	12.5%	12.5%	25.0%	50.0%	12.5%	25.0%	12.5%	0.0%	
	30～39歳	8	0	0	1	5	0	3	2	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	12.5%	62.5%	0.0%	37.5%	25.0%	0.0%	
	40～49歳	23	9	0	4	8	4	6	0	0	
		100.0%	39.1%	0.0%	17.4%	34.8%	17.4%	26.1%	0.0%	0.0%	
	50～59歳	17	0	0	4	10	2	9	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	23.5%	58.8%	11.8%	52.9%	0.0%	0.0%		
60～64歳	8	0	0	4	2	0	2	0	2		
	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%		
65歳以上	26	3	2	6	14	8	4	2	0		
	100.0%	11.5%	7.7%	23.1%	53.8%	30.8%	15.4%	7.7%	0.0%		
	無 回 答	0	0	0	0	0	0	0	0		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

図表 3-12 省エネに取り組んでいない理由（居住地区別、市郡部別、居住地域別）

		上段：件数 下段：構成比								
		調査数	関心がないから	必要性を感じていないから	自分や家族の取組みの効果や影響は限られているから	何をすれば良いのかわからないから	日常生活が不便になるから	家族に乳幼児、高齢者等がいるなど省エネに取り組む状況にならないから	その他	無回答
全 体		228 100.0%	23 10.1%	17 7.5%	77 33.8%	85 37.3%	51 22.4%	56 24.6%	11 4.8%	3 1.3%
居住地区別	村山地域	94 100.0%	14 14.9%	12 12.8%	22 23.4%	44 46.8%	16 17.0%	20 21.3%	4 4.3%	2 2.1%
	最上地域	15 100.0%	3 20.0%	1 6.7%	2 13.3%	7 46.7%	1 6.7%	4 26.7%	1 6.7%	1 6.7%
	置賜地域	50 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	28 56.0%	14 28.0%	8 16.0%	24 48.0%	2 4.0%	0 0.0%
	庄内地域	62 100.0%	4 6.5%	4 6.5%	24 38.7%	16 25.8%	26 41.9%	8 12.9%	4 6.5%	0 0.0%
	無回答(県外・不明含む)	7 100.0%	2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%	4 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
市郡部別	山形市	46 100.0%	6 13.0%	4 8.7%	14 30.4%	22 47.8%	6 13.0%	10 21.7%	2 4.3%	0 0.0%
	その他の市	126 100.0%	9 7.1%	10 7.9%	41 32.5%	47 37.3%	33 26.2%	30 23.8%	7 5.6%	2 1.6%
	町村部	49 100.0%	6 12.2%	3 6.1%	21 42.9%	12 24.5%	12 24.5%	16 32.7%	2 4.1%	1 2.0%
	無回答(県外・不明含む)	7 100.0%	2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%	4 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
居住地域別	住宅地域	151 100.0%	16 10.6%	8 5.3%	49 32.5%	66 43.7%	34 22.5%	38 25.2%	6 4.0%	3 2.0%
	商業地域	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	農漁村地域	55 100.0%	6 10.9%	7 12.7%	24 43.6%	9 16.4%	15 27.3%	11 20.0%	1 1.8%	0 0.0%
	山間地域	18 100.0%	0 0.0%	2 11.1%	4 22.2%	10 55.6%	2 11.1%	4 22.2%	2 11.1%	0 0.0%
	無回答	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	2 66.7%	0 0.0%

## (7) 国、県、市町村等を実施して欲しいこと



国、県、市町村等を実施して欲しいことをたずねたところ、「省エネの具体的な取組み方法や効果などに関する情報の提供」(46.2%)との回答が最も多くなっている。次いで、「住宅の省エネ機器等の設置に対する助成」(38.6%)、「地球温暖化問題や省エネの必要性に関する情報の提供」(32.8%)、「家庭でのエネルギー消費や二酸化炭素排出量の「見える化」に関する情報の提供」(20.9%)の順となっている。

性別でみると、「住宅の省エネ機器等の設置に対する助成」(44.1%)では男性が女性よりも、「省エネの具体的な取組み方法や効果などに関する情報の提供」(49.1%)では女性が男性よりも高くなっている。

年齢別でみると、20～29歳では「省エネに取り組んだ内容・結果などに応じた賞品や特典の贈呈」(15.9%)、30～39歳では「住宅の省エネ機器等の設置に対する助成」(49.2%)、60～64歳では「省エネの具体的な取組み方法や効果などに関する情報の提供」(56.1%)、65歳以上では「地球温暖化問題や省エネの必要性に関する情報の提供」(39.5%)の割合がそれぞれ高く、他の年齢層を上回っている。

図表 3-13 国、県、市町村等に実施して欲しいこと（性別、年齢別、性・年齢別）

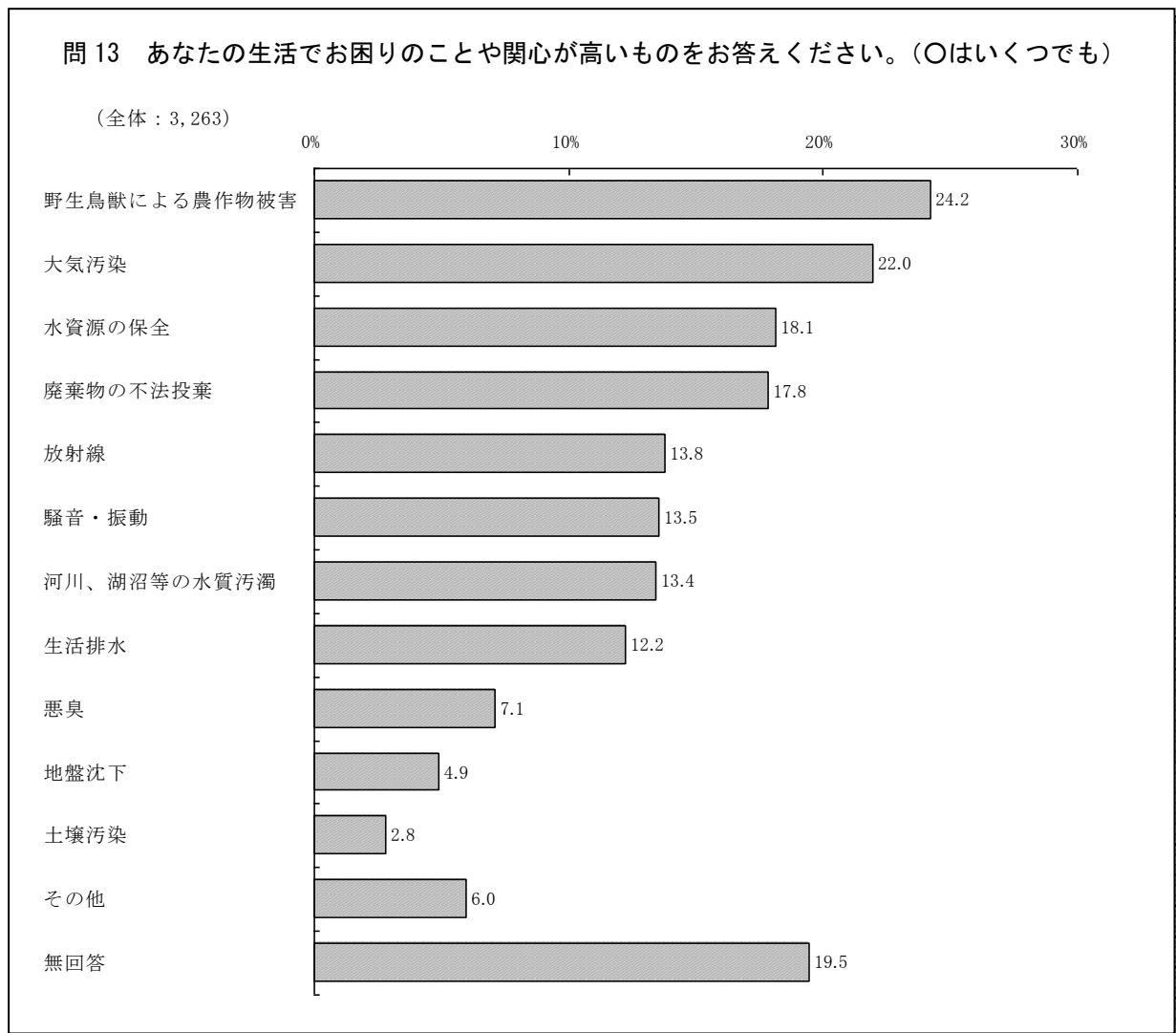
		上段：件数 下段：構成比																		
		調査数	地球温暖化問題に関する情報提供の必要性に関する情報	省エネの具体的な取組に関する情報	方エネの具体的な取組に関する情報	報の見える化に関する情報	一や二酸化炭素排出量の削減に関する情報	家庭での省エネに関する情報	家庭等の省エネに関する情報	演会等の省エネに関する情報	表彰・結果に対する評価	省エネに取り組んだ内容・結果の贈呈	品や特典などに応じた内賞	省エネに取り組んだ内賞	省エネに取り組んだ内賞	住宅の無料省エネ診断の実施	住宅の省エネ機器等の設置に対する助成	その他	特にない	無回答
全体		3,263 100.0%	1,071 32.8%	1,509 46.2%	683 20.9%	149 4.6%	129 4.0%	212 6.5%	283 8.7%	1,261 38.6%	60 1.8%	127 3.9%	166 5.1%							
性別	男性	1,529 100.0%	512 33.5%	660 43.2%	326 21.3%	72 4.7%	67 4.4%	91 6.0%	136 8.9%	674 44.1%	35 2.3%	51 3.3%	57 3.7%							
	女性	1,717 100.0%	553 32.2%	843 49.1%	352 20.5%	77 4.5%	61 3.6%	119 6.9%	147 8.6%	579 33.7%	25 1.5%	76 4.4%	108 6.3%							
	無回答	17 100.0%	6 35.3%	6 35.3%	5 29.4%	0 0.0%	1 5.9%	2 11.8%	0 0.0%	8 47.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.9%							
年齢別	20～29歳	232 100.0%	54 23.3%	78 33.6%	55 23.7%	13 5.6%	26 11.2%	37 15.9%	23 9.9%	76 32.8%	4 1.7%	13 5.6%	12 5.2%							
	30～39歳	331 100.0%	81 24.5%	151 45.6%	69 20.8%	12 3.6%	21 6.3%	36 10.9%	18 5.4%	163 49.2%	7 2.1%	14 4.2%	3 0.9%							
	40～49歳	452 100.0%	109 24.1%	200 44.2%	69 15.3%	12 2.7%	16 3.5%	56 12.4%	55 12.2%	214 47.3%	10 2.2%	13 2.9%	14 3.1%							
	50～59歳	677 100.0%	229 33.8%	299 44.2%	132 19.5%	23 3.4%	13 1.9%	45 6.6%	64 9.5%	298 44.0%	22 3.2%	23 3.4%	24 3.5%							
	60～64歳	467 100.0%	163 34.9%	262 56.1%	98 21.0%	31 6.6%	12 2.6%	11 2.4%	38 8.1%	173 37.0%	4 0.9%	13 2.8%	24 5.1%							
	65歳以上	1,101 100.0%	435 39.5%	518 47.0%	258 23.4%	58 5.3%	40 3.6%	27 2.5%	85 7.7%	335 30.4%	13 1.2%	51 4.6%	89 8.1%							
	無回答	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%							
性別×年齢別	男性	20～29歳	119 100.0%	30 25.2%	30 25.2%	28 23.5%	11 9.2%	14 11.8%	16 13.4%	10 8.4%	50 42.0%	2 1.7%	3 2.5%	5 4.2%						
		30～39歳	150 100.0%	31 20.7%	58 38.7%	34 22.7%	8 5.3%	10 6.7%	18 12.0%	5 3.3%	68 45.3%	3 2.0%	12 8.0%	3 2.0%						
		40～49歳	187 100.0%	42 22.5%	83 44.4%	31 16.6%	4 2.1%	4 2.1%	16 8.6%	22 11.8%	89 47.6%	8 4.3%	6 3.2%	6 3.2%						
		50～59歳	318 100.0%	87 27.4%	122 38.4%	74 23.3%	10 3.1%	8 2.5%	23 7.2%	41 12.9%	169 53.1%	8 2.5%	10 3.1%	6 1.9%						
		60～64歳	228 100.0%	86 37.7%	128 56.1%	36 15.8%	15 6.6%	10 4.4%	7 3.1%	16 7.0%	105 46.1%	2 0.9%	3 1.3%	8 3.5%						
		65歳以上	527 100.0%	236 44.8%	239 45.4%	123 23.3%	24 4.6%	21 4.0%	11 2.1%	42 8.0%	193 36.6%	12 2.3%	17 3.2%	29 5.5%						
		無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%						
	女性	20～29歳	113 100.0%	24 21.2%	48 42.5%	27 23.9%	2 1.8%	12 10.6%	21 18.6%	13 11.5%	26 23.0%	2 1.8%	10 8.8%	7 6.2%						
		30～39歳	179 100.0%	48 26.8%	93 52.0%	35 19.6%	4 2.2%	11 6.1%	18 10.1%	13 7.3%	93 52.0%	4 2.2%	2 1.1%	0 0.0%						
		40～49歳	262 100.0%	67 25.6%	117 44.7%	38 14.5%	8 3.1%	12 4.6%	38 14.5%	33 12.6%	123 46.9%	2 0.8%	7 2.7%	7 2.7%						
		50～59歳	357 100.0%	140 39.2%	177 49.6%	58 16.2%	13 3.6%	5 1.4%	22 6.2%	23 6.4%	129 36.1%	14 3.9%	13 3.6%	18 5.0%						
		60～64歳	237 100.0%	75 31.6%	132 55.7%	62 26.2%	16 6.8%	2 0.8%	4 1.7%	22 9.3%	68 28.7%	2 0.8%	10 4.2%	16 6.8%						
		65歳以上	569 100.0%	199 35.0%	276 48.5%	132 23.2%	34 6.0%	19 3.3%	16 2.8%	43 7.6%	140 24.6%	1 0.2%	34 6.0%	60 10.5%						
		無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%						

図表 3-14 国、県、市町村等に実施して欲しいこと（居住地区別、市郡部別、居住地域別）

		上段：件数 下段：構成比													
		調査数	地球温暖化に関する省エネの必要性に関する情報	省エネの具体的な取組	「見える化」に関する情報	家庭でのエネルギー消費	家庭等の省エネに関する講演	省エネに取り組んだ内・省エネの結果に対する評価	省エネに取り組んだ内賞品や特典の贈呈	省エネに取り組んだ内賞品や特典の贈呈	住宅の無料省エネ診断の実施	住宅の省エネ機器等の設置に対する助成	その他	特にない	無回答
全 体		3,263 100.0%	1,071 32.8%	1,509 46.2%	683 20.9%	149 4.6%	129 4.0%	212 6.5%	283 8.7%	1,261 38.6%	60 1.8%	127 3.9%	166 5.1%		
居 住 地 区 別	村 山 地 域	1,556 100.0%	510 32.8%	746 47.9%	334 21.5%	84 5.4%	64 4.1%	96 6.2%	136 8.7%	594 38.2%	34 2.2%	58 3.7%	56 3.6%		
	最 上 地 域	218 100.0%	69 31.7%	98 45.0%	49 22.5%	11 5.0%	3 1.4%	7 3.2%	18 8.3%	86 39.4%	4 1.8%	8 3.7%	13 6.0%		
	置 賜 地 域	632 100.0%	210 33.2%	276 43.7%	116 18.4%	16 2.5%	20 3.2%	50 7.9%	60 9.5%	270 42.7%	8 1.3%	32 5.1%	46 7.3%		
	庄 内 地 域	792 100.0%	264 33.3%	366 46.2%	172 21.7%	34 4.3%	38 4.8%	58 7.3%	64 8.1%	294 37.1%	14 1.8%	26 3.3%	38 4.8%		
	無回答(県外・不明含む)	65 100.0%	18 27.7%	23 35.4%	12 18.5%	4 6.2%	4 6.2%	1 1.5%	5 7.7%	17 26.2%	0 0.0%	3 4.6%	13 20.0%		
市 郡 部 別	山 形 市	692 100.0%	236 34.1%	328 47.4%	162 23.4%	28 4.0%	32 4.6%	44 6.4%	48 6.9%	250 36.1%	26 3.8%	38 5.5%	16 2.3%		
	そ の 他 の 市	1,799 100.0%	575 32.0%	830 46.1%	359 20.0%	84 4.7%	68 3.8%	115 6.4%	174 9.7%	719 40.0%	29 1.6%	61 3.4%	94 5.2%		
	町 村 部	707 100.0%	242 34.2%	328 46.4%	150 21.2%	33 4.7%	25 3.5%	52 7.4%	56 7.9%	275 38.9%	5 0.7%	25 3.5%	43 6.1%		
	無回答(県外・不明含む)	65 100.0%	18 27.7%	23 35.4%	12 18.5%	4 6.2%	4 6.2%	1 1.5%	5 7.7%	17 26.2%	0 0.0%	3 4.6%	13 20.0%		
居 住 地 域 別	住 宅 地 域	2,261 100.0%	722 31.9%	1,055 46.7%	473 20.9%	91 4.0%	100 4.4%	165 7.3%	195 8.6%	888 39.3%	45 2.0%	92 4.1%	115 5.1%		
	商 業 地 域	93 100.0%	26 28.0%	52 55.9%	16 17.2%	3 3.2%	4 4.3%	8 8.6%	8 8.6%	35 37.6%	4 4.3%	4 4.3%	2 2.2%		
	農 漁 村 地 域	610 100.0%	210 34.4%	292 47.9%	114 18.7%	29 4.8%	12 2.0%	26 4.3%	54 8.9%	232 38.0%	11 1.8%	21 3.4%	30 4.9%		
	山 間 地 域	280 100.0%	109 38.9%	107 38.2%	72 25.7%	25 8.9%	12 4.3%	12 4.3%	24 8.6%	98 35.0%	0 0.0%	7 2.5%	18 6.4%		
	無 回 答	19 100.0%	4 21.1%	3 15.8%	8 42.1%	1 5.3%	1 5.3%	1 5.3%	2 10.5%	8 42.1%	0 0.0%	3 15.8%	1 5.3%		

### 3-2. 「生活環境」について

#### (1) 困っていること、関心が高いもの



生活している中で困っていること、関心が高いものをたずねたところ、「野生鳥獣による農作物被害」(24.2%)との回答が最も多くなっている。次いで、「大気汚染」(22.0%)、「水資源の保全」(18.1%)、「廃棄物の不法投棄」(17.8%)の順となっている。

性別で見ると、「野生鳥獣による農作物被害」(27.4%)では男性が女性よりも、「大気汚染」(24.1%)では女性が男性よりも高くなっている。

年齢別で見ると、20～29歳では「騒音・振動」(20.3%)、30～39歳では「放射線」(19.6%)の割合がそれぞれ高く、他の年齢層を上回っている。



図表3-15 困っていること、関心が高いもの（性別、年齢別、性・年齢別）

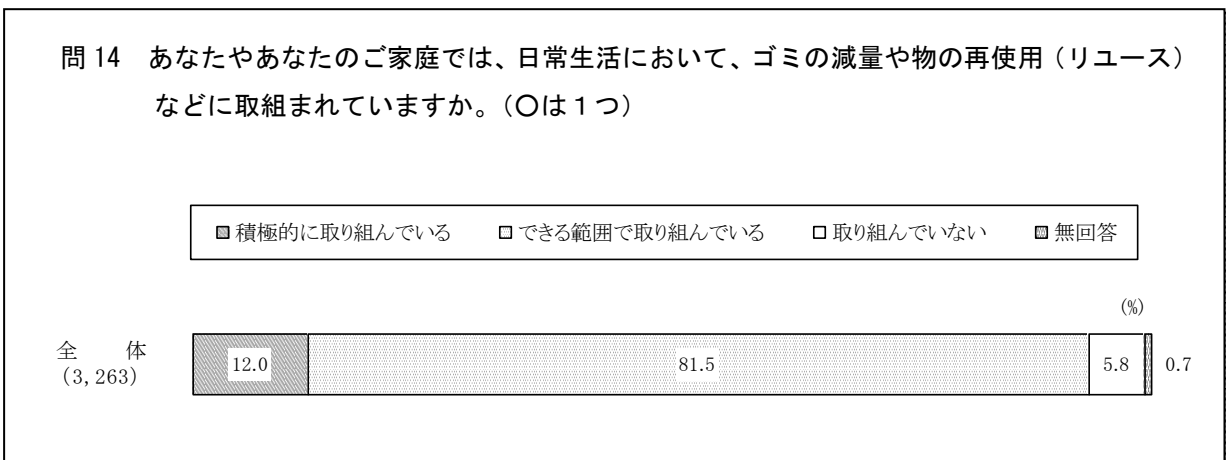
		上段：件数 下段：構成比														
		調査数	野生鳥獣による被害	大気汚染	騒音・振動	悪臭	汚濁川、湖沼等の水質	水資源の保全	生活排水	土壌汚染	地盤沈下	放射線	廃棄物の不法投棄	その他	無回答	
全体		3,263	790	717	442	231	437	591	399	92	160	450	581	195	635	
		100.0%	24.2%	22.0%	13.5%	7.1%	13.4%	18.1%	12.2%	2.8%	4.9%	13.8%	17.8%	6.0%	19.5%	
性別	男性	1,529	419	297	215	98	242	291	175	19	62	170	298	106	251	
		100.0%	27.4%	19.4%	14.1%	6.4%	15.8%	19.0%	11.4%	1.2%	4.1%	11.1%	19.5%	6.9%	16.4%	
	女性	1,717	368	414	224	132	192	295	223	73	96	279	279	88	382	
	100.0%	21.4%	24.1%	13.0%	7.7%	11.2%	17.2%	13.0%	4.3%	5.6%	16.2%	16.2%	5.1%	22.2%		
	無回答	17	3	6	3	1	3	5	1	0	2	1	4	1	2	
		100.0%	17.6%	35.3%	17.6%	5.9%	17.6%	29.4%	5.9%	0.0%	11.8%	5.9%	23.5%	5.9%	11.8%	
年齢別	20～29歳	232	64	59	47	18	37	18	23	8	22	30	22	12	29	
		100.0%	27.6%	25.4%	20.3%	7.8%	15.9%	7.8%	9.9%	3.4%	9.5%	12.9%	9.5%	5.2%	12.5%	
	30～39歳	331	65	86	61	21	36	49	32	16	17	65	54	21	51	
		100.0%	19.6%	26.0%	18.4%	6.3%	10.9%	14.8%	9.7%	4.8%	5.1%	19.6%	16.3%	6.3%	15.4%	
	40～49歳	452	93	80	75	33	61	72	49	13	22	70	69	23	102	
		100.0%	20.6%	17.7%	16.6%	7.3%	13.5%	15.9%	10.8%	2.9%	4.9%	15.5%	15.3%	5.1%	22.6%	
	50～59歳	677	158	116	86	48	93	140	94	17	27	90	125	46	143	
		100.0%	23.3%	17.1%	12.7%	7.1%	13.7%	20.7%	13.9%	2.5%	4.0%	13.3%	18.5%	6.8%	21.1%	
60～64歳	467	110	91	50	35	73	96	75	13	23	53	86	33	98		
	100.0%	23.6%	19.5%	10.7%	7.5%	15.6%	20.6%	16.1%	2.8%	4.9%	11.3%	18.4%	7.1%	21.0%		
65歳以上	1,101	299	284	122	75	137	216	126	25	49	141	224	60	212		
	100.0%	27.2%	25.8%	11.1%	6.8%	12.4%	19.6%	11.4%	2.3%	4.5%	12.8%	20.3%	5.4%	19.3%		
	無回答	3	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	
		100.0%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	
性別×年齢別	男性	20～29歳	119	31	24	22	8	16	13	5	0	7	12	13	10	12
			100.0%	26.1%	20.2%	18.5%	6.7%	13.4%	10.9%	4.2%	0.0%	5.9%	10.1%	10.9%	8.4%	10.1%
		30～39歳	150	35	28	32	4	11	22	6	3	4	20	19	17	28
			100.0%	23.3%	18.7%	21.3%	2.7%	7.3%	14.7%	4.0%	2.0%	2.7%	13.3%	12.7%	11.3%	18.7%
		40～49歳	187	39	25	27	17	34	32	23	0	10	23	34	13	40
			100.0%	20.9%	13.4%	14.4%	9.1%	18.2%	17.1%	12.3%	0.0%	5.3%	12.3%	18.2%	7.0%	21.4%
		50～59歳	318	86	49	41	26	49	59	39	3	17	35	71	25	55
			100.0%	27.0%	15.4%	12.9%	8.2%	15.4%	18.6%	12.3%	0.9%	5.3%	11.0%	22.3%	7.9%	17.3%
	60～64歳	228	64	40	24	12	43	57	34	2	4	18	44	14	34	
		100.0%	28.1%	17.5%	10.5%	5.3%	18.9%	25.0%	14.9%	0.9%	1.8%	7.9%	19.3%	6.1%	14.9%	
	65歳以上	527	164	131	69	31	89	108	68	11	20	62	117	27	82	
		100.0%	31.1%	24.9%	13.1%	5.9%	16.9%	20.5%	12.9%	2.1%	3.8%	11.8%	22.2%	5.1%	15.6%	
		無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
女性	20～29歳	113	33	35	25	10	21	5	18	8	15	18	9	2	17	
		100.0%	29.2%	31.0%	22.1%	8.8%	18.6%	4.4%	15.9%	7.1%	13.3%	15.9%	8.0%	1.8%	15.0%	
	30～39歳	179	30	56	29	17	25	27	26	13	13	45	35	4	23	
		100.0%	16.8%	31.3%	16.2%	9.5%	14.0%	15.1%	14.5%	7.3%	7.3%	25.1%	19.6%	2.2%	12.8%	
	40～49歳	262	54	55	46	16	27	40	26	13	12	47	34	10	62	
		100.0%	20.6%	21.0%	17.6%	6.1%	10.3%	15.3%	9.9%	5.0%	4.6%	17.9%	13.0%	3.8%	23.7%	
	50～59歳	357	72	67	45	22	42	81	55	14	8	55	54	21	88	
		100.0%	20.2%	18.8%	12.6%	6.2%	11.8%	22.7%	15.4%	3.9%	2.2%	15.4%	15.1%	5.9%	24.6%	
60～64歳	237	44	49	26	23	30	37	41	11	19	35	40	19	64		
	100.0%	18.6%	20.7%	11.0%	9.7%	12.7%	15.6%	17.3%	4.6%	8.0%	14.8%	16.9%	8.0%	27.0%		
65歳以上	569	135	152	53	44	47	105	57	14	29	79	107	32	128		
	100.0%	23.7%	26.7%	9.3%	7.7%	8.3%	18.5%	10.0%	2.5%	5.1%	13.9%	18.8%	5.6%	22.5%		
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

図表 3-16 困っていること、関心が高いもの（居住地区別、市郡部別、居住地域別）

		上段：件数 下段：構成比													
		調査数	野生鳥獣による農作物被害	大気汚染	騒音・振動	悪臭	汚濁川、湖沼等の水質	水資源の保全	生活排水	土壌汚染	地盤沈下	放射線	廃棄物の不法投棄	その他	無回答
全 体		3,263	790	717	442	231	437	591	399	92	160	450	581	195	635
		100.0%	24.2%	22.0%	13.5%	7.1%	13.4%	18.1%	12.2%	2.8%	4.9%	13.8%	17.8%	6.0%	19.5%
居住地区別	村山地域	1,556	390	382	258	80	220	300	190	44	64	236	256	102	262
		100.0%	25.1%	24.6%	16.6%	5.1%	14.1%	19.3%	12.2%	2.8%	4.1%	15.2%	16.5%	6.6%	16.8%
	最上地域	218	57	37	19	9	43	48	36	7	8	24	40	12	40
		100.0%	26.1%	17.0%	8.7%	4.1%	19.7%	22.0%	16.5%	3.2%	3.7%	11.0%	18.3%	5.5%	18.3%
	置賜地域	632	186	114	72	102	74	104	72	18	34	106	138	38	100
	100.0%	29.4%	18.0%	11.4%	16.1%	11.7%	16.5%	11.4%	2.8%	5.4%	16.8%	21.8%	6.0%	15.8%	
	庄内地域	792	142	170	84	32	94	132	88	20	52	76	134	42	218
		100.0%	17.9%	21.5%	10.6%	4.0%	11.9%	16.7%	11.1%	2.5%	6.6%	9.6%	16.9%	5.3%	27.5%
	無回答(県外・不明含む)	65	15	14	9	8	6	7	13	3	2	8	13	1	15
		100.0%	23.1%	21.5%	13.8%	12.3%	9.2%	10.8%	20.0%	4.6%	3.1%	12.3%	20.0%	1.5%	23.1%
市郡部別	山形市	692	120	188	146	36	80	116	86	26	26	124	114	60	122
		100.0%	17.3%	27.2%	21.1%	5.2%	11.6%	16.8%	12.4%	3.8%	3.8%	17.9%	16.5%	8.7%	17.6%
	その他の市	1,799	436	383	207	134	250	308	219	37	94	229	321	97	353
		100.0%	24.2%	21.3%	11.5%	7.4%	13.9%	17.1%	12.2%	2.1%	5.2%	12.7%	17.8%	5.4%	19.6%
	町村部	707	219	132	80	53	101	160	81	26	38	89	133	37	145
		100.0%	31.0%	18.7%	11.3%	7.5%	14.3%	22.6%	11.5%	3.7%	5.4%	12.6%	18.8%	5.2%	20.5%
	無回答(県外・不明含む)	65	15	14	9	8	6	7	13	3	2	8	13	1	15
		100.0%	23.1%	21.5%	13.8%	12.3%	9.2%	10.8%	20.0%	4.6%	3.1%	12.3%	20.0%	1.5%	23.1%
居住地域別	住宅地域	2,261	363	543	357	170	301	392	277	60	133	347	391	142	466
		100.0%	16.1%	24.0%	15.8%	7.5%	13.3%	17.3%	12.3%	2.7%	5.9%	15.3%	17.3%	6.3%	20.6%
	商業地域	93	16	21	14	9	17	20	12	4	10	22	13	5	29
		100.0%	17.2%	22.6%	15.1%	9.7%	18.3%	21.5%	12.9%	4.3%	10.8%	23.7%	14.0%	5.4%	31.2%
	農漁村地域	610	279	110	48	31	86	116	72	20	12	51	118	29	91
	100.0%	45.7%	18.0%	7.9%	5.1%	14.1%	19.0%	11.8%	3.3%	2.0%	8.4%	19.3%	4.8%	14.9%	
	山間地域	280	131	37	20	19	31	57	35	8	5	27	56	19	45
		100.0%	46.8%	13.2%	7.1%	6.8%	11.1%	20.4%	12.5%	2.9%	1.8%	9.6%	20.0%	6.8%	16.1%
	無回答	19	1	6	3	2	2	6	3	0	0	3	3	0	4
		100.0%	5.3%	31.6%	15.8%	10.5%	10.5%	31.6%	15.8%	0.0%	0.0%	15.8%	15.8%	0.0%	21.1%

#### 4. 「循環型社会形成の推進」について

##### (1) ゴミの減量やリユースなどの取組み状況



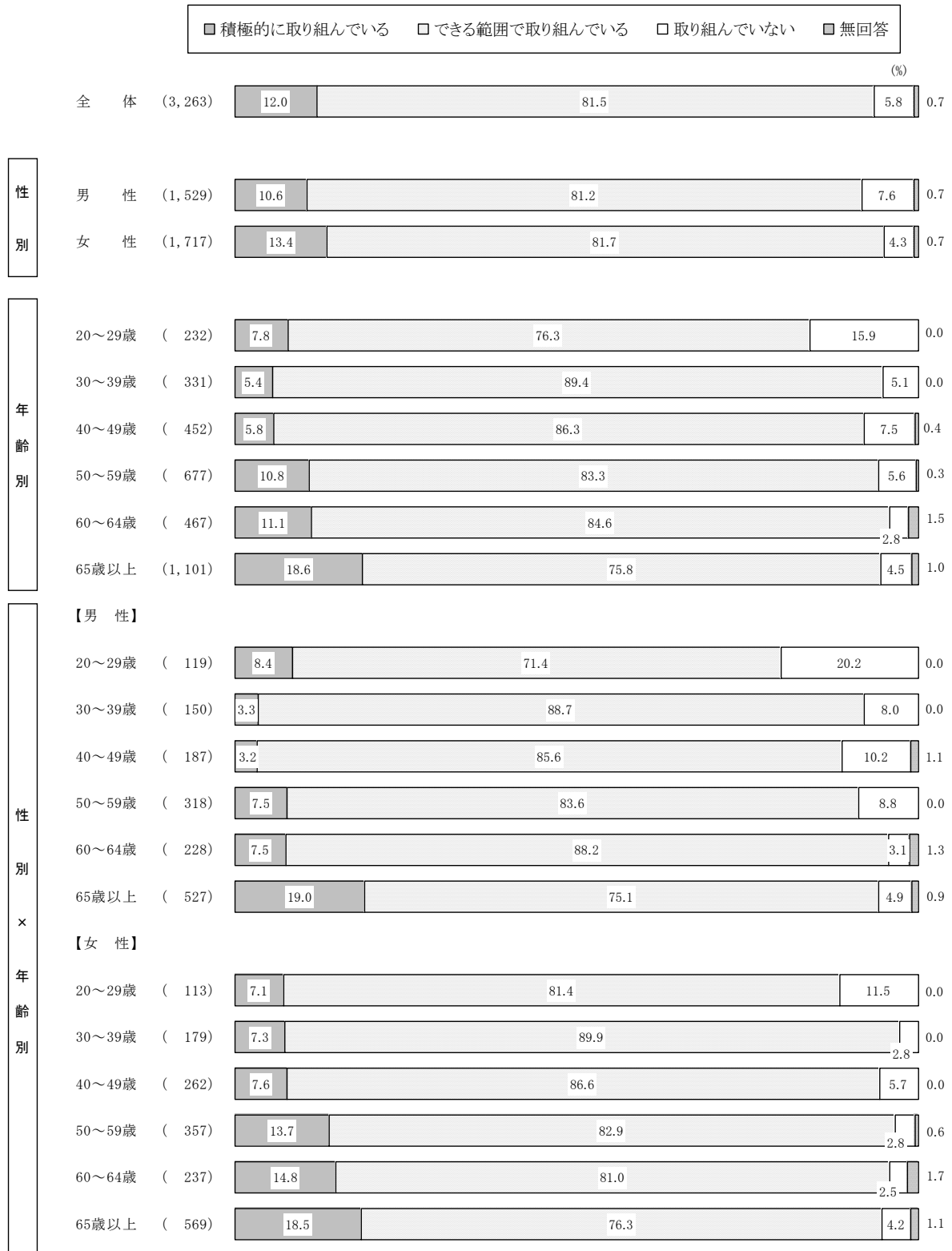
日常生活においてのゴミの減量やリユースなどへの取組み状況をたずねたところ、「できる範囲で取り組んでいる」（81.5%）が最も多く、「積極的に取り組んでいる」（12.0%）を合わせると、取り組んでいる人の割合は9割を超える。

性別では、特に大きな差はみられない。

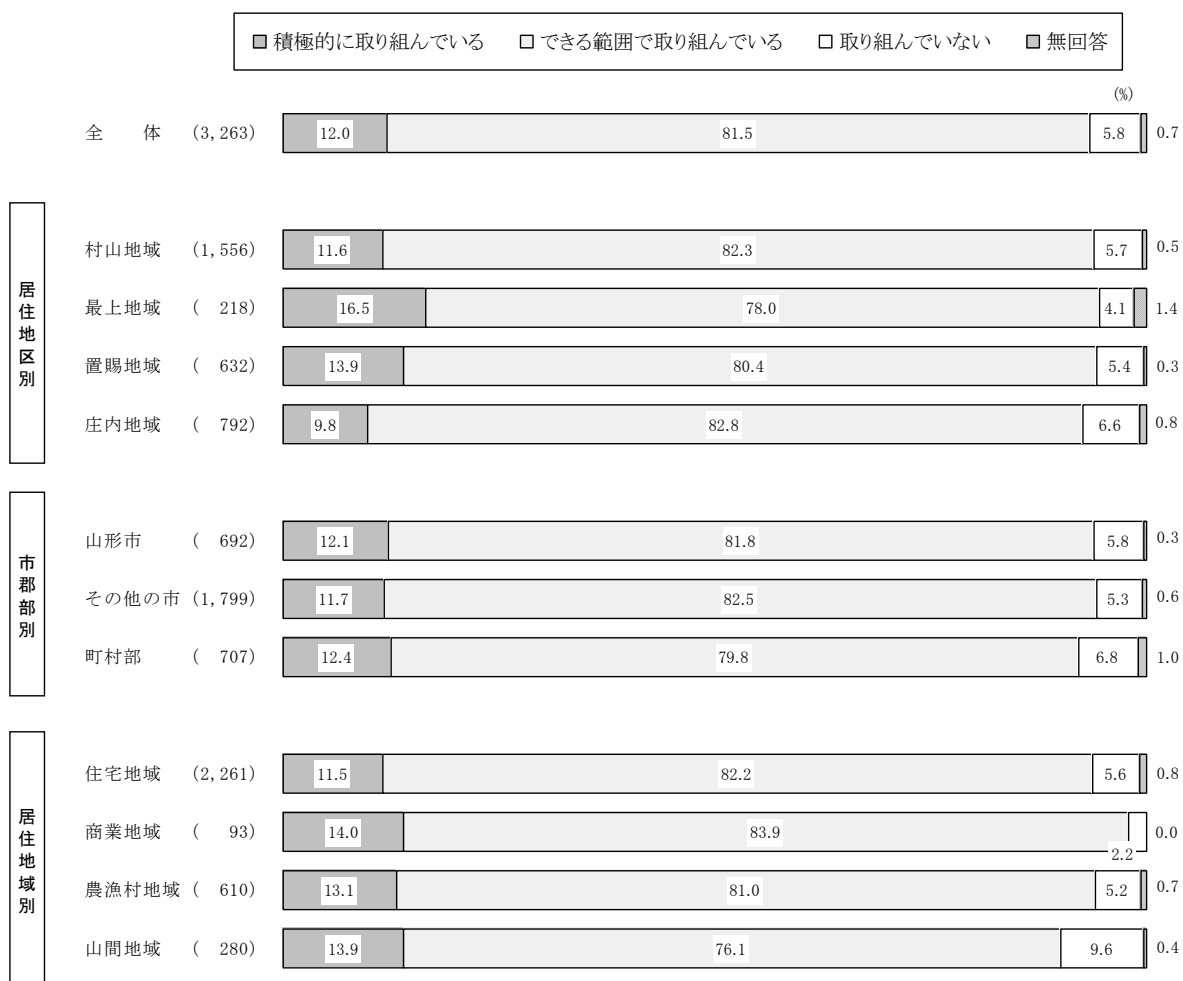
年齢別でみると、20～29歳で「取り組んでいない」（15.9%）の割合が高いのが目立つ。一方で、65歳以上では「積極的に取り組んでいる」（18.6%）、30～39歳では「できる範囲で取り組んでいる」（89.4%）の割合が、他の年齢層よりも高くなっている。

20～29歳を除き、年齢が高くなるにつれて「積極的に取り組んでいる」割合が高くなる傾向がある。

図表 4-1 ゴミの減量やリユースなどの取組み状況（性別、年齢別、性・年齢別）



図表 4-2 ゴミの減量やリユースなどの取組み状況（居住地区別、市郡部別、居住地域別）



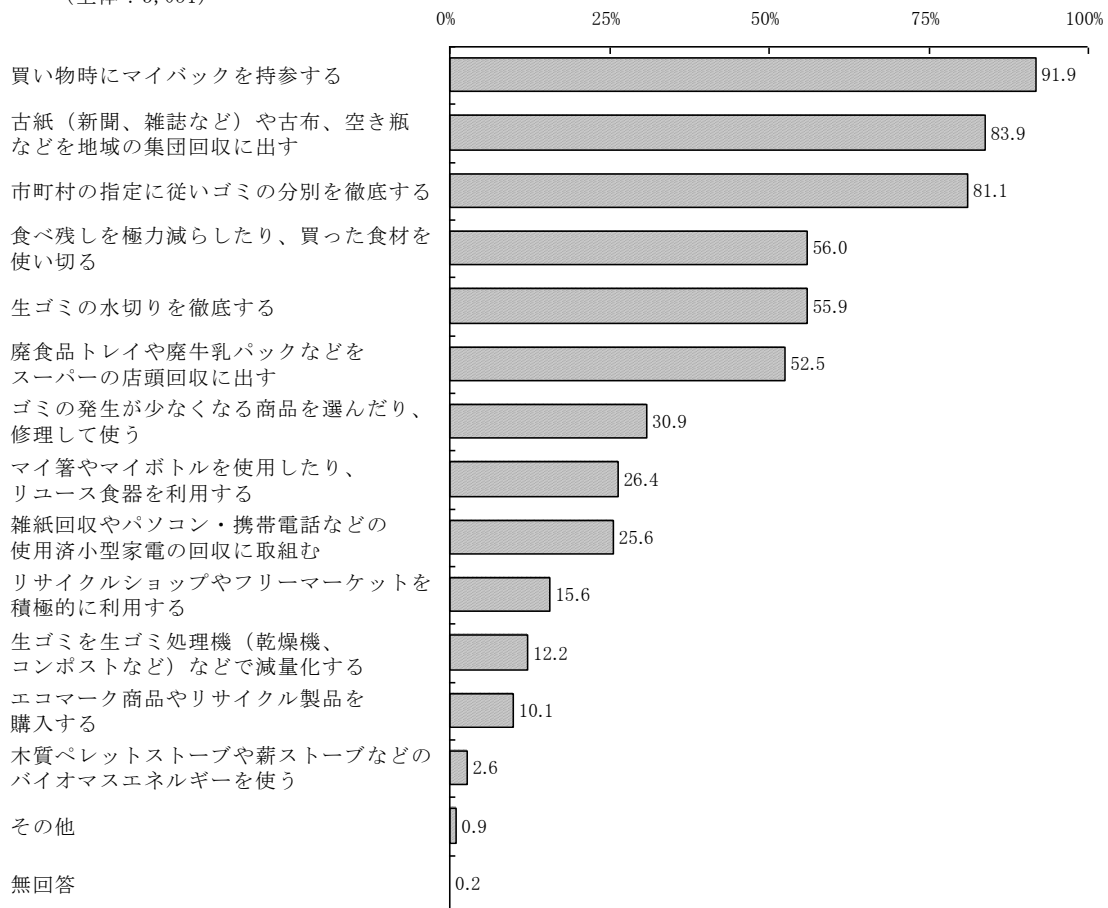
## (2) ゴミの減量やリユースなどの取組み内容

問 15-1 問 14 で「1. 積極的に取り組んでいる」「2. できる範囲で取り組んでいる」と答えた方にお聞きします。

ゴミの減量や物の再使用（リユース）などの取組み内容をお答えください。

(○はいくつでも)

(全体：3,051)



ゴミの減量やリユースに取り組んでいる人に、取組み内容をたずねたところ、「買い物時にマイバックを持参する」(91.9%) との回答が最も多くなっている。次いで、「古紙（新聞、雑誌など）や古布、空き瓶などを地域の集団回収に出す」(83.9%)、「市町村の指定に従いゴミの分別を徹底する」(81.1%) の順となっている。

性別で見ると、ほとんどの項目で女性が男性よりも高くなっており、中でも「生ゴミの水切りを徹底する」(62.4%)、「食べ残しを極力減らしたり、買った食材を使い切る」(62.1%)、「廃食品トレイや廃牛乳パックなどをスーパーの店頭回収に出す」(57.7%)、「ゴミの発生が少なくなる商品（簡易包装の商品、詰替商品、量り売り商品、長く使える商品など）を選んだり、修理して使う」(36.0%)、「マイ箸やマイボトルを使用したり、リユース食器を利用する」(32.0%) では男性を10ポイント以上上回っている。

年齢別でみると、「マイ箸やマイボトルを使用したり、リユース食器を利用する」は30～39歳(36.6%)、40～49歳(40.6%)、「生ゴミの水切りを徹底する」では65歳以上(68.3%)で、他の年齢層よりも高くなっている。また、「市町村の指定に従いゴミの分別を徹底する」は20～29歳(59.5%)で、他の年齢層よりも低くなっている。

図表 4-3 ゴミの減量やリユースなどの取組み内容（性別、年齢別、性・年齢別）

		調査数	生ゴミの水切りを徹底する	買った物時にマイバックを持参する	食べ残した食材を使い切り、買った食材を減らした	リサイクルショップやフリマに利用する	ゴミの発生が少なくなる商品(例えば、修理して再利用する商品)を利用する	マイ箸やマイボトルを器使用したり、リユース食器を使用する	古紙(新聞)や古布(空き瓶など)を地域の集団回収に出す	古紙(新聞)や古布(空き瓶など)を地域の集団回収に出す	携帯電話やパソコン、小型携帯機器の回収に取組む	雑紙回収やパソコン、小型携帯機器の回収に取組む	市町村の指定に従いゴミの分別を徹底する	店頭回収に出す(ペットボトル、パールの)	廃食品トレイや廃牛乳の	生ゴミを生ゴミ処理機(乾燥機、コンポストなど)などで減量化する	エコマーク商品やリサイクル製品を購入する	木質ペレットストーブやマスキング剤などのバイオ	その他	無回答
全体		3,051 100.0%	1,707 55.9%	2,804 91.9%	1,710 56.0%	476 15.6%	943 30.9%	804 26.4%	2,560 83.9%	780 25.6%	2,473 81.1%	1,601 52.5%	373 12.2%	307 10.1%	80 2.6%	27 0.9%	5 0.2%			
性別	男性	1,403 100.0%	683 48.7%	1,219 86.9%	687 49.0%	183 13.0%	349 24.9%	278 19.8%	1,155 82.3%	329 23.4%	1,124 80.1%	647 46.1%	184 13.1%	121 8.6%	40 2.9%	13 0.9%	4 0.3%			
	女性	1,632 100.0%	1,018 62.4%	1,569 96.1%	1,013 62.1%	292 17.9%	588 36.0%	523 32.0%	1,389 85.1%	450 27.6%	1,337 81.9%	942 57.7%	189 11.6%	113 11.2%	40 2.5%	14 0.9%	1 0.1%			
	無回答	16 100.0%	6 37.5%	16 100.0%	10 62.5%	1 6.3%	6 37.5%	3 18.8%	16 100.0%	1 6.3%	12 75.0%	12 75.0%	0 0.0%	3 18.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%			
年齢別	20～29歳	195 100.0%	50 25.6%	176 90.3%	93 47.7%	44 22.6%	45 23.1%	66 33.8%	127 65.1%	24 12.3%	116 59.5%	81 41.5%	9 4.6%	12 6.2%	1 0.5%	2 1.0%	0 0.0%			
	30～39歳	314 100.0%	148 47.1%	295 93.9%	179 57.0%	56 17.8%	92 29.3%	115 36.6%	210 66.9%	45 14.3%	233 74.2%	141 44.9%	16 5.1%	20 6.4%	10 3.2%	3 1.0%	0 0.0%			
	40～49歳	416 100.0%	184 44.2%	379 91.1%	233 56.0%	89 21.4%	149 35.8%	169 40.6%	324 77.9%	115 27.6%	315 75.7%	224 53.8%	37 8.9%	41 9.9%	7 1.7%	2 0.5%	2 0.5%			
	50～59歳	637 100.0%	347 54.5%	602 94.5%	357 56.0%	109 17.1%	218 34.2%	184 28.9%	565 88.7%	202 31.7%	543 85.2%	376 59.0%	70 11.0%	74 11.6%	14 2.2%	2 0.3%	0 0.0%			
	60～64歳	447 100.0%	267 59.7%	411 91.9%	257 57.5%	59 13.2%	139 31.1%	83 18.6%	407 91.1%	96 21.5%	398 89.0%	229 51.2%	69 15.4%	36 8.1%	14 3.1%	6 1.3%	0 0.0%			
	65歳以上	1,040 100.0%	710 68.3%	939 90.3%	590 56.7%	119 11.4%	299 28.8%	187 18.0%	925 88.9%	298 28.7%	866 83.3%	550 52.9%	172 16.5%	124 11.9%	34 3.3%	12 1.2%	3 0.3%			
	無回答	2 100.0%	1 50.0%	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%			
	性別×年齢別	男性																		
20～29歳		95 100.0%	18 18.9%	78 82.1%	44 46.3%	14 14.7%	21 22.1%	34 35.8%	60 63.2%	12 12.6%	54 56.8%	37 38.9%	3 3.2%	8 8.4%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%			
30～39歳		138 100.0%	63 45.7%	127 92.0%	78 56.5%	23 16.7%	30 21.7%	42 30.4%	88 63.8%	16 11.6%	107 77.5%	45 32.6%	6 4.3%	5 3.6%	2 1.4%	3 2.2%	0 0.0%			
40～49歳		166 100.0%	49 29.5%	137 82.5%	75 45.2%	26 15.7%	39 23.5%	41 24.7%	123 74.1%	40 24.1%	118 71.1%	74 44.6%	13 7.8%	12 7.2%	2 1.2%	0 0.0%	2 1.2%			
50～59歳		290 100.0%	136 46.9%	261 90.0%	135 46.6%	41 14.1%	81 27.9%	67 23.1%	253 87.2%	86 29.7%	250 86.2%	154 53.1%	38 13.1%	31 10.7%	4 1.4%	0 0.0%	0 0.0%			
60～64歳		218 100.0%	108 49.5%	189 86.7%	114 52.3%	19 8.7%	61 28.0%	31 14.2%	193 88.5%	37 17.0%	188 86.2%	103 47.2%	37 17.0%	4 1.8%	8 3.7%	2 0.9%	0 0.0%			
65歳以上		496 100.0%	309 62.3%	427 86.1%	241 48.6%	60 12.1%	117 23.6%	63 12.7%	438 88.3%	138 27.8%	407 82.1%	234 47.2%	87 17.5%	61 12.3%	23 4.6%	8 1.6%	2 0.4%			
無回答		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%			
女性																				
20～29歳	100 100.0%	32 32.0%	98 98.0%	49 49.0%	30 30.0%	24 24.0%	32 32.0%	67 67.0%	12 12.0%	62 62.0%	44 44.0%	6 6.0%	4 4.0%	0 0.0%	2 2.0%	0 0.0%				
30～39歳	174 100.0%	85 48.9%	166 95.4%	101 58.0%	33 19.0%	62 35.6%	73 42.0%	120 69.0%	29 16.7%	126 72.4%	94 54.0%	10 5.7%	15 8.6%	8 4.6%	0 0.0%	0 0.0%				
40～49歳	247 100.0%	133 53.8%	239 96.8%	156 63.2%	62 25.1%	108 43.7%	126 51.0%	198 80.2%	75 30.4%	194 78.5%	147 59.5%	24 9.7%	29 11.7%	5 2.0%	2 0.8%	0 0.0%				
50～59歳	345 100.0%	211 61.2%	339 98.3%	222 64.3%	68 19.7%	137 39.7%	117 33.9%	310 89.9%	116 33.6%	293 84.9%	222 64.3%	32 9.3%	41 11.9%	10 2.9%	2 0.6%	0 0.0%				
60～64歳	227 100.0%	157 69.2%	220 96.9%	141 62.1%	40 17.6%	78 34.4%	52 22.9%	212 93.4%	59 26.0%	208 91.6%	124 54.6%	32 14.1%	32 14.1%	6 2.6%	4 1.8%	0 0.0%				
65歳以上	539 100.0%	400 74.2%	507 94.1%	344 63.8%	59 10.9%	179 33.2%	123 22.8%	482 89.4%	159 29.5%	454 84.2%	311 57.7%	85 15.8%	62 11.5%	11 2.0%	4 0.7%	1 0.2%				
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%				

図表 4-4 ゴミの減量やリユースなどの取組み内容（居住地区別、市郡部別、居住地域別）

		上段：件数 下段：構成比															
調査数	生ゴミの水切りを徹底する	持参する	食べ残した食材を使い切る	リサイクルショップやフリママーケットを利用する	ゴミの発生が少なくなる商品（修理して使う）	マイ箸やマイボトルを利用する	古紙や古布、空き瓶などを地域の集団回収に出す	古紙へ新聞、雑誌などをリサイクルする	携帯電話やパソコンの回収に使用する	雑紙回収やエコバッグの指定に従って分別を徹底する	市町村の指定に従って分別回収に出す	生ゴミを乾燥機などで減量化する	エコマーク商品やリサイクル製品を購入する	木質ペレットストーブや薪ストーブなどを使う	その他	無回答	
全 体	3,051 100.0%	1,707 55.9%	2,804 91.9%	1,710 56.0%	476 15.6%	943 30.9%	804 26.4%	2,560 83.9%	780 25.6%	2,473 81.1%	1,601 52.5%	373 12.2%	307 10.1%	80 2.6%	27 0.9%	5 0.2%	
居住地区別	村山地域	1,460 100.0%	824 56.4%	1,358 93.0%	828 56.7%	234 16.0%	462 31.6%	380 26.0%	1,232 84.4%	442 30.3%	1,196 81.9%	798 54.7%	198 13.6%	146 10.0%	30 2.1%	12 0.8%	2 0.1%
	最上地域	206 100.0%	106 51.5%	187 90.8%	98 47.6%	35 17.0%	47 22.8%	48 23.3%	181 87.9%	49 23.8%	163 79.1%	122 59.2%	31 15.0%	11 5.3%	6 2.9%	1 0.5%	0 0.0%
	置賜地域	596 100.0%	300 50.3%	540 90.6%	328 55.0%	78 13.1%	182 30.5%	188 31.5%	482 80.9%	126 21.1%	482 80.9%	288 48.3%	96 16.1%	60 10.1%	24 4.0%	2 0.3%	2 0.3%
	庄内地域	734 100.0%	448 61.0%	676 92.1%	430 58.6%	120 16.3%	238 32.4%	182 24.8%	620 84.5%	154 21.0%	598 81.5%	366 49.9%	42 5.7%	88 12.0%	18 2.5%	12 1.6%	0 0.0%
	無回答(県外・不明含む)	55 100.0%	29 52.7%	43 78.2%	26 47.3%	9 16.4%	14 25.5%	6 10.9%	45 81.8%	9 16.4%	34 61.8%	27 49.1%	6 10.9%	2 3.6%	2 3.6%	0 0.0%	1 1.8%
	市郡部別	山形市	650 100.0%	362 55.7%	614 94.5%	392 60.3%	116 17.8%	218 33.5%	176 27.1%	542 83.4%	220 33.8%	546 84.0%	354 54.5%	60 9.2%	58 8.9%	10 1.5%	8 1.2%
その他の市	1,694 100.0%	980 57.9%	1,555 91.8%	951 56.1%	259 15.3%	508 30.0%	452 26.7%	1,415 83.5%	410 24.2%	1,371 80.9%	914 54.0%	205 12.1%	178 10.5%	46 2.7%	12 0.7%	2 0.1%	
町村部	652 100.0%	336 51.5%	592 90.8%	341 52.3%	92 14.1%	203 31.1%	170 26.1%	558 85.6%	141 21.6%	522 80.1%	306 46.9%	102 15.6%	69 10.6%	22 3.4%	7 1.1%	0 0.0%	
無回答(県外・不明含む)	55 100.0%	29 52.7%	43 78.2%	26 47.3%	9 16.4%	14 25.5%	6 10.9%	45 81.8%	9 16.4%	34 61.8%	27 49.1%	6 10.9%	2 3.6%	2 3.6%	0 0.0%	1 1.8%	
居住地域別	住宅地域	2,118 100.0%	1,210 57.1%	1,970 93.0%	1,212 57.2%	356 16.8%	659 31.1%	573 27.1%	1,739 82.1%	538 25.4%	1,721 81.3%	1,134 53.5%	195 9.2%	212 10.0%	28 1.3%	22 1.0%	3 0.1%
	商業地域	91 100.0%	59 64.8%	87 95.6%	54 59.3%	20 22.0%	42 46.2%	27 29.7%	81 89.0%	37 40.7%	78 85.7%	54 59.3%	10 11.0%	9 9.9%	2 2.2%	2 2.2%	0 0.0%
	農漁村地域	574 100.0%	283 49.3%	509 88.7%	312 54.4%	70 12.2%	155 27.0%	130 22.6%	515 89.7%	142 24.7%	458 79.8%	271 47.2%	132 23.0%	57 9.9%	25 4.4%	1 0.2%	0 0.0%
	山間地域	252 100.0%	149 59.1%	222 88.1%	124 49.2%	29 11.5%	82 32.5%	70 27.8%	212 84.1%	61 24.2%	203 80.6%	132 52.4%	36 14.3%	29 11.5%	25 9.9%	0 0.0%	2 0.8%
	無回答	16 100.0%	6 37.5%	16 100.0%	8 50.0%	1 6.3%	5 31.3%	4 25.0%	13 81.3%	2 12.5%	13 81.3%	10 62.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 12.5%	0 0.0%

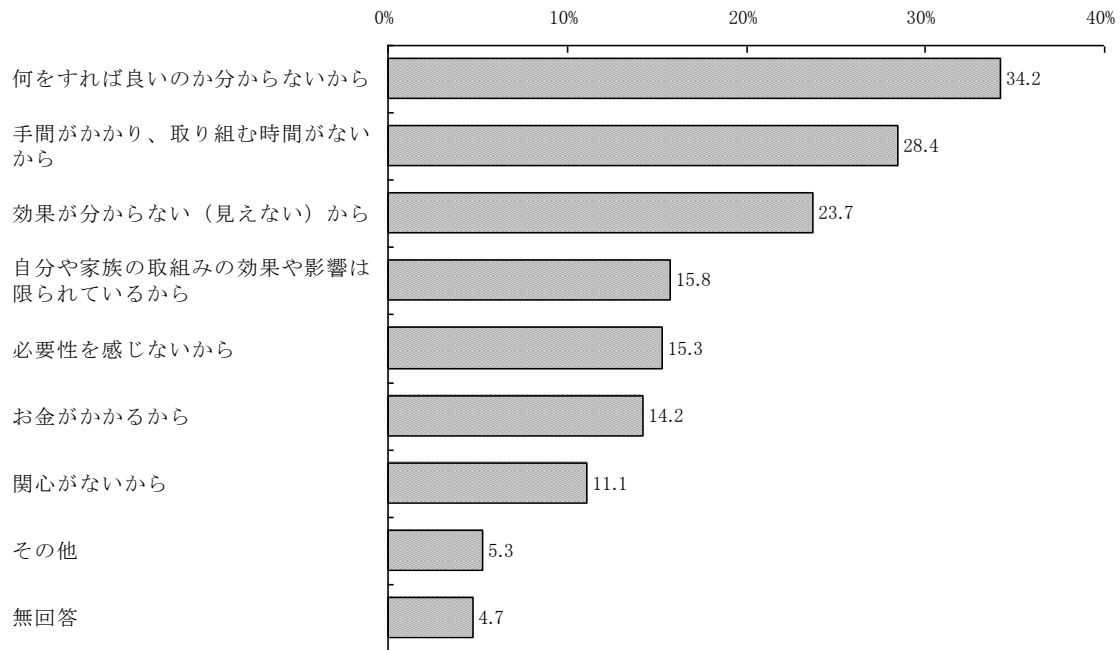


### (3) ゴミの減量やリユースなどに取り組んでいない理由

問 15-2 問 14 で「3. 取り組んでいない」と答えた方にお聞きします。

ゴミの減量や物の再使用（リユース）などに取り組んでいない理由をお答えください。（○は2つまで）

（全体：190）



ゴミの減量やリユースに取り組んでいない人に、その理由をたずねたところ、「何をすれば良いのか分からないから」（34.2%）との回答が最も多くなっている。次いで、「手間がかかり、取り組む時間がないから」（28.4%）、「効果が分からない（見えない）から」（23.7%）の順となっている。

性別で見ると、女性で最も回答が多い「手間がかかり、取り組む時間がないから」（37.0%）は男性を大きく上回っているが、他の項目では男性が女性よりも高くなっている。また、男性で最も回答が多い「何をすれば良いのか分からないから」（38.8%）は女性を10ポイント以上上回っている。

図表 4-5 ゴミの減量やリユースなどに取り組んでいない理由（性別、年齢別、性・年齢別）

		上段：件数 下段：構成比										
		調査数	関心がないから	必要性を感じないから	効果が分からない（見え	何をすれば良いのかわ	手間がかかり、取り組	自分や家族の取組みの効	お金がかかるから	その他	無回答	
全 体		190	21	29	45	65	54	30	27	10	9	
		100.0%	11.1%	15.3%	23.7%	34.2%	28.4%	15.8%	14.2%	5.3%	4.7%	
性別	男 性	116	13	20	31	45	26	22	17	8	4	
		100.0%	11.2%	17.2%	26.7%	38.8%	22.4%	19.0%	14.7%	6.9%	3.4%	
	女 性	73	8	9	13	20	27	8	10	2	5	
		100.0%	11.0%	12.3%	17.8%	27.4%	37.0%	11.0%	13.7%	2.7%	6.8%	
	無 回 答	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
年齢別	20～29歳	37	2	2	10	11	24	4	4	0	0	
		100.0%	5.4%	5.4%	27.0%	29.7%	64.9%	10.8%	10.8%	0.0%	0.0%	
	30～39歳	17	5	2	5	7	1	0	0	0	2	
		100.0%	29.4%	11.8%	29.4%	41.2%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	
	40～49歳	34	5	6	7	11	5	6	7	2	0	
		100.0%	14.7%	17.6%	20.6%	32.4%	14.7%	17.6%	20.6%	5.9%	0.0%	
	50～59歳	38	2	3	14	10	15	8	9	4	0	
		100.0%	5.3%	7.9%	36.8%	26.3%	39.5%	21.1%	23.7%	10.5%	0.0%	
60～64歳	13	2	0	0	5	1	4	2	0	2		
	100.0%	15.4%	0.0%	0.0%	38.5%	7.7%	30.8%	15.4%	0.0%	15.4%		
65歳以上	50	5	16	8	21	7	8	5	4	5		
	100.0%	10.0%	32.0%	16.0%	42.0%	14.0%	16.0%	10.0%	8.0%	10.0%		
	無 回 答	1	0	0	1	0	1	0	0	0		
		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
性別×年齢別	男 性	20～29歳	24	2	2	6	8	14	2	4	0	0
			100.0%	8.3%	8.3%	25.0%	33.3%	58.3%	8.3%	16.7%	0.0%	0.0%
		30～39歳	12	5	2	5	3	0	0	0	0	2
			100.0%	41.7%	16.7%	41.7%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
		40～49歳	19	0	4	6	9	2	4	4	0	0
			100.0%	0.0%	21.1%	31.6%	47.4%	10.5%	21.1%	21.1%	0.0%	0.0%
		50～59歳	28	0	2	12	8	6	8	6	4	0
			100.0%	0.0%	7.1%	42.9%	28.6%	21.4%	28.6%	21.4%	14.3%	0.0%
	60～64歳	7	2	0	0	5	1	2	0	0	0	
		100.0%	28.6%	0.0%	0.0%	71.4%	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	
	65歳以上	26	4	10	2	12	3	6	3	4	2	
		100.0%	15.4%	38.5%	7.7%	46.2%	11.5%	23.1%	11.5%	15.4%	7.7%	
		無 回 答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
女 性	20～29歳	13	0	0	4	3	10	2	0	0	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	30.8%	23.1%	76.9%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	
	30～39歳	5	0	0	0	4	1	0	0	0	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	40～49歳	15	5	2	1	2	3	2	3	2	0	
		100.0%	33.3%	13.3%	6.7%	13.3%	20.0%	13.3%	20.0%	13.3%	0.0%	
	50～59歳	10	2	1	2	2	9	0	3	0	0	
		100.0%	20.0%	10.0%	20.0%	20.0%	90.0%	0.0%	30.0%	0.0%	0.0%	
60～64歳	6	0	0	0	0	0	2	2	0	2		
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%		
65歳以上	24	1	6	6	9	4	2	2	0	3		
	100.0%	4.2%	25.0%	25.0%	37.5%	16.7%	8.3%	8.3%	0.0%	12.5%		
	無 回 答	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

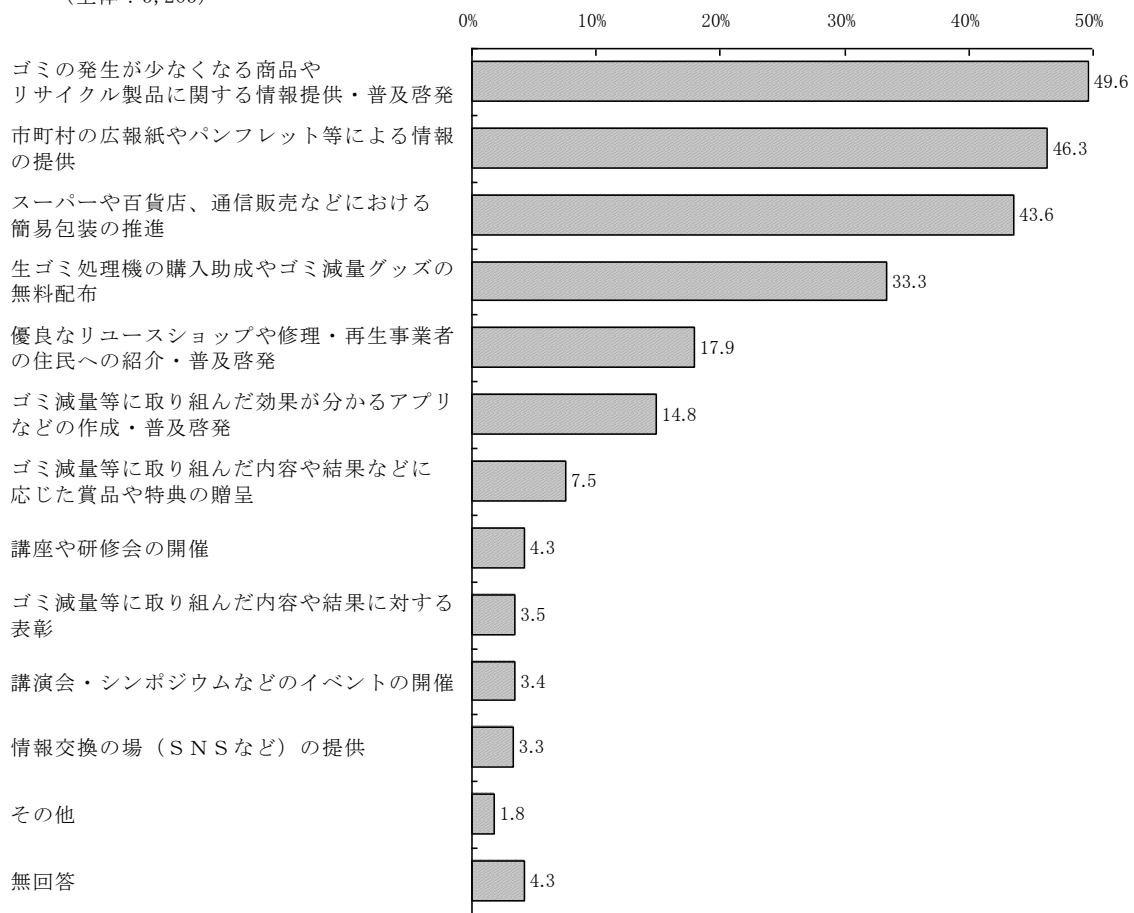
図表 4-6 ゴミの減量やリユースなどに取り組んでいない理由（居住地区別、市郡部別、居住地域別）

		上段：件数 下段：構成比									
		調査数	関心がないから	必要性を感じないから	効果が分からない（見え	何をすれば良いのか分からないから	時間がかかり、取り組む	自分や家族の取組みの効	お金がかかるから	その他	無回答
全 体		190 100.0%	21 11.1%	29 15.3%	45 23.7%	65 34.2%	54 28.4%	30 15.8%	27 14.2%	10 5.3%	9 4.7%
居住地区別	村山地域	88 100.0%	12 13.6%	18 20.5%	16 18.2%	32 36.4%	22 25.0%	14 15.9%	8 9.1%	4 4.5%	6 6.8%
	最上地域	9 100.0%	3 33.3%	1 11.1%	2 22.2%	4 44.4%	2 22.2%	1 11.1%	2 22.2%	0 0.0%	1 11.1%
	置賜地域	34 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 35.3%	12 35.3%	10 29.4%	6 17.6%	4 11.8%	4 11.8%	0 0.0%
	庄内地域	52 100.0%	4 7.7%	10 19.2%	14 26.9%	14 26.9%	16 30.8%	8 15.4%	12 23.1%	2 3.8%	2 3.8%
	無回答(県外・不明含む)	7 100.0%	2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%	3 42.9%	4 57.1%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%
市郡部別	山形市	40 100.0%	6 15.0%	8 20.0%	8 20.0%	14 35.0%	12 30.0%	8 20.0%	2 5.0%	2 5.0%	0 0.0%
	その他の市	95 100.0%	7 7.4%	14 14.7%	31 32.6%	33 34.7%	29 30.5%	10 10.5%	14 14.7%	4 4.2%	2 2.1%
	町村部	48 100.0%	6 12.5%	7 14.6%	5 10.4%	15 31.3%	9 18.8%	11 22.9%	10 20.8%	4 8.3%	7 14.6%
	無回答(県外・不明含む)	7 100.0%	2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%	3 42.9%	4 57.1%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%
居住地域別	住宅地域	126 100.0%	15 11.9%	19 15.1%	32 25.4%	45 35.7%	39 31.0%	21 16.7%	18 14.3%	4 3.2%	6 4.8%
	商業地域	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	農漁村地域	32 100.0%	4 12.5%	4 12.5%	6 18.8%	10 31.3%	7 21.9%	5 15.6%	5 15.6%	4 12.5%	0 0.0%
	山間地域	27 100.0%	2 7.4%	6 22.2%	4 14.8%	7 25.9%	7 25.9%	4 14.8%	4 14.8%	2 7.4%	3 11.1%
	無回答	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

#### (4) ゴミの減量やリユースなどに必要なこと

問 16 ゴミの減量や物の再利用（リユース）などの取組みを更に進めるためには、どのようなことが必要だとお考えですか。（○は3つまで）

（全体：3,263）



ゴミの減量やリユースなどの取組みをさらに進めるために必要なことをたずねたところ、「ゴミの発生が少なくなる商品やリサイクル製品に関する情報提供・普及啓発」（49.6%）との回答が最も多くなっている。次いで、「市町村の広報紙やパンフレット等による情報の提供」（46.3%）、「スーパーや百貨店、通信販売などにおける簡易包装の推進」（43.6%）の順となっている。

性別でみると、「ゴミの発生が少なくなる商品やリサイクル製品に関する情報提供・普及啓発」（53.2%）、「スーパーや百貨店、通信販売などにおける簡易包装の推進」（46.3%）では女性が男性を、「優良なリユースショップや修理・再生事業者の住民への紹介・普及啓発」（20.9%）、「ゴミ減量等に取り組んだ効果が分かる（数値化される）アプリなどの作成・普及啓発」（17.1%）では男性が女性を上回っている。

年齢別でみると、20～29歳では「ゴミ減量等に取り組んだ効果が分かる（数値化される）アプリなどの作成・普及啓発」（19.0%）、30～39歳では「生ゴミ処理機の購入助成やゴミ減量グッズの無料配布」（43.5%）、「ゴミ減量等に取り組んだ内容や結果などに応じた賞品や特典の贈呈」（17.5%）、60歳以上の層では「市町村の広報紙やパンフレット等による情報の提供」（58.9%、58.0%）が他の年齢層よりも高くなっている。

図表4-7 ゴミの減量やリユースなどに必要なこと（性別、年齢別、性・年齢別）

		上段：件数 下段：構成比																	
		調査数	市町村の広報紙やパンフレット	講演会・シンポジウムなどの開催	講座や研修会の開催	アプリなどの作成・普及啓発	ゴミ減量等に取り組んだ効果	商品の提供・普及啓発	商品の発生が少なくする商品（簡易包装の商品やリユース商品の紹介や修理・啓発）	スーパードラッグストアや百貨店、通信販売などにおける簡易包装の推進	優良なリユースショップ（リサイクルショップ）の紹介・普及啓発	情報交換の場（SNSなど）の提供	ゴミ減量等に取り組んだ内容	賞品や特典の贈呈	ゴミ減量等に取り組んだ内容	生ゴミ処理機（乾燥機、コンポストなど）の購入助成や無料配布	その他	無回答	
全	体	3,263	1,511	112	139	482	1,620	1,423	584	109	113	246	1,088	59	139				
		100.0%	46.3%	3.4%	4.3%	14.8%	49.6%	43.6%	17.9%	3.3%	3.5%	7.5%	33.3%	1.8%	4.3%				
性別	男性	1,529	714	57	79	261	703	625	319	60	54	126	486	34	55				
		100.0%	46.7%	3.7%	5.2%	17.1%	46.0%	40.9%	20.9%	3.9%	3.5%	8.2%	31.8%	2.2%	3.6%				
	女性	1,717	790	52	57	219	913	795	262	47	59	117	595	25	82				
		100.0%	46.0%	3.0%	3.3%	12.8%	53.2%	46.3%	15.3%	2.7%	3.4%	6.8%	34.7%	1.5%	4.8%				
	無回答	17	7	3	3	2	4	3	3	2	0	3	7	0	2				
		100.0%	41.2%	17.6%	17.6%	11.8%	23.5%	17.6%	17.6%	11.8%	0.0%	17.6%	41.2%	0.0%	11.8%				
年齢別	20～29歳	232	75	5	12	44	101	95	46	11	13	29	84	0	6				
		100.0%	32.3%	2.2%	5.2%	19.0%	43.5%	40.9%	19.8%	4.7%	5.6%	12.5%	36.2%	0.0%	2.6%				
	30～39歳	331	109	8	10	51	168	166	53	7	22	58	144	7	4				
		100.0%	32.9%	2.4%	3.0%	15.4%	50.8%	50.2%	16.0%	2.1%	6.6%	17.5%	43.5%	2.1%	1.2%				
	40～49歳	452	143	8	12	59	240	191	95	9	21	43	156	11	16				
		100.0%	31.6%	1.8%	2.7%	13.1%	53.1%	42.3%	21.0%	2.0%	4.6%	9.5%	34.5%	2.4%	3.5%				
	50～59歳	677	269	25	24	112	352	327	108	26	15	46	237	16	18				
		100.0%	39.7%	3.7%	3.5%	16.5%	52.0%	48.3%	16.0%	3.8%	2.2%	6.8%	35.0%	2.4%	2.7%				
60～64歳	467	275	24	34	63	229	189	86	18	13	17	160	9	18					
	100.0%	58.9%	5.1%	7.3%	13.5%	49.0%	40.5%	18.4%	3.9%	2.8%	3.6%	34.3%	1.9%	3.9%					
65歳以上	1,101	639	42	47	151	528	455	195	38	29	52	306	16	77					
	100.0%	58.0%	3.8%	4.3%	13.7%	48.0%	41.3%	17.7%	3.5%	2.6%	4.7%	27.8%	1.5%	7.0%					
	無回答	3	1	0	0	2	2	0	1	0	0	1	1	0	0				
		100.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%				
性別×年齢別	男性	20～29歳	119	32	4	6	20	51	54	28	7	11	14	35	0	2			
			100.0%	26.9%	3.4%	5.0%	16.8%	42.9%	45.4%	23.5%	5.9%	9.2%	11.8%	29.4%	0.0%	1.7%			
		30～39歳	150	53	2	6	27	69	70	31	2	10	24	48	5	4			
			100.0%	35.3%	1.3%	4.0%	18.0%	46.0%	46.7%	20.7%	1.3%	6.7%	16.0%	32.0%	3.3%	2.7%			
		40～49歳	187	49	3	3	23	97	69	48	8	6	15	65	5	8			
			100.0%	26.2%	1.6%	1.6%	12.3%	51.9%	36.9%	25.7%	4.3%	3.2%	8.0%	34.8%	2.7%	4.3%			
		50～59歳	318	125	13	14	66	152	144	49	14	9	29	120	10	6			
			100.0%	39.3%	4.1%	4.4%	20.8%	47.8%	45.3%	15.4%	4.4%	2.8%	9.1%	37.7%	3.1%	1.9%			
	60～64歳	228	148	14	21	38	102	79	48	8	9	15	69	4	9				
		100.0%	64.9%	6.1%	9.2%	16.7%	44.7%	34.6%	21.1%	3.5%	3.9%	6.6%	30.3%	1.8%	3.9%				
65歳以上	527	307	21	29	87	232	209	115	21	9	29	149	10	26					
	100.0%	58.3%	4.0%	5.5%	16.5%	44.0%	39.7%	21.8%	4.0%	1.7%	5.5%	28.3%	1.9%	4.9%					
女性	20～29歳	113	43	1	6	24	50	41	18	4	2	15	49	0	4				
		100.0%	38.1%	0.9%	5.3%	21.2%	44.2%	36.3%	15.9%	3.5%	1.8%	13.3%	43.4%	0.0%	3.5%				
	30～39歳	179	56	6	4	24	99	96	22	5	12	34	94	2	0				
		100.0%	31.3%	3.4%	2.2%	13.4%	55.3%	53.6%	12.3%	2.8%	6.7%	19.0%	52.5%	1.1%	0.0%				
	40～49歳	262	93	4	8	36	143	122	47	1	15	26	89	6	8				
		100.0%	35.5%	1.5%	3.1%	13.7%	54.6%	46.6%	17.9%	0.4%	5.7%	9.9%	34.0%	2.3%	3.1%				
	50～59歳	357	144	12	10	46	200	183	59	12	6	17	117	6	10				
		100.0%	40.3%	3.4%	2.8%	12.9%	56.0%	51.3%	16.5%	3.4%	1.7%	4.8%	32.8%	1.7%	2.8%				
60～64歳	237	125	10	13	25	127	108	38	10	4	2	89	5	9					
	100.0%	52.7%	4.2%	5.5%	10.5%	53.6%	45.6%	16.0%	4.2%	1.7%	0.8%	37.6%	2.1%	3.8%					
65歳以上	569	329	19	16	64	294	245	78	15	20	23	157	6	51					
	100.0%	57.8%	3.3%	2.8%	11.2%	51.7%	43.1%	13.7%	2.6%	3.5%	4.0%	27.6%	1.1%	9.0%					
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				

図表 4-8 ゴミの減量やリユースなどに必要なこと（居住地区別、市郡部別、居住地域別）

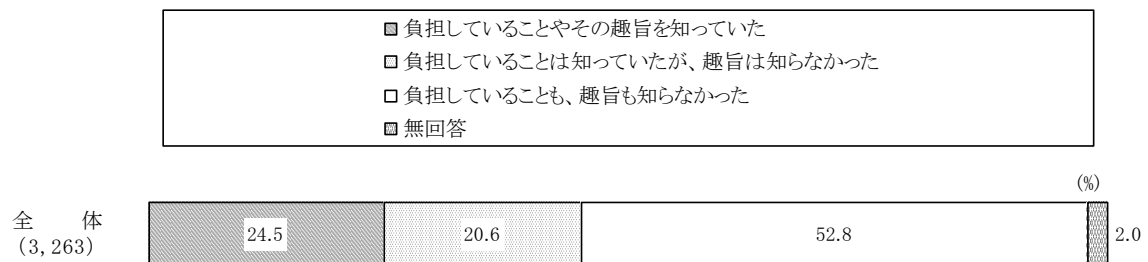
		上段：件数 下段：構成比													
調査数		市町村の広報紙やパンフレット等による情報の提供	講演会・シンポジウムなどのイベントの開催	講座や研修会の開催	ゴミ減量等に取り組んだ効果的な作成・普及啓発	商品の発生が少なくなる商品（簡易包装の商品、詰替商品、長く使える商品）やリサイクル製品に関する情報提供・普及啓発	スーパーや百貨店、通信販売などにおける簡易包装の推進	優良なリユースショップ（リサイクルショップ）や修理・再生事業者の住民への紹介・普及啓発	情報交換の場（SNSなど）の提供	ゴミ減量等に対する表彰	ゴミ減量等に取り組んだ内容や結果などの応じた賞品や特典の贈呈	生ゴミ処理機（乾燥機、コンポストなど）の購入助成やゴミ減量グッズの無料配布	その他	無回答	
全	体	3,263	1,511	112	139	482	1,620	1,423	584	109	113	246	1,088	59	139
		100.0%	46.3%	3.4%	4.3%	14.8%	49.6%	43.6%	17.9%	3.3%	3.5%	7.5%	33.3%	1.8%	4.3%
居住地区別	村山地域	1,556	714	46	58	208	772	726	278	54	56	126	516	36	58
		100.0%	45.9%	3.0%	3.7%	13.4%	49.6%	46.7%	17.9%	3.5%	3.6%	8.1%	33.2%	2.3%	3.7%
	最上地域	218	117	11	16	22	106	73	32	8	4	16	74	4	9
		100.0%	53.7%	5.0%	7.3%	10.1%	48.6%	33.5%	14.7%	3.7%	1.8%	7.3%	33.9%	1.8%	4.1%
	置賜地域	632	284	20	24	96	334	266	120	22	22	48	232	4	24
	100.0%	44.9%	3.2%	3.8%	15.2%	52.8%	42.1%	19.0%	3.5%	3.5%	7.6%	36.7%	0.6%	3.8%	
庄内地域	792	370	32	38	148	388	338	146	24	30	54	252	14	32	
	100.0%	46.7%	4.0%	4.8%	18.7%	49.0%	42.7%	18.4%	3.0%	3.8%	6.8%	31.8%	1.8%	4.0%	
市郡部別	無回答(県外・不明含む)	65	26	3	3	8	20	20	8	1	1	2	14	1	16
		100.0%	40.0%	4.6%	4.6%	12.3%	30.8%	30.8%	12.3%	1.5%	1.5%	3.1%	21.5%	1.5%	24.6%
	山形市	692	326	28	12	96	360	346	132	18	20	50	216	24	12
		100.0%	47.1%	4.0%	1.7%	13.9%	52.0%	50.0%	19.1%	2.6%	2.9%	7.2%	31.2%	3.5%	1.7%
その他の市	1,799	811	56	83	287	876	789	342	63	59	142	588	23	81	
		100.0%	45.1%	3.1%	4.6%	16.0%	48.7%	43.9%	19.0%	3.5%	3.3%	7.9%	32.7%	1.3%	4.5%
	町村部	707	348	25	41	91	364	268	102	27	33	52	270	11	30
	100.0%	49.2%	3.5%	5.8%	12.9%	51.5%	37.9%	14.4%	3.8%	4.7%	7.4%	38.2%	1.6%	4.2%	
居住地域別	無回答(県外・不明含む)	65	26	3	3	8	20	20	8	1	1	2	14	1	16
		100.0%	40.0%	4.6%	4.6%	12.3%	30.8%	30.8%	12.3%	1.5%	1.5%	3.1%	21.5%	1.5%	24.6%
	住宅地域	2,261	1,036	71	89	346	1,134	1,022	443	80	78	167	726	40	95
		100.0%	45.8%	3.1%	3.9%	15.3%	50.2%	45.2%	19.6%	3.5%	3.4%	7.4%	32.1%	1.8%	4.2%
	商業地域	93	48	4	6	14	37	40	15	7	6	12	33	3	1
	100.0%	51.6%	4.3%	6.5%	15.1%	39.8%	43.0%	16.1%	7.5%	6.5%	12.9%	35.5%	3.2%	1.1%	
農漁村地域	610	300	27	30	94	289	240	85	17	18	44	222	13	21	
	100.0%	49.2%	4.4%	4.9%	15.4%	47.4%	39.3%	13.9%	2.8%	3.0%	7.2%	36.4%	2.1%	3.4%	
山間地域	280	119	10	12	23	150	115	38	5	11	19	104	3	20	
	100.0%	42.5%	3.6%	4.3%	8.2%	53.6%	41.1%	13.6%	1.8%	3.9%	6.8%	37.1%	1.1%	7.1%	
無回答	19	8	0	2	5	10	6	3	0	0	4	3	0	2	
	100.0%	42.1%	0.0%	10.5%	26.3%	52.6%	31.6%	15.8%	0.0%	0.0%	21.1%	15.8%	0.0%	10.5%	

## 5. 「やまがた緑環境税」について

### (1) 「やまがた緑環境税」の認知状況

問 17 やまがた緑環境税制度が平成 19 年 4 月からスタートしましたが、あなたは「やまがた緑環境税」や税の趣旨(※)について知っていましたか。(○は1つ)

※ 森林のもつ県土の保全、水源かん養などの公益的機能の維持増進、持続的発揮を図るため、荒廃の進んでいる森林を整備するなど、県民みんなで支える森づくりを進めるための財源として、住民税の納税義務者を対象に、個人から年 1,000 円、法人などから年 2,000 円～80,000 円の税負担をいただくものです。

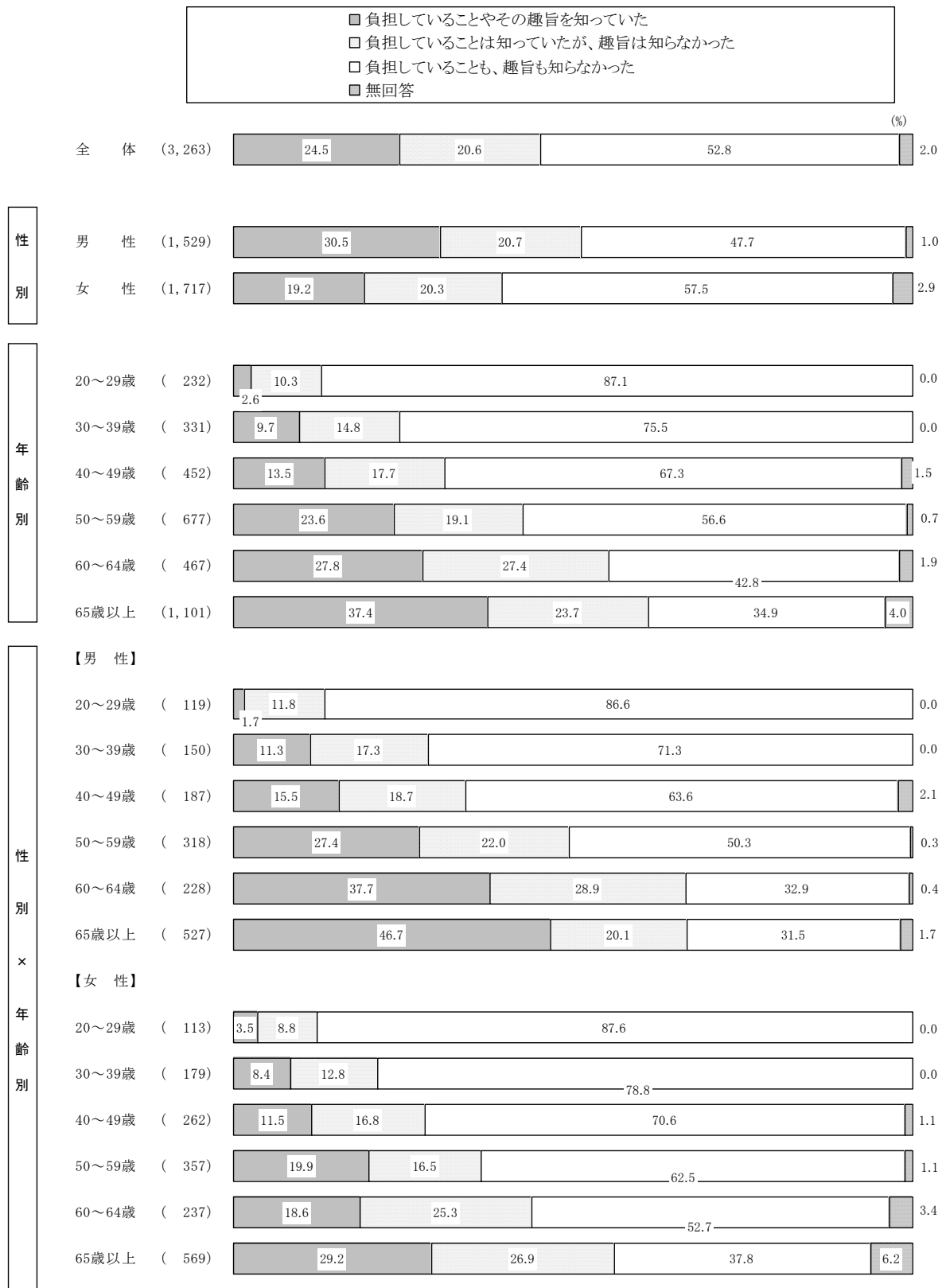


「やまがた緑環境税」の認知状況をたずねたところ、「負担していることやその趣旨を知っていた」(24.5%)と「負担していることは知っていたが、趣旨は知らなかった」(20.6%)を合わせると、負担していることを知っていた人の割合(45.1%)は半数弱を占める。一方、「負担していることも、趣旨も知らなかった」(52.8%)は5割程度となっている。

性別でみると、「負担していることやその趣旨を知っていた」(30.5%)では「男性」が「女性」を11ポイント以上上回っている。

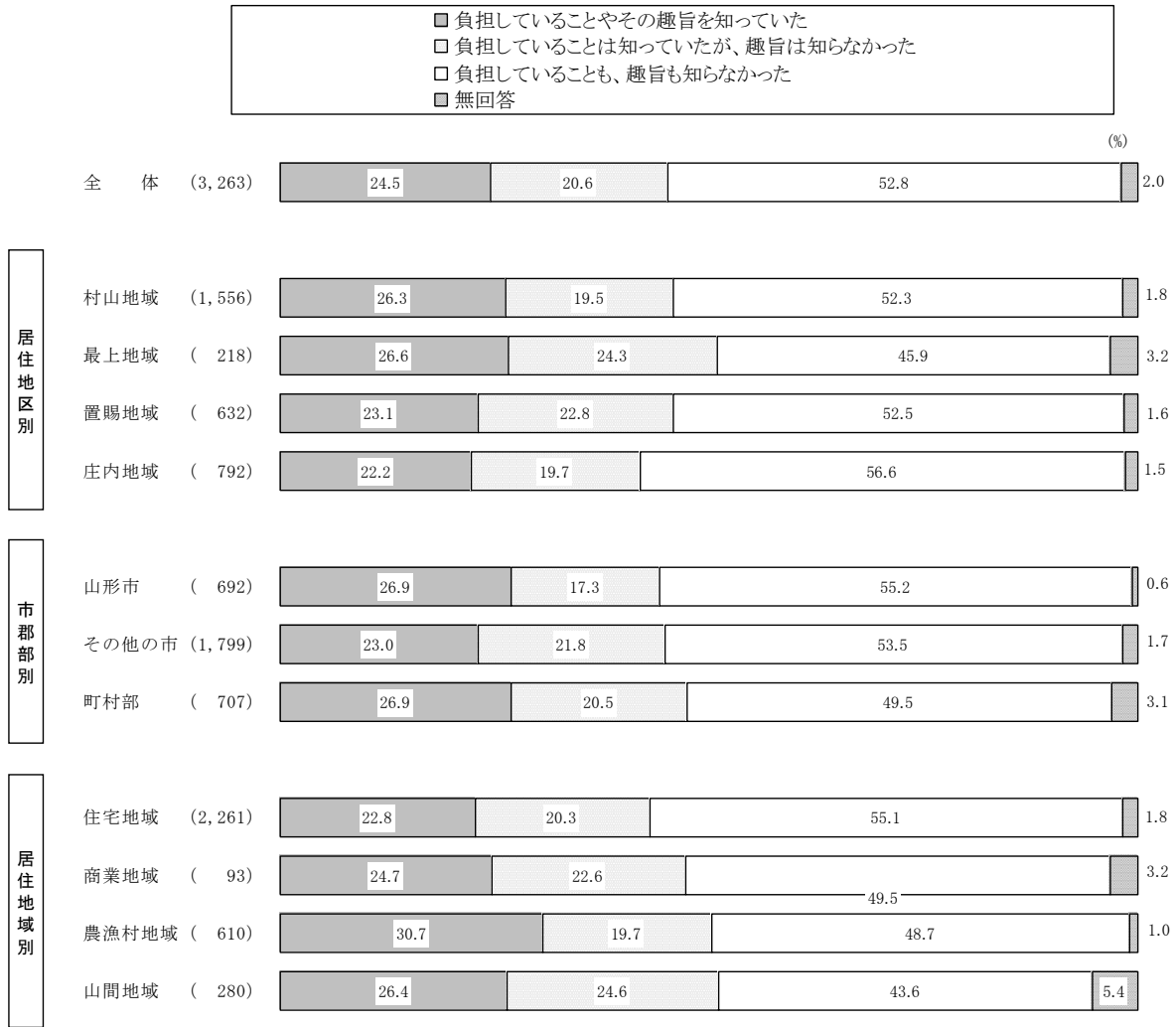
年齢別でみると、「負担していることやその趣旨を知っていた」「負担していることは知っていたが、趣旨は知らなかった」では、年齢があがるにつれて割合が高くなる傾向があり、65歳以上では20～29歳を大きく上回っている。一方、「負担していることも、趣旨も知らなかった」では、年齢が下がるにつれて割合が高くなり、20～29歳では65歳以上を50ポイント以上上回っている。

図表 5-1 「やまがた緑環境税」の認知状況（性別、年齢別、性・年齢別）

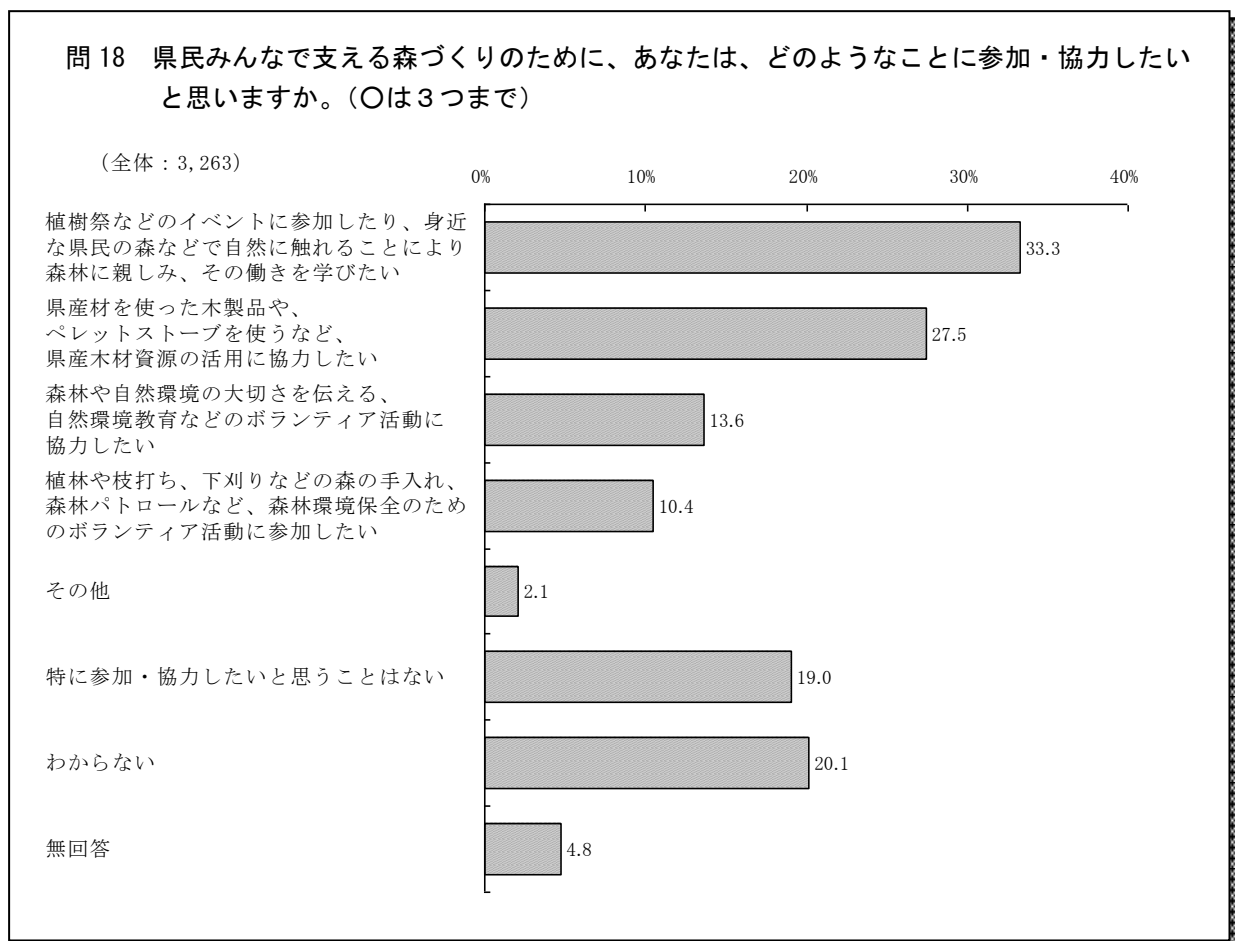




図表 5-2 「やまがた緑環境税」の認知状況（居住地区別、市郡部別、居住地域別）



## (2) 県民みんなで支える森づくりのために参加したいこと



県民みんなで支える森づくりのためにどのようなことに参加したいかをたずねたところ、「植樹祭などのイベントに参加したり、身近な県民の森などで自然に触れることにより森林に親しみ、その働きを学びたい」(33.3%)との回答が最も多くなっている。次いで、「県産材を使った木製品や、ペレットストーブを使うなど、県産木材資源の活用に協力したい」(27.5%)、「森林や自然環境の大切さを伝える、自然環境教育などのボランティア活動に協力したい」(13.6%)の順となっている。

性別でみると、「植林や枝打ち、下刈りなどの森の手入れ、森林パトロールなど、森林環境保全のためのボランティア活動に参加したい」(13.8%)で男性が女性を上回っている。

年齢別でみると、30～39歳では「植樹祭などのイベントに参加したり、身近な県民の森などで自然に触れることにより森林に親しみ、その働きを学びたい」(36.3%)、「植林や枝打ち、下刈りなどの森の手入れ、森林パトロールなど、森林環境保全のためのボランティア活動に参加したい」(12.1%)が他の年齢層よりも高くなっている。また、60～64歳で「県産材を使った木製品や、ペレットストーブを使うなど、県産木材資源の活用に協力したい」(32.3%)が他の年齢層よりも高くなっている。

図表 5-3 県民みんなで支える森づくりのために参加したいこと（性別、年齢別、性・年齢別）

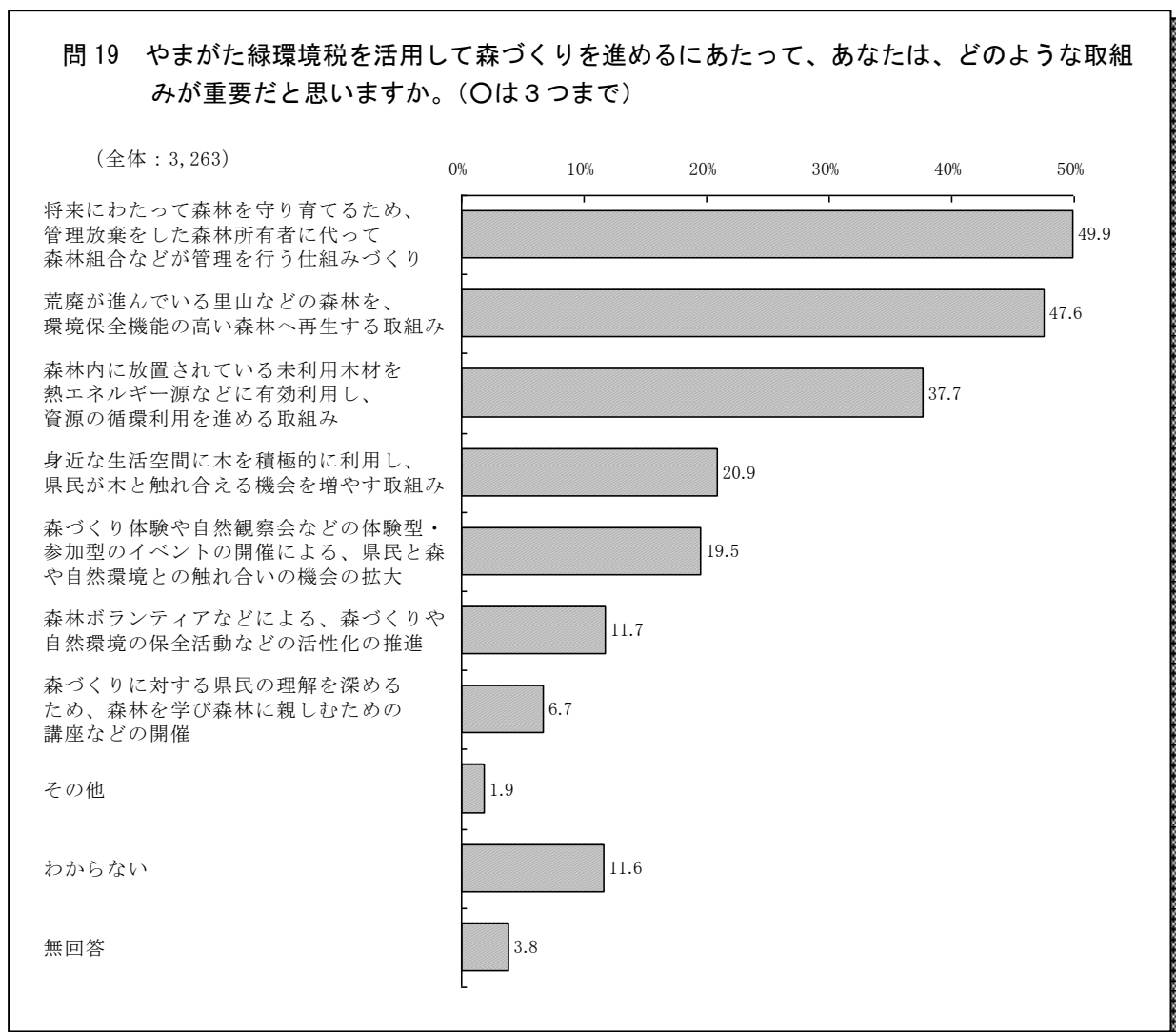
		上段：件数 下段：構成比																		
		調査数	自然に 触れる こと の 働 き を 学 び た い	植樹祭 など の イ ベ ン ト に 参 加 し た い	県産材 など の 活 用 に 協 力 し た い	県産材 など の 活 用 に 協 力 し た い	ラン テ ィ ア 活 動 に 参 加 し た い	森 林 や 自 然 環 境 の 大 切 さ を 伝 え る 活 動 に 参 加 し た い	森 林 や 自 然 環 境 の 大 切 さ を 伝 え る 活 動 に 参 加 し た い	森 林 や 自 然 環 境 の 大 切 さ を 伝 え る 活 動 に 参 加 し た い	森 林 や 自 然 環 境 の 大 切 さ を 伝 え る 活 動 に 参 加 し た い	森 林 や 自 然 環 境 の 大 切 さ を 伝 え る 活 動 に 参 加 し た い	森 林 や 自 然 環 境 の 大 切 さ を 伝 え る 活 動 に 参 加 し た い	森 林 や 自 然 環 境 の 大 切 さ を 伝 え る 活 動 に 参 加 し た い	森 林 や 自 然 環 境 の 大 切 さ を 伝 え る 活 動 に 参 加 し た い	森 林 や 自 然 環 境 の 大 切 さ を 伝 え る 活 動 に 参 加 し た い	森 林 や 自 然 環 境 の 大 切 さ を 伝 え る 活 動 に 参 加 し た い	森 林 や 自 然 環 境 の 大 切 さ を 伝 え る 活 動 に 参 加 し た い	森 林 や 自 然 環 境 の 大 切 さ を 伝 え る 活 動 に 参 加 し た い	
全 体		3,263	1,086	896	444	340	67	621	656	155	100.0%	33.3%	27.5%	13.6%	10.4%	2.1%	19.0%	20.1%	4.8%	
性別	男 性	1,529	509	457	232	211	33	333	246	45	100.0%	33.3%	29.9%	15.2%	13.8%	2.2%	21.8%	16.1%	2.9%	
	女 性	1,717	571	437	210	125	34	284	406	107	100.0%	33.3%	25.5%	12.2%	7.3%	2.0%	16.5%	23.6%	6.2%	
	無 回 答	17	6	2	2	4	0	4	4	3	100.0%	35.3%	11.8%	11.8%	23.5%	0.0%	23.5%	23.5%	17.6%	
年齢別	20～29歳	232	70	47	19	23	2	53	61	1	100.0%	30.2%	20.3%	8.2%	9.9%	0.9%	22.8%	26.3%	0.4%	
	30～39歳	331	120	98	47	40	2	61	70	1	100.0%	36.3%	29.6%	14.2%	12.1%	0.6%	18.4%	21.1%	0.3%	
	40～49歳	452	148	93	42	49	6	120	97	8	100.0%	32.7%	20.6%	9.3%	10.8%	1.3%	26.5%	21.5%	1.8%	
	50～59歳	677	224	188	92	66	16	126	144	10	100.0%	33.1%	27.8%	13.6%	9.7%	2.4%	18.6%	21.3%	1.5%	
	60～64歳	467	155	151	69	44	10	80	85	27	100.0%	33.2%	32.3%	14.8%	9.4%	2.1%	17.1%	18.2%	5.8%	
	65歳以上	1,101	368	318	175	117	31	179	199	108	100.0%	33.4%	28.9%	15.9%	10.6%	2.8%	16.3%	18.1%	9.8%	
	無 回 答	3	1	1	0	1	0	2	0	0	100.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	
性別×年齢別	男 性	20～29歳	119	29	28	11	15	0	28	27	1	100.0%	24.4%	23.5%	9.2%	12.6%	0.0%	23.5%	22.7%	0.8%
		30～39歳	150	43	36	18	18	2	41	32	1	100.0%	28.7%	24.0%	12.0%	12.0%	1.3%	27.3%	21.3%	0.7%
		40～49歳	187	48	35	14	26	4	67	32	6	100.0%	25.7%	18.7%	7.5%	13.9%	2.1%	35.8%	17.1%	3.2%
		50～59歳	318	116	87	54	45	8	63	53	0	100.0%	36.5%	27.4%	17.0%	14.2%	2.5%	19.8%	16.7%	0.0%
		60～64歳	228	74	88	33	27	4	43	36	5	100.0%	32.5%	38.6%	14.5%	11.8%	1.8%	18.9%	15.8%	2.2%
		65歳以上	527	199	183	102	80	15	91	66	32	100.0%	37.8%	34.7%	19.4%	15.2%	2.8%	17.3%	12.5%	6.1%
		無 回 答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女 性	20～29歳	113	41	19	8	8	2	25	34	0	100.0%	36.3%	16.8%	7.1%	7.1%	1.8%	22.1%	30.1%	0.0%
		30～39歳	179	77	62	29	22	0	20	36	0	100.0%	43.0%	34.6%	16.2%	12.3%	0.0%	11.2%	20.1%	0.0%
		40～49歳	262	99	57	28	22	2	53	63	2	100.0%	37.8%	21.8%	10.7%	8.4%	0.8%	20.2%	24.0%	0.8%
		50～59歳	357	106	101	38	19	8	63	91	10	100.0%	29.7%	28.3%	10.6%	5.3%	2.2%	17.6%	25.5%	2.8%
		60～64歳	237	81	63	36	17	6	37	49	20	100.0%	34.2%	26.6%	15.2%	7.2%	2.5%	15.6%	20.7%	8.4%
		65歳以上	569	167	135	71	37	16	86	133	75	100.0%	29.3%	23.7%	12.5%	6.5%	2.8%	15.1%	23.4%	13.2%
		無 回 答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図表 5-4 県民みんなで支える森づくりのために参加したいこと（居住地区別、市郡部別、居住地域別）

上段：件数 下段：構成比

		調査数	植樹祭などのイベントに参加した 触れることにより森林に親しみ、 その働きを学びたい	県産木材資源の活用を協力し たい	県産材を使った木製品や、ペ レットストーブを使うなど、	ランテックや自然環境の大切さを伝 える、自然環境教育などのボ ランティア活動に協力したい	森林や自然環境の大切さを伝 える、自然環境教育などのボ ランティア活動に協力したい	植林や枝打ち、下刈りなどの森の 手入れ、森林パトロールなどの森の 環境保全のためのボランティア	その他	特に参加・協力したいと 思うこと	わからない	無回答
全 体		3,263 100.0%	1,086 33.3%	896 27.5%	444 13.6%	340 10.4%	67 2.1%	621 19.0%	656 20.1%	155 4.8%		
居 住 地 区 別	村 山 地 域	1,556 100.0%	524 33.7%	418 26.9%	198 12.7%	172 11.1%	22 1.4%	312 20.1%	316 20.3%	52 3.3%		
	最 上 地 域	218 100.0%	78 35.8%	64 29.4%	30 13.8%	31 14.2%	2 0.9%	30 13.8%	40 18.3%	14 6.4%		
	置 賜 地 域	632 100.0%	208 32.9%	162 25.6%	110 17.4%	66 10.4%	22 3.5%	114 18.0%	132 20.9%	36 5.7%		
	庄 内 地 域	792 100.0%	260 32.8%	240 30.3%	98 12.4%	66 8.3%	20 2.5%	150 18.9%	158 19.9%	40 5.1%		
	無回答(県外・ 不明含む)	65 100.0%	16 24.6%	12 18.5%	8 12.3%	5 7.7%	1 1.5%	15 23.1%	10 15.4%	13 20.0%		
市 郡 部 別	山 形 市	692 100.0%	234 33.8%	164 23.7%	72 10.4%	54 7.8%	14 2.0%	152 22.0%	142 20.5%	14 2.0%		
	そ の 他 の 市	1,799 100.0%	620 34.5%	521 29.0%	251 14.0%	176 9.8%	35 1.9%	324 18.0%	348 19.3%	93 5.2%		
	町 村 部	707 100.0%	216 30.6%	199 28.1%	113 16.0%	105 14.9%	17 2.4%	130 18.4%	156 22.1%	35 5.0%		
	無回答(県外・ 不明含む)	65 100.0%	16 24.6%	12 18.5%	8 12.3%	5 7.7%	1 1.5%	15 23.1%	10 15.4%	13 20.0%		
居 住 地 域 別	住 宅 地 域	2,261 100.0%	763 33.7%	577 25.5%	289 12.8%	212 9.4%	53 2.3%	440 19.5%	469 20.7%	101 4.5%		
	商 業 地 域	93 100.0%	34 36.6%	27 29.0%	12 12.9%	4 4.3%	0 0.0%	19 20.4%	17 18.3%	9 9.7%		
	農 漁 村 地 域	610 100.0%	218 35.7%	202 33.1%	97 15.9%	79 13.0%	10 1.6%	100 16.4%	113 18.5%	17 2.8%		
	山 間 地 域	280 100.0%	64 22.9%	87 31.1%	40 14.3%	42 15.0%	2 0.7%	55 19.6%	55 19.6%	27 9.6%		
	無 回 答	19 100.0%	7 36.8%	3 15.8%	6 31.6%	3 15.8%	2 10.5%	7 36.8%	2 10.5%	1 5.3%		

### (3) 森づくりに重要な取組み



やまがた緑環境税を活用した森づくりに重要な取組みについてたずねたところ、「将来にわたって森林を守り育てるため、管理放棄をした森林所有者に代って森林組合などが管理を行う仕組みづくり」(49.9%)との回答が最も多く、「荒廃が進んでいる里山などの森林を、環境保全機能の高い森林へ再生する取組み」(47.6%)が僅差で続く。

性別で見ると、「荒廃が進んでいる里山などの森林を、環境保全機能の高い森林へ再生する取組み」(51.7%)では男性が女性を上回っている。

年齢別で見ると、30～39歳では「森づくり体験や自然観察会などの体験型・参加型のイベントの開催による、県民と森や自然環境との触れ合いの機会の拡大」(27.5%)、50～59歳では「荒廃が進んでいる里山などの森林を、環境保全機能の高い森林へ再生する取組み」(55.4%)、60～64歳では「将来にわたって森林を守り育てるため、管理放棄をした森林所有者に代って森林組合などが管理を行う仕組みづくり」(56.7%)が他の年齢層よりも高くなっている。

図表 5-5 森づくりに重要な取組み（性別・年齢別、性・年齢別）

上段：件数 下段：構成比

		調査数	高い森林を再生する取組みのみ	荒廃が進んでいる里山など環境保全機能の	理有るに代つて管理放棄をした森林組合などが管	将来にわたつて森林を守り育てるための、管理放棄をした森林組合などが管	触れ合いの機会を拡大	森づくり体験や自然観察会などの体験型・参加型のイベントの開催	みれ合える機会を増やす取組	身近な生活空間に木を積極的に利用し、県民が木と積極的に触れ合う機会を増やす取組	進全活動などの活性化の推進	森林ボランティアなどによる森づくりや自然環境の整備	開林に親しむための講座などの森づくりに関する啓発活動	森づくりに対する県民の理解を深めるための講座などの森づくりに関する啓発活動	めり取組	木材を熱エネルギーとして利用する循環型木材利用の推進	森林内に設置されている未利用木材を熱エネルギーとして利用する循環型木材利用の推進	その他	わからない	無回答				
全体		3,263	1,552	1,628	637	681	381	218	1,230	62	379	125	100.0%	47.6%	49.9%	19.5%	20.9%	11.7%	6.7%	37.7%	1.9%	11.6%	3.8%	
性別	男性	1,529	791	765	296	308	180	116	601	33	144	36	100.0%	51.7%	50.0%	19.4%	20.1%	11.8%	7.6%	39.3%	2.2%	9.4%	2.4%	
	女性	1,717	755	853	337	371	197	99	621	29	234	89	100.0%	44.0%	49.7%	19.6%	21.6%	11.5%	5.8%	36.2%	1.7%	13.6%	5.2%	
	無回答	17	6	10	4	2	4	3	8	0	1	0	100.0%	35.3%	58.8%	23.5%	11.8%	23.5%	17.6%	47.1%	0.0%	5.9%	0.0%	
年齢別	20～29歳	232	92	77	55	42	31	16	51	6	39	4	100.0%	39.7%	33.2%	23.7%	18.1%	13.4%	6.9%	22.0%	2.6%	16.8%	1.7%	
	30～39歳	331	123	165	91	82	44	17	131	10	28	1	100.0%	37.2%	49.8%	27.5%	24.8%	13.3%	5.1%	39.6%	3.0%	8.5%	0.3%	
	40～49歳	452	195	196	90	90	60	29	157	12	78	8	100.0%	43.1%	43.4%	19.9%	19.9%	13.3%	6.4%	34.7%	2.7%	17.3%	1.8%	
	50～59歳	677	375	346	136	124	84	48	277	13	62	10	100.0%	55.4%	51.1%	20.1%	18.3%	12.4%	7.1%	40.9%	1.9%	9.2%	1.5%	
	60～64歳	467	231	265	93	93	37	43	190	2	39	22	100.0%	49.5%	56.7%	19.9%	19.9%	7.9%	9.2%	40.7%	0.4%	8.4%	4.7%	
	65歳以上	1,101	535	578	171	250	124	65	423	19	132	80	100.0%	48.6%	52.5%	15.5%	22.7%	11.3%	5.9%	38.4%	1.7%	12.0%	7.3%	
	無回答	3	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0	100.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	
性別×年齢別	男性	20～29歳	119	49	29	26	24	15	8	27	2	21	4	100.0%	41.2%	24.4%	21.8%	20.2%	12.6%	6.7%	22.7%	1.7%	17.6%	3.4%
		30～39歳	150	55	77	37	37	16	7	48	8	10	1	100.0%	36.7%	51.3%	24.7%	24.7%	10.7%	4.7%	32.0%	5.3%	6.7%	0.7%
		40～49歳	187	85	68	29	34	20	10	72	8	36	4	100.0%	45.5%	36.4%	15.5%	18.2%	10.7%	5.3%	38.5%	4.3%	19.3%	2.1%
		50～59歳	318	185	163	69	48	52	26	128	7	20	0	100.0%	58.2%	51.3%	21.7%	15.1%	16.4%	8.2%	40.3%	2.2%	6.3%	0.0%
		60～64歳	228	124	139	44	42	17	25	105	2	11	9	100.0%	54.4%	61.0%	19.3%	18.4%	7.5%	11.0%	46.1%	0.9%	4.8%	3.9%
		65歳以上	527	293	289	91	123	60	40	221	6	46	18	100.0%	55.6%	54.8%	17.3%	23.3%	11.4%	7.6%	41.9%	1.1%	8.7%	3.4%
		無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性	20～29歳	113	43	48	29	18	16	8	24	4	18	0	100.0%	38.1%	42.5%	25.7%	15.9%	14.2%	7.1%	21.2%	3.5%	15.9%	0.0%
		30～39歳	179	68	88	54	45	26	10	83	2	18	0	100.0%	38.0%	49.2%	30.2%	25.1%	14.5%	5.6%	46.4%	1.1%	10.1%	0.0%
		40～49歳	262	109	126	61	56	39	18	85	4	42	4	100.0%	41.6%	48.1%	23.3%	21.4%	14.9%	6.9%	32.4%	1.5%	16.0%	1.5%
		50～59歳	357	188	183	65	76	32	22	147	6	42	10	100.0%	52.7%	51.3%	18.2%	21.3%	9.0%	6.2%	41.2%	1.7%	11.8%	2.8%
		60～64歳	237	107	124	49	49	20	18	85	0	28	13	100.0%	45.1%	52.3%	20.7%	20.7%	8.4%	7.6%	35.9%	0.0%	11.8%	5.5%
		65歳以上	569	240	284	79	127	64	23	197	13	86	62	100.0%	42.2%	49.9%	13.9%	22.3%	11.2%	4.0%	34.6%	2.3%	15.1%	10.9%
		無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図表 5-6 森づくりに重要な取組み（居住地区別、市郡部別、居住地域別）

上段：件数 下段：構成比

		調査数	高い森林へ再生する取組みの	荒廃が進んでいる里山など環境保全機能の	管理放棄を防止する取組みの	将来にわたって森林を守り育てるため、管理放棄を防止する取組みの	触れ合いの機会の拡大	森づくり体験や自然観察会などの体験型・参加型イベントの開催	森づくり体験や自然観察会などの体験型・参加型イベントの開催	身近な生活空間に木を積極的に活用し、県民が木と触れ合える機会を増やす取組み	進保活動などの活性化の推進	森林ボランティアなどによる	林に親しむための講座などの開催	森づくりに対する県民の理解を深めるための講座などの開催	森内材に活用されている未利用材の活用、資源の循環利用を進める取組み	その他	わからない	無回答
全 体		3,263 100.0%	1,552 47.6%	1,628 49.9%	637 19.5%	681 20.9%	381 11.7%	218 6.7%	1,230 37.7%	62 1.9%	379 11.6%	125 3.8%						
居住地区別	村山地域	1,556 100.0%	764 49.1%	794 51.0%	316 20.3%	322 20.7%	186 12.0%	102 6.6%	586 37.7%	26 1.7%	168 10.8%	58 3.7%						
	最上地域	218 100.0%	99 45.4%	102 46.8%	39 17.9%	39 17.9%	21 9.6%	13 6.0%	89 40.8%	5 2.3%	21 9.6%	8 3.7%						
	置賜地域	632 100.0%	282 44.6%	304 48.1%	128 20.3%	104 16.5%	68 10.8%	50 7.9%	244 38.6%	14 2.2%	90 14.2%	30 4.7%						
	庄内地域	792 100.0%	384 48.5%	404 51.0%	144 18.2%	202 25.5%	100 12.6%	46 5.8%	290 36.6%	14 1.8%	90 11.4%	20 2.5%						
	無回答(県外・不明含む)	65 100.0%	23 35.4%	24 36.9%	10 15.4%	14 21.5%	6 9.2%	7 10.8%	21 32.3%	3 4.6%	10 15.4%	9 13.8%						
市郡部別	山形市	692 100.0%	366 52.9%	360 52.0%	130 18.8%	136 19.7%	70 10.1%	44 6.4%	264 38.2%	12 1.7%	74 10.7%	12 1.7%						
	その他の市	1,799 100.0%	875 48.6%	915 50.9%	351 19.5%	367 20.4%	218 12.1%	119 6.6%	697 38.7%	33 1.8%	207 11.5%	65 3.6%						
	町村部	707 100.0%	288 40.7%	329 46.5%	146 20.7%	164 23.2%	87 12.3%	48 6.8%	248 35.1%	14 2.0%	88 12.4%	39 5.5%						
	無回答(県外・不明含む)	65 100.0%	23 35.4%	24 36.9%	10 15.4%	14 21.5%	6 9.2%	7 10.8%	21 32.3%	3 4.6%	10 15.4%	9 13.8%						
居住地域別	住宅地域	2,261 100.0%	1,080 47.8%	1,130 50.0%	457 20.2%	485 21.5%	252 11.1%	143 6.3%	836 37.0%	48 2.1%	277 12.3%	73 3.2%						
	商業地域	93 100.0%	46 49.5%	45 48.4%	29 31.2%	14 15.1%	12 12.9%	11 11.8%	29 31.2%	0 0.0%	13 14.0%	3 3.2%						
	農漁村地域	610 100.0%	313 51.3%	341 55.9%	102 16.7%	118 19.3%	81 13.3%	46 7.5%	239 39.2%	12 2.0%	50 8.2%	21 3.4%						
	山間地域	280 100.0%	107 38.2%	111 39.6%	46 16.4%	61 21.8%	33 11.8%	18 6.4%	122 43.6%	2 0.7%	30 10.7%	28 10.0%						
	無回答	19 100.0%	6 31.6%	1 5.3%	3 15.8%	3 15.8%	3 15.8%	0 0.0%	4 21.1%	0 0.0%	9 47.4%	0 0.0%						





### Ⅲ 参考資料

( )内の数値は回答構成比(%)を表し、Nは比率算出の基数とする。

「地球温暖化」と「エネルギー」に関しておうかがいします。

問8 現在、地球温暖化により、気温の上昇や気候の変化をとまっています。その影響は、自然や生活にも現れており、今後も深刻な影響が生じると考えられていますが、こうした地球温暖化問題について知っていますか。(○は1つ) (N=3, 263)

(54.6%) 1. よく知っている (42.7%) 2. 詳しいことは知らないが、聞いたことがある (1.4%) 3. 知らない

※現在の地球は過去 1400 年で最も暖かくなっているといわれています。この地球規模で気温や海水温が上昇し氷河や氷床が縮小する地球温暖化は、平均的な気温の上昇のほかさまざまな気候の変化をとまっています。その影響は生物活動の変化や、水資源や農作物への影響など、自然生態系や人間社会にすでに現れており、今後、水、生態系、食糧、沿岸域、健康などでより深刻な影響が生じると考えられています。

問9 地球温暖化を防止するために、あなたが特に力を入れて取り組むべきだと思うものをお答えください。(○は2つまで) (N=3, 263)

- (31.6%) 1. 家庭における省エネルギー
- (15.0%) 2. 事業所における二酸化炭素排出削減
- (30.0%) 3. 自動車の排出ガス規制の強化や次世代自動車（電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、クリーンディーゼル自動車、燃料電池自動車等）の普及
- (23.0%) 4. 二酸化炭素を吸収する森林の整備
- (46.9%) 5. 発電時や熱利用時に二酸化炭素をほとんど排出しない再生可能エネルギー（太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス、太陽熱、地中熱、雪氷熱など、一度利用しても比較的短期間に再生が可能で、資源が枯渇しないエネルギーのこと）の利用
- (11.2%) 6. 環境負荷の少ない都市、交通などの社会基盤の構築
- (26.7%) 7. 将来にわたって大幅な温室効果ガス排出削減を確実にするための国をあげての革新的技術の開発
- (1.7%) 8. その他（具体的に：

※地球温暖化は、人間活動による化石燃料の使用や森林の減少などにより、二酸化炭素など大気中の温室効果ガスの濃度が急激に増加し、大気の温室効果が強まったことが原因と考えられています。

**問 1 0** 県では、「山形県エネルギー戦略」を策定し、新たな再生可能エネルギー資源を開発することを目標に掲げ、生活や産業活動に必要な地域の中で生み出し、安定的に供給していく体制の整備に取り組んでいます。エネルギー利用に関しては、例えば、次のような意見がありますが、あなたの考えに近いものをお答えください。(〇はいくつでも) (N=3, 263)

- (50.0%) 1. 安全で持続可能な再生可能エネルギーの最大限の導入拡大を進めていくべきだ
- (48.4%) 2. 太陽光発電(メガソーラー)、風力発電、地熱発電、バイオマス発電など、再生可能エネルギーの大規模事業を進めるべきだ
- (34.0%) 3. 再生可能エネルギーの大規模事業を進めるに当たっては、周辺環境(自然や景観)との調和に配慮してほしい
- (24.7%) 4. 電気料金に係る国民負担の抑制のため、発電コストが割高な再生可能エネルギーの導入は、一定の水準にとどめるべきだ
- (50.0%) 5. 福島第一原子力発電所の事故を見れば、我が国のような地震国に原子力発電所は危険である
- (46.2%) 6. 原子力発電の使用済燃料(高レベル放射性廃棄物)の最終処分場が決まらない中で、原子力発電は続けるべきではない
- ( 8.6%) 7. 今後、原子力発電の安全性を確保することは可能であると思う
- ( 6.9%) 8. 発電コストや安定的な発電量を考えれば、近い将来に原子力発電に代われるものは見当たらない
- ( 6.1%) 9. 原子力発電は、発電の際に二酸化炭素を出さないので、地球温暖化の防止に貢献できる
- ( 1.6%) 10. その他(具体的に: )

※ 県では、平成 24 年 3 月に、県のエネルギー政策の方向を定めた「山形県エネルギー戦略」を策定しました。本戦略では、東日本大震災で発生した大規模停電や原子力発電所事故を踏まえ、再生可能エネルギーの導入を増やし、やがて原子力発電への依存から卒業していく「卒原発社会」の実現につなげていくために、2030 年までに電力換算で 100 万 kW(概ね原子力発電所 1 基分に相当)の新たな再生可能エネルギー資源を開発することを目標に掲げ、生活や産業活動に必要な地域の中で生み出し、安定的に供給していく体制の整備に取り組んでいます。一方、政府の 2030 年度の電源構成(エネルギーミックス)の想定案においては、再生可能エネルギー発電が 22~24%程度、原子力発電が 22~20%程度、火力発電が 56%程度と示されています。

**問 1 1 - 1** あなたやあなたのご家庭では、日常生活において、省エネに取り組まれていますか。(〇は 1 つ)

- ( 7.8%) 1. 積極的に取り組んでいる (N=3, 263)
- (84.2%) 2. できる範囲で取り組んでいる ---▶ 【問 1 1 - 2】へ
- ( 7.0%) 3. 取り組んでいない ---▶ 【問 1 1 - 3】へ

**問 1 1 - 2** 「1. 積極的に取り組んでいる」「2. できる範囲で取り組んでいる」と答えた方にお聞きします。

省エネの取り組み内容をお答えください。(〇はいくつでも) (N=2, 999)

- (88.4%) 1. 不要な照明や家電製品の電源はこまめに消す
- (40.3%) 2. 冷暖房の設定温度を、夏は 28℃、冬は 20℃を目安に控えめにする
- (42.3%) 3. 冷蔵庫に物を詰めすぎず、ドアの開閉時間を短くする
- (29.6%) 4. 個々の部屋の電気の使用を控え、家族団らんの時間を多くする
- (10.8%) 5. 電気使用量が多くなる 14 時~15 時は、なるべく電化製品の使用を控える
- (44.7%) 6. 白熱電球は、電球型蛍光灯や LED 照明に交換する
- (49.5%) 7. 家電製品を購入する際は、省エネ性能の高いものを選ぶ
- ( 4.7%) 8. 太陽光発電設備等の再生可能エネルギー機器を使用する
- (16.0%) 9. 電気自動車やハイブリッド車などの低燃費車を購入する
- (21.5%) 10. 移動や通勤の際は、公共交通機関や自転車の利用、エコドライブ(ふんわりアクセルなど)を実践する
- (46.9%) 11. 洗面やシャワーなどでは、節水に取り組む
- (77.1%) 12. ごみをしっかり分別し、紙類や飲料容器などのリサイクルに協力する
- (21.1%) 13. 起床・就寝時間を見直す(早寝・早起き)
- ( 1.8%) 14. その他(具体的に: )

問 1 1 - 3 「3. 取り組んでいない」と答えた方にお聞きします。

省エネに取り組んでいない理由をお答えください。(〇は2つまで) (N=228)

- (10.1%) 1. 関心がないから
- ( 7.5%) 2. 必要性を感じていないから
- (33.8%) 3. 自分や家族の取組みの効果や影響は限られているから
- (37.3%) 4. 何をすれば良いのか分からないから
- (22.4%) 5. 日常生活が不便になるから
- (24.6%) 6. 家族に乳幼児、高齢者等がいるなど省エネに取り組める状況にないから
- ( 4.8%) 7. その他 (具体的に: )

問 1 2 省エネの取組みを進めていくにあたって、国、県、市町村等にどのようなことを実施して欲しいとお考えですか。(〇は2つまで) (N=3, 263)

- (32.8%) 1. 地球温暖化問題や省エネの必要性に関する情報の提供
- (46.2%) 2. 省エネの具体的な取組み方法や効果などに関する情報の提供
- (20.9%) 3. 家庭でのエネルギー消費や二酸化炭素排出量の「見える化」に関する情報の提供
- ( 4.6%) 4. 家庭の省エネに関する講演会等の開催
- ( 4.0%) 5. 省エネに取り組んだ内容・結果に対する評価・表彰
- ( 6.5%) 6. 省エネに取り組んだ内容・結果などに応じた賞品や特典の贈呈
- ( 8.7%) 7. 住宅の無料省エネ診断の実施
- (38.6%) 8. 住宅の省エネ機器等の設置に対する助成
- ( 1.8%) 9. その他 (具体的に: )
- ( 3.9%) 10. 特になし

「生活環境」に関しておうかがいします。

問 1 3 あなたの生活でお困りのことや関心が高いものをお答えください。(〇はいくつでも) (N=3, 263)

- (24.2%) 1. 野生鳥獣による農作物被害
- (22.0%) 2. 大気汚染
- (13.5%) 3. 騒音・振動
- ( 7.1%) 4. 悪臭
- (13.4%) 5. 河川、湖沼等の水質汚濁
- (18.1%) 6. 水資源の保全
- (12.2%) 7. 生活排水
- ( 2.8%) 8. 土壌汚染
- ( 4.9%) 9. 地盤沈下
- (13.8%) 10. 放射線
- (17.8%) 11. 廃棄物の不法投棄
- ( 6.0%) 12. その他 (具体的に: )

「循環型社会形成の推進」についておうかがいします。

問 1 4 あなたやあなたのご家庭では、日常生活において、ゴミの減量や物の再使用(リユース)などに取組まれていますか。(〇は1つ) (N=3, 263)

- (12.0%) 1. 積極的に取り組んでいる ---▶【問 1 5 - 1】へ
- (81.5%) 2. できる範囲で取り組んでいる
- ( 5.8%) 3. 取り組んでいない ---▶【問 1 5 - 2】へ

問15-1 問14で「1. 積極的に取り組んでいる」「2. できる範囲で取り組んでいる」と答えた方にお聞きします。

ゴミの減量や物の再使用（リユース）などの取組み内容をお答えください。（〇はいくつでも）（N=3,051）

- (55.9%) 1. 生ゴミの水切りを徹底する
- (91.9%) 2. 買い物時にマイバックを持参する
- (56.0%) 3. 食べ残しを極力減らしたり、買った食材を使い切る
- (15.6%) 4. リサイクルショップやフリーマーケットを積極的に利用する
- (30.9%) 5. ゴミの発生が少なくなる商品（簡易包装の商品、詰替商品、量り売り商品、長く使える商品など）を選んだり、修理して使う
- (26.4%) 6. マイ箸やマイボトルを使用したり、リユース食器を利用する
- (83.9%) 7. 古紙（新聞、雑誌など）や古布、空き瓶などを地域の集団回収に出す
- (25.6%) 8. 雑紙回収やパソコン・携帯電話などの使用済小型家電の回収に取り組む
- (81.1%) 9. 市町村の指定に従いゴミの分別を徹底する
- (52.5%) 10. 廃食品トレイや廃牛乳パックなどをスーパーの店頭回収に出す
- (12.2%) 11. 生ゴミを生ゴミ処理機（乾燥機、コンポストなど）などで減量化する
- (10.1%) 12. エコマーク商品やリサイクル製品を購入する
- (2.6%) 13. 木質ペレットストーブや薪ストーブなどのバイオマスエネルギーを使う
- (0.9%) 14. その他（具体的に： )

問15-2 問14で「3. 取り組んでいない」と答えた方にお聞きします。

ゴミの減量や物の再使用（リユース）などに取り組んでいない理由をお答えください（〇は2つまで）

- (11.1%) 1. 関心がないから (N=190)
- (15.3%) 2. 必要性を感じないから
- (23.7%) 3. 効果が分からない（見えない）から
- (34.2%) 4. 何をすれば良いのか分からないから
- (28.4%) 5. 手間がかかり、取り組む時間がないから
- (15.8%) 6. 自分や家族の取組みの効果や影響は限られているから
- (14.2%) 7. お金がかかるから
- (5.3%) 8. その他（具体的に： )

問16 ゴミの減量や物の再使用（リユース）などの取組みを更に進めるためには、どのようなことが必要だとお考えですか。（〇は3つまで）（N=3,263）

- (46.3%) 1. 市町村の広報紙やパンフレット等による情報の提供
- (3.4%) 2. 講演会・シンポジウムなどのイベントの開催
- (4.3%) 3. 講座や研修会の開催
- (14.8%) 4. ゴミ減量等に取り組んだ効果が分かる（数値化される）アプリなどの作成・普及啓発
- (49.6%) 5. ゴミの発生が少なくなる商品（簡易包装の商品、詰替商品、長く使える商品など）やリサイクル製品に関する情報提供・普及啓発
- (43.6%) 6. スーパーや百貨店、通信販売などにおける簡易包装の推進
- (17.9%) 7. 優良なリユースショップ（リサイクルショップ）や修理・再生事業者の住民への紹介・普及啓発
- (3.3%) 8. 情報交換の場（SNSなど）の提供
- (3.5%) 9. ゴミ減量等に取り組んだ内容や結果に対する表彰
- (7.5%) 10. ゴミ減量等に取り組んだ内容や結果などに応じた賞品や特典の贈呈
- (33.3%) 11. 生ゴミ処理機（乾燥機、コンポストなど）の購入助成やゴミ減量グッズの無料配布
- (1.8%) 12. その他（具体的に： )

「やまがた緑環境税」についておうかがいします。

問 17 やまがた緑環境税制度が平成19年4月からスタートしましたが、あなたは「やまがた緑環境税」や税の趣旨(※)について知っていましたか。(○は1つ) (N=3, 263)

- (24.5%) 1. 負担していることやその趣旨を知っていた
- (20.6%) 2. 負担していることは知っていたが、趣旨は知らなかった
- (52.8%) 3. 負担していることも、趣旨も知らなかった

※ 森林のもつ県土の保全、水源かん養などの公益的機能の維持増進、持続的発揮を図るため、荒廃の進んでいる森林を整備するなど、県民みんなで支える森づくりを進めるための財源として、住民税の納税義務者を対象に、個人から年1,000円、法人などから年2,000円～80,000円の税負担をいただくものです。

問 18 県民みんなで支える森づくりのために、あなたは、どのようなことに参加・協力したいと思いませんか。(○は3つまで) (N=3, 263)

- (33.3%) 1. 植樹祭などのイベントに参加したり、身近な県民の森などで自然に触れることにより森林に親しみ、その働きを学びたい
- (27.5%) 2. 県産材を使った木製品や、ペレットストーブを使うなど、県産木材資源の活用に協力したい
- (13.6%) 3. 森林や自然環境の大切さを伝える、自然環境教育などのボランティア活動に協力したい
- (10.4%) 4. 植林や枝打ち、下刈りなどの森の手入れ、森林パトロールなど、森林環境保全のためのボランティア活動に参加したい
- (2.1%) 5. その他(具体的に: )
- (19.0%) 6. 特に参加・協力したいと思うことはない
- (20.1%) 7. わからない

問 19 やまがた緑環境税を活用して森づくりを進めるにあたって、あなたは、どのような取組み(※)が重要だと思いませんか。(○は3つまで) (N=3, 263)

- (47.6%) 1. 荒廃が進んでいる里山などの森林を、環境保全機能の高い森林へ再生する取組み
- (49.9%) 2. 将来にわたって森林を守り育てるため、管理放棄をした森林所有者に代って森林組合などが管理を行う仕組みづくり
- (19.5%) 3. 森づくり体験や自然観察会などの体験型・参加型のイベントの開催による、県民と森や自然環境との触れ合いの機会の拡大
- (20.9%) 4. 身近な生活空間に木を積極的に利用し、県民が木と触れ合える機会を増やす取組み
- (11.7%) 5. 森林ボランティアなどによる、森づくりや自然環境の保全活動などの活性化の推進
- (6.7%) 6. 森づくりに対する県民の理解を深めるため、森林を学び森林に親しむための講座などの開催
- (37.7%) 7. 森林内に放置されている未利用木材を熱エネルギー源などに有効利用し、資源の循環利用を進める取組み
- (1.9%) 8. その他(具体的に: )
- (11.6%) 9. わからない

※ 平成27年度は、環境保全を重視した荒廃森林の整備、森林資源を暮らしに活かす循環利用の取組み、地域の方々やNPO、企業等が取り組む森づくりの支援など県民参加の森づくりの推進や、推進体制の整備、普及啓発などに活用されます。



# 平成27年度県政アンケート調査 報告書

平成27年11月

発行 山形県 企画振興部 企画調整課  
〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号  
TEL 023-630-2895 FAX 023-624-2775